

## 1 施設概要

施設名称	久慈高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	久慈市畠田26-96		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域				
敷地面積	49,829.47 m <sup>2</sup>		建築面積	5,028.43 m <sup>2</sup>	延床面積	9,738.26 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	2019年2月		経過年数 (R7.4.1現在)	6 年	施設内棟数	12 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	<p>昭和18年 県立久慈高等女学校として開校し、昭和23年 県立久慈高等学校と改称。          昭和24年 県立久慈農業高等学校と統合し、令和5年 創立80周年を迎えた。          校は「進取貫道」の精神に富み、国際社会および地域のリーダーとして社会に貢献できる知・徳・体の調和のとれた人間を育成することを教育目標としている。</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	4階	地下						
	建築面積	2,110.91 m <sup>2</sup>	延床面積	6,441.00 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2019年2月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(お盆、年末年始期間を除く)		運営時間	8:15~16:45	
	職員数	41 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	398 人		定員数	480 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		535人	505人	501人	487人	466人 ▲ 12.0%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時[A] (H22年4月時点)	13,748人	現 在[B] (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		構成比		構成比		構成比	
経常費用	149,781	100.0%	164,644	100.0%	167,528	100.0%	
	人件費	36,232	24.2%	35,584	21.6%	37,599	22.4%
	物件費等	16,160	10.8%	16,669	10.1%	17,702	10.6%
	維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	減価償却費	97,389	65.0%	112,392	68.3%	112,226	67.0%
	支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	149,781	100.0%	164,644	100.0%	167,528	100.0%	
経常収益(直接的収入)	464	100.0%	345	100.0%	240	100.0%	
	使用料・手数料	464	100.0%	345	100.0%	240	100.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	464	100.0%	345	100.0%	240	100.0%	
年間コスト	▲ 149,317		▲ 164,300		▲ 167,288		

年間利用者数	487	人	466	人	439	人
延床面積当たりコスト	15,333	円/m <sup>2</sup>	16,872	円/m <sup>2</sup>	17,178	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	306,606	円/人	352,574	円/人	381,065	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	125	円/人	139	円/人	144	円/人
有形固定資産減価償却率	44.6	%	46.8	%	49.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:体育館				03:第二体育館				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	4階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	2,110.91 m <sup>2</sup>				920.03 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>				
延床面積	6,441.00 m <sup>2</sup>				1,011.23 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>				
建築年月	2019年2月	耐用年数	50年		1966年3月	耐用年数	38年		1983年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	済			済	済	不要		
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋上シート防水				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		コンクリート打ち放し				外壁鋼板				外壁鋼板			
	電気設備	受変電設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		電灯動力設備				放送設備				放送設備			
		放送設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		自動火災報知設備											
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				衛生器具				衛生器具			
		各種タンク類、放熱器類											
		エアコン、衛生器具											
劣化度調査	建築	劣化なし				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
						いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備					経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
	機械設備	劣化なし				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
						しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要			
定期点検	建築	指摘事項なし				天井金具の落下跡あり 屋根塗膜劣化				床のずれ 内壁の穴			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備	R3:エアコン設置(電気設備)工事【17】											
	機械設備	R3:エアコン設置(機械設備)工事【33】											

番号:建物名称	04:柔剣道場				05:部室				06:合宿所				
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		住宅建		
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	263.49 m <sup>2</sup>				209.36 m <sup>2</sup>				191.70 m <sup>2</sup>				
延床面積	263.49 m <sup>2</sup>				280.00 m <sup>2</sup>				381.60 m <sup>2</sup>				
建築年月	1972年3月	耐用年数	38年		1992年12月	耐用年数	31年		1973年10月	耐用年数	34年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁パネル張				外壁鋼板				外壁コンクリート			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				放送設備			
										自動火災報知設備			
	機械設備	なし				衛生器具				衛生器具			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
	機械設備					経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
						しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要			
定期点検	建築	内部鉄骨塗膜の劣化 雨漏り				指摘事項なし				鉄骨部の発錆 雨漏り オイル配管塗膜剥離			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
	機械設備												

番号:建物名称	07:野球雨天練習場													
構造 / 種目	S造		雑屋建											
階数	地上	1階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	540.21 m <sup>2</sup>													
延床面積	540.21 m <sup>2</sup>													
建築年月	1989年6月	耐用年数	31年			耐用年数				耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺												
		外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備												
		自動火災報知設備												
	機械設備	なし												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	機械設備													
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫			50百万円									50百万円		
県債												0百万円		
一般財源												0百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	50百万円	0百万円	0百万円	0百万円	50百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		柔剣道場改修				
概算費用(見込)	0 百万円	32 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	32 百万円
国庫						0 百万円
県債		28 百万円				28 百万円
一般財源		4 百万円				4 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈高等学校(長内分校)		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	久慈市川崎町1-15		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	商業地域				
敷地面積	11,996.00 m <sup>2</sup>		建築面積	1,634.25 m <sup>2</sup>	延床面積	2,302.77 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1970年6月		経過年数 (R7.4.1現在)	54年	施設内棟数	5棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	<p>昭和23年 県立久慈農業高等学校に定時制課程夜間部県立久慈農業高等学校定時制中心校を併設。</p> <p>昭和24年 県立久慈高等学校との統合。</p> <p>昭和37年 県立久慈高等学校長内分校定時制課程普通科に改め、平成3年 県立久慈高等学校長内校と改称。</p> <p>平成30年 創立70周年を迎えた。</p> <p>昼間部と夜間部からなる多部制と単位制を特徴としており、互いの個性を認め合い思いやりながら生活することを基本とし、教科の学習や部活動はもちろん奉仕活動や体験学習を通して、人間としての成長を促し、「生きる力」を育成することを目指しています。</p>									
未利用設備	無			大規模改修	有					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	700.88 m <sup>2</sup>	延床面積	1,369.40 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1970年6月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(お盆、年末年始期間を除く)		運営時間	12:30~21:00	
	職員数	20人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	51人		定員数	80人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 66人	令和元年度 67人	令和2年度 77人	令和3年度 72人	令和4年度 59人
						増減率 (R5/過去5年平均) 4.1%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	12,613	100.0%	13,842	100.0%	12,786	100.0%
人件費	7,942	63.0%	8,068	58.3%	8,140	63.7%
物件費等	4,012	31.8%	4,211	30.4%	3,612	28.2%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	658	5.2%	1,564	11.3%	1,034	8.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	12,613	100.0%	13,842	100.0%	12,786	100.0%
経常収益(直接的収入)	38	100.0%	48	100.0%	49	100.0%
使用料・手数料	38	100.0%	48	100.0%	49	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	38	100.0%	48	100.0%	49	100.0%
年間コスト	▲ 12,575		▲ 13,794		▲ 12,737	

年間利用者数	72	人	59	人	71	人
延床面積当たりコスト	5,461	円/m <sup>2</sup>	5,990	円/m <sup>2</sup>	5,531	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	174,651	円/人	233,796	円/人	179,388	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	11	円/人	12	円/人	11	円/人
有形固定資産減価償却率	94.4	%	95.0	%	95.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:体育館									
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建							
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	700.88 m <sup>2</sup>				872.03 m <sup>2</sup>									
延床面積	1,369.40 m <sup>2</sup>				872.03 m <sup>2</sup>									
建築年月	1970年6月	耐用年数	50年		1972年11月	耐用年数	38年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根シート防水				屋根鋼板葺								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁鋼板張								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
		電話交換設備												
	機械設備	FF暖房機				衛生器具								
		衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要								
定期点検	建築	雨漏り 建具ガラスの隙間				ステージ内壁の劣化 天井材ずれ 基礎コンクリート浮き								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
						R3:エアコン設置工事【17】								
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫			17百万円									17百万円		
県債												0百万円		
一般財源												0百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	17百万円	0百万円	0百万円	0百万円	17百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後50年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈翔北高等学校門前校舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	久慈市門前36-10		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域				
敷地面積	284,074.90 m <sup>2</sup>		建築面積	9,544.32 m <sup>2</sup>	延床面積	19,065.99 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1981年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	44 年	施設内棟数	30 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	平成16年に久慈市内にある3つの高校(久慈農林高校、久慈商業高校、久慈水産高校)が統合して生まれた総合学科高校である。2年次生からは、生徒個人の興味や関心そして卒業後の進路に応じて7つの専門系列に分かれて学習を進めている。									
未利用設備	無			大規模改修						
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	741.61 m <sup>2</sup>	延床面積	2,131.95 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1981年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	73 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	424 人		定員数	600 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		631人	592人	562人	535人	538人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	110,188	100.0%	118,010	100.0%	116,291	100.0%
人件費	24,109	21.9%	24,192	20.5%	24,223	20.8%
物件費等	21,126	19.2%	26,224	22.2%	27,761	23.9%
維持修繕費	769	0.7%	797	0.7%	472	0.4%
減価償却費	64,184	58.2%	66,797	56.6%	63,835	54.9%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	110,188	100.0%	118,010	100.0%	116,291	100.0%
経常収益(直接的収入)	331	100.0%	369	100.0%	324	100.0%
使用料・手数料	331	100.0%	369	100.0%	324	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	331	100.0%	369	100.0%	324	100.0%
年間コスト	▲ 109,857		▲ 117,642		▲ 115,967	

年間利用者数	535	人	538	人	497	人
延床面積当たりコスト	5,762	円/m <sup>2</sup>	6,170	円/m <sup>2</sup>	6,082	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	205,340	円/人	218,665	円/人	233,334	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	92	円/人	100	円/人	100	円/人
有形固定資産減価償却率	59.3	%	61.3	%	63.3	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:産振施設宿泊実習棟				03:農業管理室棟				
構造 / 種目	S造		事務所建		SC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	741.61 m <sup>2</sup>				200.00 m <sup>2</sup>				242.00 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,131.95 m <sup>2</sup>				200.00 m <sup>2</sup>				484.00 m <sup>2</sup>				
建築年月	1981年3月	耐用年数	38年		1985年2月	耐用年数	50年		1981年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	済			不要	不要			済	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁パネル張				外壁パネル張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	衛生器具				衛生器具				FF暖房機			
		エアコン				給湯機				衛生器具			
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
定期点検	建築	屋根の発錆				指摘事項なし				屋根の発錆			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
	機械設備												

番号:建物名称	04:生活科棟				05:校舎、産振棟				06:体育館(渡り廊下含む)			
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建	
階数	地上	4階	地下	0階	地上	5階	地下	0階	地上	2階	地下	0階
建築面積	223.20 m <sup>2</sup>				2,625.56 m <sup>2</sup>				1,471.45 m <sup>2</sup>			
延床面積	906.00 m <sup>2</sup>				9,772.37 m <sup>2</sup>				1,439.40 m <sup>2</sup>			
建築年月	1981年3月	耐用年数	50年		2003年11月	耐用年数	50年		2003年8月	耐用年数	38年	
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			不要	不要		
その他特記事項												
主な建築・設備	建築	屋上シート防水				屋上シート防水				屋根鋼板葺		
		コンクリート打ち放し				コンクリート打ち放し				外壁鋼板		
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備		
		放送設備				放送設備				放送設備		
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
						電話交換設備						
	機械設備	衛生器具				温水ヒーター、各種ポンプ類				衛生器具		
						各種タンク類、放熱器類						
						エアコン、衛生器具						
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。		
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、25年経過を目安に総 合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、25年経過を目安に総 合的な改修が必要		
定期点検	建築	指摘事項なし				壁ひび割れ 屋上防水の剥がれ 外壁コンクリートの白華				雨漏り跡		
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし		
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R1:産振棟耐震補強工事【13】				R3:多目的ホール吊天井改修工事【19】						
	電気設備					R3:エアコン設置(電気設備)工事【18】						
						R3:エアコン設置(機械設備)工事【28】						
	機械設備											

番号:建物名称	07:第二体育館				08:柔剣道場				09:部室			
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建	
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階
建築面積	701.79 m <sup>2</sup>				381.22 m <sup>2</sup>				213.86 m <sup>2</sup>			
延床面積	613.90 m <sup>2</sup>				363.92 m <sup>2</sup>				303.82 m <sup>2</sup>			
建築年月	1988年3月	耐用年数	38年		1982年11月	耐用年数	38年		2005年3月	耐用年数	38年	
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	不要			不要	不要		
その他特記事項												
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板		
		外壁鋼板				外壁パネル張				外壁鋼板		
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備		
		放送設備				放送設備				自動火災報知設備		
		自動火災報知設備				自動火災報知設備						
	機械設備	衛生器具				なし				衛生器具		
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。		
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行		
定期点検	建築	外部哲部、柱の発錆 雨漏り跡 床材の劣化				梁の発錆				鉄部発錆		
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし		
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築											
	電気設備											
	機械設備											

番号:建物名称	10:干草乾燥室兼肥料室				11:成牛舎棟									
構造 / 種目	S造		雑屋建		S造		雑屋建							
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	276.08 m <sup>2</sup>				590.03 m <sup>2</sup>									
延床面積	248.08 m <sup>2</sup>				725.03 m <sup>2</sup>									
建築年月	1996年3月	耐用年数	31年		1993年5月	耐用年数	31年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板				屋根鋼板								
		外壁鋼板				外壁鋼板								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	外部鉄骨発錆				外部鉄骨プレスの発錆 外部入口ドアパネルの割れ シャッターパート発錆								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
			46百万円				46百万円							
			17百万円				17百万円							
			2百万円				2百万円							
			0百万円				0百万円							
計		0百万円	65百万円	0百万円	0百万円	0百万円	65百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
					煙突内断熱材	
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	3 百万円	3 百万円
国庫						0 百万円
県債					2 百万円	2 百万円
一般財源					1 百万円	1 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

1 施設概要					
1 施設名称	久慈翔北高等学校野田校舎	策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
2 所在地	九戸郡野田村大字野田26-62-17	施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
3 所管課	学校教育室	運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
4 都市計画区域	都市計画区域外	防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
5 敷地面積	75,994.45 m <sup>2</sup>	建築面積	6,682.83 m <sup>2</sup>	延床面積	10,908.59 m <sup>2</sup>
6 竣工年度 (建築年月)	1979年7月	経過年数 (R7.4.1現在)	45 年	施設内棟数	14 棟
7 設置根拠	有 学校教育法				
8 設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。				
9 施設の概況	昭和55年に開校し、令和3年に開校40周年を迎えた。「敬愛礼節 協調団結 技術鍛錬 積極実線 至誠責任」を校訓とする。				
10 未利用設備	無	大規模改修	有		
11 使用許可等の有無	有				
12 主要棟	名称 管理教室棟				現況写真 
13	構造 RC造	種目	事務所建		
14	階数 地上	3階	地下	0階	
15	建築面積 935.20 m <sup>2</sup>	延床面積	2,362.00 m <sup>2</sup>		
16	建築年月日 1979年7月	法定耐用年数	50 年		
17	耐震診断 済	耐震改修	不要		
18	その他特記事項				

2 利用状況						
R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	34 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	70 人		定員数	240 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 160人	令和元年度 148人	令和2年度 123人	令和3年度 108人	令和4年度 100人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 18.6%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		構成比		構成比		構成比	
経常費用	87,808	100.0%	89,631	100.0%	89,771	100.0%	
	人件費	35,474	40.4%	37,212	41.5%	37,224	41.5%
	物件費等	10,996	12.5%	11,820	13.2%	12,685	14.1%
	維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	減価償却費	41,339	47.1%	40,600	45.3%	39,862	44.4%
	支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
24 支出合計	87,808	100.0%	89,631	100.0%	89,771	100.0%	
	経常収益(直接的収入)	469	100.0%	456	100.0%	277	100.0%
収入合計	使用料・手数料	469	100.0%	456	100.0%	277	100.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
年間コスト	469	100.0%	456	100.0%	277	100.0%	
	▲ 87,339		▲ 89,175		▲ 89,493		

25 年間利用者数	108	人	100	人	104	人
26 延床面積当たりコスト	8,006	円/m <sup>2</sup>	8,175	円/m <sup>2</sup>	8,204	円/m <sup>2</sup>
27 学生等1人当たりコスト	808,699	円/人	891,747	円/人	860,514	円/人
28 (参考)県民1人当たりコスト	73	円/人	76	円/人	77	円/人
29 有形固定資産減価償却率	85.7	%	87.8	%	89.2	%

(参考)岩手県の人口  
(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

■E

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:管理教室棟				02:産振施設				03:インテリア科棟							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建					
階数	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階				
建築面積	935.20 m <sup>2</sup>				679.34 m <sup>2</sup>				911.46 m <sup>2</sup>							
延床面積	2,362.00 m <sup>2</sup>				1,126.40 m <sup>2</sup>				1,783.92 m <sup>2</sup>							
建築年月	1979年7月	耐用年数	50年		1993年3月	耐用年数	50年		1981年1月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			不要	不要			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		電話交換設備														
	機械設備	FF暖房機			FF暖房機			FF暖房機								
		各種ポンプ類、各種タンク類			衛生器具			衛生器具								
		エアコン														
		衛生器具														
劣化度調査	建築	屋根外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	外部階段裏コンクリート剥離 外部階段の発錆			外部土間階段コンクリートの劣化			水力実験架台の傾き、腐食								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備	R3:エアコン設置(電気設備)工事【14】														
	機械設備	R3:エアコン設置(機械設備)工事【17】														
					R5:管理特別教室棟FF暖房更新工事【18】											

番号:建物名称	04:産振棟				05:体育館				06:柔剣道場							
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		S造		雑屋建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階				
建築面積	1,628.19 m <sup>2</sup>				1,220.09 m <sup>2</sup>				356.92 m <sup>2</sup>							
延床面積	3,096.54 m <sup>2</sup>				1,111.10 m <sup>2</sup>				356.92 m <sup>2</sup>							
建築年月	1979年3月	耐用年数	50年		1980年3月	耐用年数	38年		1981年3月	耐用年数	31年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	不要			済	不要						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			外壁鋼板			外壁パネル張								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			自動火災報知設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備											
	機械設備	FF暖房機			衛生器具			なし								
		衛生器具														
劣化度調査	建築	屋根外壁の老朽化が進行して			屋根外壁の老朽化が進行して			屋根外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行											
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要											
定期点検	建築	指摘事項なし			軒天見切り板金の劣化 外壁塗膜劣化			外壁劣化								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			ランプ入手不可により不点灯								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
	機械設備															

番号:建物名称	07:セミナーハウス				08:部室								
構造 / 種目	W造		事務所建		S造		雑屋建						
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	561.16 m <sup>2</sup>				108.00 m <sup>2</sup>								
延床面積	551.64 m <sup>2</sup>				216.00 m <sup>2</sup>								
建築年月	1986年3月	耐用年数	24年		1981年12月	耐用年数	31年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要							
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺							
		外壁パネル張				外壁鋼板							
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備							
		自動火災報知設備				自動火災報知設備							
	機械設備	温水ヒーター				衛生器具							
		各種ポンプ類											
		放熱器類											
		衛生器具											
劣化度調査	建築	屋根外壁の老朽化が進行して				屋根外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	非常用照明バッテリ一切れ				指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫			31百万円							31百万円			
県債					16百万円					16百万円			
一般財源					2百万円					2百万円			
その他										0百万円			
計		0百万円	31百万円	0百万円	18百万円	0百万円	49百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	種市高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	九戸郡洋野町種市38-94-110		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	50,631.00 m <sup>2</sup>		建築面積	5,575.37 m <sup>2</sup>	延床面積	8,562.92 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1987年8月		経過年数 (R7.4.1現在)	37 年	施設内棟数	12 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	昭和23年岩手県立久慈農業高等学校定時制種市分校普通科が種市小学校の一隅に設置される。夜間定時制、1学級。昭和45年岩手県立種市高等学校独立。全国的に名聲を博している「南部もぐり」は洋野町が発症であり、その高度な技術は国際的な評価を受けている。この伝統を受け継ぐために全国唯一の学科「水中土木」(現在は「海洋開発科」)が設置された。「自愛・自立・自彊」を校是とする。									
未利用設備	無			大規模改修	有					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	1,704.37 m <sup>2</sup>	延床面積	3,884.70 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1987年8月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:25~16:55	
	職員数	38 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	103 人		定員数	240 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		236人	201人	172人	154人	147人 ▲ 22.5%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時[A] (H22年4月時点)	13,748人	現 在[B] (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
		構成比		構成比		構成比	
経常費用	92,741	100.0%	97,109	100.0%	98,302	100.0%	
	人件費	46,220	49.8%	46,299	47.7%	47,515	48.3%
	物件費等	11,908	12.8%	14,623	15.1%	15,547	15.8%
	維持修繕費	326	0.4%	265	0.3%	643	0.7%
	減価償却費	34,287	37.0%	35,922	37.0%	34,597	35.2%
	支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	92,741	100.0%	97,109	100.0%	98,302	100.0%	
経常収益(直接的収入)	80	100.0%	119	100.0%	115	100.0%	
	使用料・手数料	80	100.0%	119	100.0%	115	100.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	80	100.0%	119	100.0%	115	100.0%	
年間コスト	▲ 92,661		▲ 96,991		▲ 98,187		

年間利用者数	154	人	147	人	141	人
延床面積当たりコスト	10,821	円/m <sup>2</sup>	11,327	円/m <sup>2</sup>	11,467	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	601,697	円/人	659,800	円/人	696,362	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	77	円/人	82	円/人	84	円/人
有形固定資産減価償却率	72.8	%	75.2	%	77.4	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎棟				02:産振施設(潜水プール、実習棟)				03:体育館				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	1,704.37 m <sup>2</sup>				1,313.55 m <sup>2</sup>				990.43 m <sup>2</sup>				
延床面積	3,884.70 m <sup>2</sup>				1,993.05 m <sup>2</sup>				1,006.10 m <sup>2</sup>				
建築年月	1987年8月	耐用年数	50年		2000年3月	耐用年数	38年		1968年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			済	済			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		コンクリート打ち放し				外壁パネル張				外壁鋼板張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	FF暖房機				FF暖房機				衛生器具			
		各種ポンプ類、各種タンク類				衛生器具							
		エアコン											
		衛生器具											
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
	建築	指摘事項なし				外部階段の発錆 荷受バルコニー手摺の発錆 内部塗床材の剥離				床下換気口廻りのコンクリート劣化 入口天井雨漏り			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備	蛍光灯安定器故障				外部天井ダウンライト灯具腐食不点灯				指摘事項なし			
	機械設備	指摘事項なし				配送管腐食				指摘事項なし			
	建築												
	電気設備	R3:エアコン設置(電気設備)工事【15】											
		R5:自動火災報知設備更新工事【12】											
	機械設備	R2:冷房設備設置工事【4】											
		R3:エアコン設置(機械設備)工事【19】											

番号:建物名称	04:柔剣道場				05:部室				06:レスリング場				
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		事務所建		
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	350.01 m <sup>2</sup>				191.36 m <sup>2</sup>				353.26 m <sup>2</sup>				
延床面積	350.01 m <sup>2</sup>				256.00 m <sup>2</sup>				325.00 m <sup>2</sup>				
建築年月	1977年3月	耐用年数	38年		1990年1月	耐用年数	31年		1992年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁パネル張				外壁鋼板張				外壁パネル張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				自動火災報知設備				放送設備			
		自動火災報知設備								自動火災報知設備			
	機械設備	なし				衛生器具				なし			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
						経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	鉄骨柱ベースプレート、アンカーボルトの腐食				階段・手摺の発錆、腐食				外部鉄骨プレースの発錆			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築									R4:レスリング場吊天井改修工事【17】			
	電気設備												
	機械設備												

番号:建物名称	07:セミナーハウス(白鷗館)													
構造 / 種目	W造		事務所建											
階数	地上	2階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	260.16 m <sup>2</sup>													
延床面積	335.83 m <sup>2</sup>													
建築年月	1998年9月	耐用年数	24年		耐用年数				耐用年数					
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺												
		外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備												
		自動火災報知設備												
		テレビ共聴設備												
	機械設備	衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	しており、総合的な改修が必要												
	電気設備													
	機械設備													
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫			34百万円									34百万円		
県債				15百万円	10百万円							25百万円		
一般財源		4百万円		2百万円	2百万円							8百万円		
その他												0百万円		
計		4百万円	34百万円	17百万円	12百万円	0百万円	67百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後35年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
			プールろ過更新	プールろ過更新		
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	1 百万円	11 百万円	0 百万円	12 百万円
国庫						0 百万円
県債				9 百万円		9 百万円
一般財源			1 百万円	2 百万円		3 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	大野高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	九戸郡洋野町大野58-12-55		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	31,238.62 m <sup>2</sup>		建築面積	3,352.54 m <sup>2</sup>	延床面積	5,034.80 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1989年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	36 年	施設内棟数	12 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	<p>本校は、昭和28年5月21日に、県立久慈農業高等学校大野分室定時制課程として創立され、昭和49年に県立大野高等学校として独立し、平成30年に創立70周年を迎えた。</p> <p>校歌に、「村人ともに築きたる わが学び舎の礎を」と歌われているように、創立以来一貫して地域の人々と築き上げてきた。</p> <p>本校の使命は、地域社会と連携し、地域の活性化や地域防災に貢献できる人材を育成すること。そして、これから時代で活躍するために必要な資質・能力として、生涯にわたって学ぶ姿勢と人間力、考え方の柔軟性を備えた人材を育成する。</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	672.89 m <sup>2</sup>	延床面積	1,106.11 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1989年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	17 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	62 人		定員数	120 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		127人	109人	96人	87人	76人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	38,770	100.0%	42,573	100.0%	39,065	100.0%
人件費	20,863	53.8%	21,284	50.0%	21,709	55.6%
物件費等	6,891	17.8%	7,769	18.2%	7,483	19.2%
維持修繕費	333	0.9%	1,395	3.3%	336	0.9%
減価償却費	10,682	27.6%	12,125	28.5%	9,536	24.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	38,770	100.0%	42,573	100.0%	39,065	100.0%
経常収益(直接的収入)	65	100.0%	80	100.0%	45	100.0%
使用料・手数料	65	100.0%	80	100.0%	45	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	65	100.0%	80	100.0%	45	100.0%
年間コスト	▲ 38,705		▲ 42,493		▲ 39,020	

年間利用者数	87	人	76	人	79	人
延床面積当たりコスト	7,687	円/m <sup>2</sup>	8,440	円/m <sup>2</sup>	7,750	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	444,884	円/人	559,125	円/人	493,920	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	32	円/人	36	円/人	34	円/人
有形固定資産減価償却率	84.7	%	86.1	%	87.3	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:校舎				03:校舎				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	672.89 m <sup>2</sup>				385.50 m <sup>2</sup>				397.98 m <sup>2</sup>				
延床面積	1,106.11 m <sup>2</sup>				1,156.50 m <sup>2</sup>				768.02 m <sup>2</sup>				
建築年月	1989年3月	耐用年数	50年		1977年3月	耐用年数	50年		1972年12月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	不要			済	済			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
										電話交換設備			
	機械設備	FF暖房機				FF暖房機				FF暖房機			
		衛生器具				衛生器具				各種ポンプ類、各種タンク類			
										エアコン			
										衛生器具			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	コンクリート爆裂、剥落				外壁塗膜剥離 軒先ひび				指摘事項なし			
		電気設備				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし				オイルサーバーへの給油不能				指摘事項なし			
		機械設備				R3:エアコン設置(機械設備)工事【15】							
	電気設備	R3:多目的トイレ整備工事【16】											
		R6自火報更新【4】											

番号:建物名称	04:体育館				05:柔剣道場				06:生徒部室					
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		雑屋建			
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階		
建築面積	1,118.71 m <sup>2</sup>				349.92 m <sup>2</sup>				108.00 m <sup>2</sup>					
延床面積	1,118.71 m <sup>2</sup>				349.92 m <sup>2</sup>				216.00 m <sup>2</sup>					
建築年月	1971年9月	耐用年数	38年		1981年3月	耐用年数	31年		1983年11月	耐用年数	31年			
耐震診断 / 耐震改修	済	済			不要	不要			済	不要				
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				
		外壁鋼板張				外壁鋼板張				外壁鋼板張				
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備				
		放送設備				放送設備				自動火災報知設備				
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
	機械設備	衛生器具				なし				衛生器具				
劣化度調査	建築	屋根の老朽化が進行して				屋根の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				
	機械設備	劣化なし				なし				経年劣化による機能低下が進行				
										しており、総合的な改修が必要				
定期点検	建築	外壁の塗膜劣化 内壁の劣化				屋根からの雨漏り 外部鉄骨の発錆				廊下デッキ下の鉄骨の発錆、塗膜劣化				
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし				
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R6外壁等改修【20】												
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫			26百万円				26百万円							
県債			14百万円				21百万円		35百万円					
一般財源			2百万円				3百万円		5百万円					
その他									0百万円					
計		0百万円	42百万円	0百万円	0百万円	24百万円	66百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後35年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	軽米高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	九戸郡軽米町大字軽米9-34-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	45,324.59 m <sup>2</sup>		建築面積	4,955.28 m <sup>2</sup>	延床面積	8,138.96 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1971年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	54 年	施設内棟数	14 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	軽米高等学校は、昭和23年5月に修業年限4年の夜間定時制普通科の新制高校として開校した。昭和25年には全日制課程が併設され、平成11年には地域の中学校4校(軽米中・笛渡中・小軽米中・晴山中)との間で連携型中高一貫教育が始まった。創立以来「地域の発展は人材育成から」という地域住民の願いに応えるべく、今日まで様々な分野において活躍する人材を輩出してきた。「明るく強く逞しく」という校訓、並びに「風雪に耐え大いなる未来を拓かん」という校是のもと、学問尊重の精神を培い、個に応じた学びを通して、社会を創造的に歩むために必要な学力・能力・主体性の育成や、豊かな人間性、逞しく生きる力等、地域の発展に寄与すべく地域と連携しながら歩んでいる。									
未利用設備	無	大規模改修		有						
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	4階	地下						
	建築面積	617.20 m <sup>2</sup>	延床面積	2,468.80 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1971年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	35 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	120 人		定員数	240 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		168人	166人	168人	174人	162人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時[A] (H22年4月時点)	13,748人	現 在[B] (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	48,908	100.0%	51,619	100.0%	49,629	100.0%
人件費	21,925	44.8%	22,262	43.1%	22,689	45.7%
物件費等	10,488	21.4%	14,165	27.4%	13,135	26.5%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	16,495	33.7%	15,192	29.4%	13,805	27.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	48,908	100.0%	51,619	100.0%	49,629	100.0%
経常収益(直接的収入)	107	100.0%	136	100.0%	95	100.0%
使用料・手数料	107	100.0%	136	100.0%	95	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	107	100.0%	136	100.0%	95	100.0%
年間コスト	▲ 48,801		▲ 51,483		▲ 49,534	

年間利用者数	174	人	162	人	155	人
延床面積当たりコスト	5,996	円/m <sup>2</sup>	6,325	円/m <sup>2</sup>	6,086	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	280,464	円/人	317,795	円/人	319,573	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	41	円/人	44	円/人	43	円/人
有形固定資産減価償却率	92.6	%	93.6	%	94.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:教室棟				03:校舎				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建		
階数	地上	4階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	617.20 m <sup>2</sup>				677.06 m <sup>2</sup>				678.20 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,468.80 m <sup>2</sup>				1,808.44 m <sup>2</sup>				629.35 m <sup>2</sup>				
建築年月	1971年3月	耐用年数	50年		1980年3月	耐用年数	50年		1986年3月	耐用年数	50年		
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	蒸気ボイラー、各種ポンプ類				放熱器類				放熱器類			
		各種タンク類、放熱器類				衛生器具				衛生器具			
		エアコン、衛生器具				エアコン				エアコン			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	ポーチの軒天劣化 外部柱コンクリートのひび割れ				サッシ廻りのコンクリート劣化 ポーチ天井雨漏り跡 渡り廊下間柱の腐食				外壁コンクリートのひび割れ			
		電気設備				指摘事項なし				指摘事項なし			
		機械設備				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R4:煙突改修工事【38】											
		電気設備				R3:エアコン設置(電気設備)工事【23】							
	機械設備	R5:自動火災報知設備更新工事【5】											
		R2:給水設備改修工事【21】											
		R3:エアコン設置(機械設備)工事【14】											

番号:建物名称	04:体育館				05:第二体育館				06:柔剣道場				
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	982.50 m <sup>2</sup>				701.79 m <sup>2</sup>				403.48 m <sup>2</sup>				
延床面積	1,067.00 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>				356.92 m <sup>2</sup>				
建築年月	1970年2月	耐用年数	38年		1988年3月	耐用年数	38年		1988年11月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁鋼板				外壁鋼板				外壁パネル張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				自動火災報知設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備							
	機械設備	衛生器具				衛生器具				なし			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	外階段鉄骨の発錆				指摘事項なし				外壁の劣化			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
	機械設備	R2:避難所トイレ整備工事【3】											

番号:建物名称	07:部室				08:セミナーハウス								
構造 / 種目	S造		雑屋建		W造		事務所建						
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	120.00 m <sup>2</sup>				359.33 m <sup>2</sup>								
延床面積	240.00 m <sup>2</sup>				556.47 m <sup>2</sup>								
建築年月	1983年11月	耐用年数	31年		1997年3月	耐用年数	24年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要							
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺							
		外壁鋼板				外壁パネル張							
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備							
		自動火災報知設備				放送設備							
						自動火災報知設備							
	機械設備	衛生器具				衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
		しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要							
	電気設備	煙突、外階段鉄骨の発錆											
		指摘事項なし											
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし				指摘事項なし							
		指摘事項なし											
	電気設備	煙油供給管に発錆											
		指摘事項なし											
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫			37百万円								37百万円		
県債		21百万円		34百万円	4百万円						59百万円		
一般財源		3百万円		4百万円	1百万円						8百万円		
その他											0百万円		
計		24百万円	37百万円	38百万円	5百万円	0百万円	104百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後50年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	伊保内高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	九戸郡九戸村大字伊保内1-61-12		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	48,087.00 m <sup>2</sup>		建築面積	3,268.39 m <sup>2</sup>	延床面積	4,849.92 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	2021年9月		経過年数 (R7.4.1現在)	3 年	施設内棟数	11 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	昭和24年4月1日に岩手県立福岡高等学校伊保内分校(定時制課程)として開校し、24年後の昭和48年に伊保内高等学校として独立、令和6年4月1日で開校75周年を迎える全日制普通科の高校です。									
未利用設備	無			大規模改修	有					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	教室棟			現況写真					
	構造	W造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	962.13 m <sup>2</sup>	延床面積	1,672.82 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2021年9月	法定耐用年数	24 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	19 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	61 人		定員数	120 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		111人	102人	94人	79人	85人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	35,884	100.0%	66,266	100.0%	64,924	100.0%
人件費	18,155	50.6%	22,043	33.3%	22,589	34.8%
物件費等	12,375	34.5%	7,516	11.3%	8,341	12.8%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	5,354	14.9%	36,707	55.4%	33,994	52.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	35,884	100.0%	66,266	100.0%	64,924	100.0%
経常収益(直接的収入)	66	100.0%	94	100.0%	88	100.0%
使用料・手数料	22	32.5%	22	23.0%	22	24.6%
その他	45	67.5%	72	77.0%	66	75.4%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	66	100.0%	94	100.0%	88	100.0%
年間コスト	▲ 35,817		▲ 66,172		▲ 64,836	

年間利用者数	79	人	85	人	80	人
延床面積当たりコスト	7,385	円/m <sup>2</sup>	13,644	円/m <sup>2</sup>	13,368	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	453,383	円/人	778,497	円/人	810,451	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	30	円/人	56	円/人	56	円/人
有形固定資産減価償却率	98.2	%	43.3	%	46.2	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:教室棟				02:管理教室棟				03:体育館				
構造 / 種目	W造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	962.13 m <sup>2</sup>				505.26 m <sup>2</sup>				1,187.08 m <sup>2</sup>				
延床面積	1,672.82 m <sup>2</sup>				1,376.10 m <sup>2</sup>				1,187.08 m <sup>2</sup>				
建築年月	2021年9月	耐用年数	24年		1977年3月	耐用年数	50年		1971年1月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	済			済	済	不要		
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根シート防水				屋根鋼板葺			
		外壁窯業系サイディング張				コンクリート外壁塗膜仕上				外壁鋼板			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	エアコン、FF暖房機				FF暖房機				なし			
		各種ポンプ類				衛生器具							
		各種タンク類											
		衛生器具											
劣化度調査	建築					屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
						いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備					経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
						しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要			
定期点検	建築	劣化なし				経年劣化による機能低下が進行							
						しており、総合的な改修が必要							
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R2～3:校舎改築(建築)工事【676】				R4:特別教室棟ベランダ改修工事【9】							
	電気設備	R2～3:校舎改築(電気設備)工事【75】											
	機械設備	R2～3:校舎改築(機械設備)工事【90】											

番号:建物名称	04:柔剣道場													
構造 / 種目	S造		事務所建											
階数	地上	1階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	357.21 m <sup>2</sup>													
延床面積	357.21 m <sup>2</sup>													
建築年月	1979年3月	耐用年数	38年		耐用年数				耐用年数					
耐震診断 / 耐震改修	済	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺												
		外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備												
		放送設備												
		自動火災報知設備												
	機械設備	なし												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		しており、総合的な改修が必要												
定期点検	建築	柱脚基礎コンクリートが凍害により脱落												
	機械設備	照明切れ												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債			756百万円	8百万円			764百万円							
一般財源			85百万円	1百万円			86百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	841百万円	9百万円	0百万円	0百万円	850百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	福岡高等学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	二戸市福岡字上平10		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域				
敷地面積	66,092.84 m <sup>2</sup>		建築面積	8,338.89 m <sup>2</sup>	延床面積	13,497.80 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1970年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	55 年	施設内棟数	24 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	明治34年「岩手県立福岡中学校」として開校、昭和23年学制改革により「岩手県立福岡高等学校」となり、令和5年で創立121年を迎えた男女共学の伝統校であり、「文武両道」、「質実剛健」を校是とする。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	4階	地下						
	建築面積	443.41 m <sup>2</sup>	延床面積	1,989.62 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1970年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	53 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	365 人		定員数	640 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		617人	566人	498人	445人	407人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	94,488	100.0%	102,086	100.0%	99,098	100.0%
人件費	41,186	43.6%	41,589	40.7%	42,564	43.0%
物件費等	22,687	24.0%	25,279	24.8%	23,667	23.9%
維持修繕費	549	0.6%	938	0.9%	720	0.7%
減価償却費	30,067	31.8%	34,279	33.6%	32,147	32.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	94,488	100.0%	102,086	100.0%	99,098	100.0%
経常収益(直接的収入)	634	100.0%	598	100.0%	511	100.0%
使用料・手数料	634	100.0%	598	100.0%	511	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	634	100.0%	598	100.0%	511	100.0%
年間コスト	▲ 93,854		▲ 101,488		▲ 98,587	

年間利用者数	445	人	407	人	418	人
延床面積当たりコスト	6,953	円/m <sup>2</sup>	7,519	円/m <sup>2</sup>	7,304	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	210,908	円/人	249,356	円/人	235,853	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	78	円/人	86	円/人	85	円/人
有形固定資産減価償却率	87.6	%	89.0	%	90.4	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:本校舎				03:校舎							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建					
階数	地上	4階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階				
建築面積	443.41 m <sup>2</sup>				1,002.48 m <sup>2</sup>				636.00 m <sup>2</sup>							
延床面積	1,989.62 m <sup>2</sup>				2,713.48 m <sup>2</sup>				1,834.87 m <sup>2</sup>							
建築年月	1970年3月	耐用年数	50年		1969年5月	耐用年数	50年		1967年3月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋上シート防水			屋上シート防水			屋上シート防水								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		電話交換設備														
	機械設備	蒸気ボイラー、各種ポンプ類			放熱器類			放熱器類								
		各種タンク類、放熱器類			衛生器具			衛生器具								
		エアコン、衛生器具			エアコン			エアコン								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく								
		進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要								
定期点検	建築	内壁クラック 階段室雨漏り跡 屋上手摺の一部腐食			指摘事項なし			屋上手摺の発錆 屋上防水シート劣化 ベランダ壁下端の塗膜剥離								
	電気設備	電話交換機、電話器の廃盤			電話交換機、電話器の廃盤			電話交換機、電話器の廃盤								
	機械設備	ボイラー配管、ファンコンベクター劣化			ボイラー配管、ファンコンベクター劣化			ボイラー配管、ファンコンベクター劣化								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備	R3:エアコン設置(電気設備)工事【30】														
	機械設備	R3:エアコン設置(機械設備)工事【45】														

番号:建物名称	04:特別教室棟				05:第一体育館				06:第二体育館							
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階				
建築面積	424.37 m <sup>2</sup>				1,607.60 m <sup>2</sup>				742.90 m <sup>2</sup>							
延床面積	783.94 m <sup>2</sup>				1,533.00 m <sup>2</sup>				742.90 m <sup>2</sup>							
建築年月	1981年3月	耐用年数	50年		2001年2月	耐用年数	38年		1985年3月	耐用年数	38年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			不要	不要			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			外壁パネル張			外壁鋼板								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
	機械設備	放熱器類			なし			衛生器具								
		衛生器具														
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく								
		進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
		機械設備			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	屋根の発錆			外壁のひび割れ、穴あき 教官室天窓周辺雨漏り跡			外壁の下端見切りポンデ鋼板の腐食								
		電気設備			電話交換機、電話器の廃盤			水銀灯生産終了により電球の交換が できない								
		機械設備			ボイラー配管、ファンコンベクター劣化			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
	機械設備															

番号:建物名称	07:柔剣道場				08:プール				09:屋内練習場											
構造 / 種目	S造		事務所建		W造		雑屋建		S造		雑屋建									
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	356.92 m <sup>2</sup>				986.78 m <sup>2</sup>				630.00 m <sup>2</sup>											
延床面積	356.92 m <sup>2</sup>				940.16 m <sup>2</sup>				630.00 m <sup>2</sup>											
建築年月	1986年11月	耐用年数	38年		2002年3月	耐用年数	15年		2001年7月	耐用年数	31年									
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根スレート板			屋根鋼板葺												
		外壁パネル張			外壁パネル張			外壁鋼板												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備						放送設備												
		自動火災報知設備						自動火災報知設備												
	機械設備	なし			ろ過装置			なし												
					衛生器具															
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく			屋上防水や外壁の老朽化が著しく												
		進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要			進行しており、総合的な改修が必要												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	指摘事項なし			屋根の劣化、破損(軒の木材腐食)			指摘事項なし												
	電気設備	水銀灯生産終了により電球の交換ができない			水銀灯生産終了により電球の交換ができない			水銀灯生産終了により電球の交換ができない												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	電気設備																			
	機械設備																			

番号:建物名称	10:部室				11:研修宿泊施設									
構造 / 種目	S造		雑屋建		RC造		住宅建							
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	227.36 m <sup>2</sup>				340.20 m <sup>2</sup>									
延床面積	304.00 m <sup>2</sup>				680.40 m <sup>2</sup>									
建築年月	1989年2月	耐用年数	31年		1981年10月	耐用年数	47年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺								
		外壁鋼板				外壁タイル張								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		自動火災報知設備				放送設備								
						自動火災報知設備								
	機械設備	なし				衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が著しく				屋上防水や外壁の老朽化が著しく								
		進行しており、総合的な改修が必要				進行しており、総合的な改修が必要								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備					経年劣化による機能低下が進行								
						しており、総合的な改修が必要								
定期点検	建築	鉄骨発錆				指摘事項なし								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫			75百万円									75百万円		
県債												0百万円		
一般財源												0百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	75百万円	0百万円	0百万円	0百万円	75百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	更新
	県立学校として、機能が現状維持とし、将来に渡って継続的に維持。 なお、校舎の老朽化が著しいため、更新することが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	国庫					0 百万円
	県債					0 百万円
	一般財源					0 百万円
	その他					0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	北桜高等学校(工業校舎)		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	二戸市石切所字火行塚2-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	準工業地域				
敷地面積	46,080.97 m <sup>2</sup>		建築面積	7,607.68 m <sup>2</sup>	延床面積	11,577.63 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	2021年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	4 年	施設内棟数	19 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	昭和39年福岡工業高等学校を設立挙行し、60周年を迎える令和6年4月一戸高等学校と統合(校舎制)し、引き続き工業科を置いて北桜高等学校として開校									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	管理・教室棟			現況写真					
	構造	W造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,640.25 m <sup>2</sup>	延床面積	2,928.08 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2021年3月	法定耐用年数	24 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:35~17:05	
	職員数	38 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	148 人		定員数	240 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		206人	181人	168人	178人	189人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	143,113	100.0%	142,137	100.0%	143,155	100.0%
人件費	23,738	16.6%	25,098	17.7%	26,687	18.6%
物件費等	14,449	10.1%	14,556	10.2%	14,036	9.8%
維持修繕費	422	0.3%	51	0.0%	0	0.0%
減価償却費	104,503	73.0%	102,432	72.1%	102,432	71.6%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	143,113	100.0%	142,137	100.0%	143,155	100.0%
経常収益(直接的収入)	113	100.0%	148	100.0%	1,037	100.0%
使用料・手数料	113	100.0%	148	100.0%	1,037	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	113	100.0%	148	100.0%	1,037	100.0%
年間コスト	▲ 142,999		▲ 141,988		▲ 142,118	

年間利用者数	178	人	189	人	186	人
延床面積当たりコスト	12,351	円/m <sup>2</sup>	12,264	円/m <sup>2</sup>	12,275	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	803,367	円/人	751,259	円/人	764,078	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	120	円/人	120	円/人	122	円/人
有形固定資産減価償却率	50.7	%	53.5	%	55.8	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:管理・教室棟				02:電気実習棟				03:産振棟(食物・家庭)				
構造 / 種目	W造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	1,640.25 m <sup>2</sup>				710.45 m <sup>2</sup>				255.00 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,928.08 m <sup>2</sup>				1,189.44 m <sup>2</sup>				478.95 m <sup>2</sup>				
建築年月	2021年3月	耐用年数	24年		2021年3月	耐用年数	50年		1994年3月	耐用年数	50年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋上シート防水			
		外壁パネル張				コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				放熱器類				衛生器具			
		各種タンク類、放熱器類				衛生器具							
		エアコン、衛生器具											
劣化度調査	建築									屋上防水や外壁の老朽化が進行して			
										いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備												
定期点検	建築	劣化なし				劣化なし				経年劣化による機能低下が進行			
										しており、総合的な改修が必要			
	電気設備												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R1～2:校舎改築(建築)工事【1,178】											
	電気設備	R1～2:校舎改築(電気設備)工事【221】											
	機械設備	R1～2:校舎改築(機械設備)工事【259】											

番号:建物名称	04:機械科実習室				05:電気・電子科棟				06:都市工学総合実習棟							
構造 / 種目	S造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階				
建築面積	329.84 m <sup>2</sup>				685.37 m <sup>2</sup>				542.42 m <sup>2</sup>							
延床面積	708.04 m <sup>2</sup>				1,289.34 m <sup>2</sup>				930.96 m <sup>2</sup>							
建築年月	1973年1月	耐用年数	38年		1975年3月	耐用年数	50年		1998年3月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			不要	不要						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋上シート防水			屋根鋼板葺								
		外壁パネル張			コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
	機械設備	なし			放熱器類			なし								
					衛生器具											
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋上防水や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行											
定期点検	建築	指摘事項なし			内壁クラック、縦樋の発錆 パラペット付近コンクリートひび割れ・ 鉄筋爆裂			指摘事項なし								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
	機械設備															

番号:建物名称	07:機械科実習棟				08:第一体育館				09:第二体育館											
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建									
階数	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	548.64 m <sup>2</sup>				1,467.94 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>											
延床面積	1,228.04 m <sup>2</sup>				1,263.00 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>											
建築年月	1995年9月	耐用年数	50年		1999年2月	耐用年数	38年		1983年1月	耐用年数	38年									
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			済	済										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺												
		コンクリート外壁塗膜仕上			外壁パネル張			外壁鋼板												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備			放送設備			放送設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備												
		太陽光発電設備																		
	機械設備	なし			なし			なし												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して		屋根や外壁の老朽化が進行して		屋根や外壁の老朽化が進行して		屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。		いるが、構造躯体は概ね健全。		いるが、構造躯体は概ね健全。		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備							経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	内壁コンクリートの白華		内壁の損傷		足洗い場廻りコンクリートひび割れ														
		電気設備		太陽光発電設備の故障		指摘事項なし		指摘事項なし												
		機械設備		指摘事項なし		指摘事項なし		指摘事項なし												
	電気設備																			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	機械設備																			

番号:建物名称	10:柔剣道場				11:部室														
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建												
階数	地上		1階		地下		0階		地上		2階								
建築面積	300.59 m <sup>2</sup>				191.36 m <sup>2</sup>														
延床面積	300.59 m <sup>2</sup>				256.00 m <sup>2</sup>														
建築年月	1974年3月		耐用年数 38年		1990年1月		耐用年数 31年				耐用年数								
耐震診断 / 耐震改修	済		不要		不要		不要												
その他特記事項																			
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺													
		外壁パネル張				外壁鋼板													
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備													
		放送設備				自動火災報知設備													
		自動火災報知設備																	
	機械設備	なし				衛生器具													
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して													
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。													
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行																	
						経年劣化による機能低下が進行													
定期点検	建築	機械設備				しており、総合的な改修が必要													
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし													
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	鉄骨梁の鏽 基礎ひび割れ				指摘事項なし													
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし													
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計												
国庫							0百万円												
県債		1492百万円					1492百万円												
一般財源		166百万円					166百万円												
その他							0百万円												
計		1658百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	1658百万円												

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	北桜高等学校(総合校舎)			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	二戸郡一戸町一戸字蒔前60-1			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	該当			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域			
敷地面積	40,907.82 m <sup>2</sup>			建築面積	9,606.46 m <sup>2</sup>	延床面積	14,002.21 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	2007年10月			経過年数 (R7.4.1現在)	17 年	施設内棟数	35 棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	中学校における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	<p>明治44年私立二戸実修学校の創設から一町二村組合立学校、郡立学校を経て大正15年4月岩手県立一戸高等女学校、昭和23年岩手県立一戸高等学校と改称する。普通科、農業科、家政科、福祉科の学科改廃を経て平成17年4月総合学科を開科する。</p> <p>令和6年4月福岡工業高等学校と統合(校舎制)し、引き続き総合学科を置いて北桜高等学校として開校。</p> <p>一戸町奥中山に農業実習地167,409m<sup>2</sup>余を保有</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	1,439.34 m <sup>2</sup>	延床面積	3,210.03 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2007年10月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	38 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	193 人		定員数	360 人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		298人	325人	320人	294人	282人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	83,392	100.0%	81,444	100.0%	79,333	100.0%
人件費	34,313	41.1%	28,119	34.5%	25,293	31.9%
物件費等	16,430	19.7%	18,737	23.0%	20,758	26.2%
維持修繕費	56	0.1%	155	0.2%	437	0.6%
減価償却費	32,592	39.1%	34,432	42.3%	32,846	41.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	83,392	100.0%	81,444	100.0%	79,333	100.0%
経常収益(直接的収入)	361	100.0%	367	100.0%	325	100.0%
使用料・手数料	361	100.0%	367	100.0%	325	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	361	100.0%	367	100.0%	325	100.0%
年間コスト	▲ 83,031		▲ 81,077		▲ 79,008	

年間利用者数	294	人	282	人	231	人
延床面積当たりコスト	5,930	円/m <sup>2</sup>	5,790	円/m <sup>2</sup>	5,643	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	282,417	円/人	287,506	円/人	342,025	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	69	円/人	69	円/人	68	円/人
有形固定資産減価償却率	50.7	%	53.5	%	55.8	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:校舎				03:渡廊下(校舎間)							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		雑屋建					
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階				
建築面積	1,439.34 m <sup>2</sup>				993.32 m <sup>2</sup>				105.71 m <sup>2</sup>							
延床面積	3,210.03 m <sup>2</sup>				2,950.71 m <sup>2</sup>				225.47 m <sup>2</sup>							
建築年月	2007年10月	耐用年数	50年		1979年3月	耐用年数	50年		2008年9月	耐用年数	31年					
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	済			不要	不要						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋上シート防水			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上											
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備											
		自動火災報知設備			自動火災報知設備											
		電話交換設備			電話交換設備											
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類			放熱器類			なし								
		各種タンク類、放熱器類			エアコン											
		エアコン、衛生器具			衛生器具											
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根の老朽化が進行しているが、 構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	劣化なし			経年劣化による機能低下が進行											
					しており、総合的な改修が必要											
定期点検	建築	シート防水の浮き ドレンヒーター断線			雨漏り跡			指摘事項なし								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R5:大講義室吊天井改修工事【15】														
	電気設備	R3:エアコン設置(電気設備)工事【19】														
	機械設備	R3:エアコン設置(機械設備)工事【20】														

番号:建物名称	04:農業実習室(農場)				05:農業機械実習室(農場)				06:園芸実習室棟(農場)										
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建		S造		雑屋建								
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階							
建築面積	234.00 m <sup>2</sup>				279.00 m <sup>2</sup>				300.00 m <sup>2</sup>										
延床面積	234.00 m <sup>2</sup>				279.00 m <sup>2</sup>				300.00 m <sup>2</sup>										
建築年月	1968年3月	耐用年数	38年		1982年3月	耐用年数	31年		1985年3月	耐用年数	31年								
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			済	済									
その他特記事項																			
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺									
		外壁パネル張				外壁パネル張				外壁モルタル仕上									
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備									
	機械設備	なし		なし		なし		なし											
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して									
		いる。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。									
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行									
定期点検	建築	指摘事項なし		外壁材の劣化		外壁の鉄筋爆裂													
		指摘事項なし		指摘事項なし		指摘事項なし													
		指摘事項なし		周辺地中の漏水		指摘事項なし													
	電気設備																		
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																		
	電気設備																		
	機械設備																		

番号:建物名称	07:大農具室(農場)				08:農業実験室(農場)				09:農業実習室(農場)								
構造 / 種目	S造		雑屋建		S造		雑屋建		S造		雑屋建						
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階					
建築面積	324.99 m <sup>2</sup>				200.00 m <sup>2</sup>				450.00 m <sup>2</sup>								
延床面積	324.99 m <sup>2</sup>				400.00 m <sup>2</sup>				450.00 m <sup>2</sup>								
建築年月	1968年3月	耐用年数	31年		1982年3月	耐用年数	31年		1973年1月	耐用年数	31年						
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	不要			済	不要							
その他特記事項																	
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺							
		外壁鋼板				外壁鋼板				外壁鋼板							
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備							
	機械設備	なし		なし		なし		なし									
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して							
		いる。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いる。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
	機械設備																
定期点検	建築	外壁材の劣化				鉄骨部の塗膜劣化、発錆 屋根の発錆				外壁の破損 屋根の破損							
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし							
	機械設備	指摘事項なし				換気用ダクト脱落				指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																
	電気設備																
	機械設備																

番号:建物名称	10:畜産実習室(農場)				11:体育館				12:第二体育館						
構造 / 種目	RC造		雑屋建		S造		事務所建		S造		事務所建				
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階			
建築面積	811.91 m <sup>2</sup>				1,462.71 m <sup>2</sup>				835.68 m <sup>2</sup>						
延床面積	892.91 m <sup>2</sup>				1,596.35 m <sup>2</sup>				736.00 m <sup>2</sup>						
建築年月	1971年1月	耐用年数	38年		1970年11月	耐用年数	38年		1991年3月	耐用年数	38年				
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	済			不要	不要					
その他特記事項															
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺					
		外壁鋼板				外壁鋼板				外壁鋼板					
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備					
						放送設備				放送設備					
						自動火災報知設備				自動火災報知設備					
	機械設備	なし			なし			なし							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が著しく進行している。				屋根や外壁の老朽化が進行しているが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行しているが、構造躯体は概ね健全。					
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行					
定期点検	建築	屋根の破損			指摘事項なし			雨漏り跡 屋根破風・鼻隠し板金の浮き							
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築														
	電気設備														
	機械設備														

番号:建物名称	13:柔剣道場				14:部室				15:合宿所				
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建		RC造		住宅建		
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	356.92 m <sup>2</sup>				187.54 m <sup>2</sup>				203.12 m <sup>2</sup>				
延床面積	356.92 m <sup>2</sup>				244.80 m <sup>2</sup>				417.34 m <sup>2</sup>				
建築年月	1982年3月	耐用年数	38年		2008年1月	耐用年数	38年		1973年7月	耐用年数	47年		
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			済	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋上シート防水			
		外壁パネル張				外壁鋼板				コンクリート外壁塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				自動火災報知設備				放送設備			
		自動火災報知設備								自動火災報知設備			
	機械設備	なし				衛生器具				衛生器具			
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が著しく進行			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				している。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	外部鉄骨部の塗膜劣化、発錆				指摘事項なし				軒天コンクリート落下 雨漏り跡 外階段のコンクリート劣化			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫			30百万円				30百万円						
県債					15百万円		15百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	30百万円	0百万円	15百万円	0百万円	45百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後15年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡視覚支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	盛岡市北山1-10-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	準防火地域	用途地域	第一種住居地域				
敷地面積	20,680.97 m <sup>2</sup>		建築面積	4,099.67 m <sup>2</sup>	延床面積	8,544.93 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1979年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	46年	施設内棟数	10棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚に障がいがある児童生徒等が学ぶための県内唯一の学校であり、幼・小・中・高・専攻科における教育の基礎の上に、心身の発達及び進路に応じて、高度な普通教育及び専門教育を施すことを目的とする。									
施設の概況	<p>大正14年4月、私立岩手盲唖学校が岩手県に移管され、岩手県立盲唖学校となる。  昭和23年4月、岩手県立盲学校と改称し、盲学校と聾学校が分離した。  平成21年4月、岩手県立盛岡視覚支援学校に校名を変更。  令和5年で創立112周年を迎える男女共学の伝統校である。</p> <p>【施設】</p> <p>昭和54年3月:管理棟竣工 → 平成11年7月:改修工事完了  昭和54年8月:教育棟竣工 → 平成12年3月:改修工事完了  昭和55年4月:寄宿舎竣工 → 平成24年1月:改修工事完了  昭和56年3月:理療棟竣工 → 平成13年3月:改修工事完了  昭和56年3月:体育館竣工 → 令和3年10月:体育館屋根改修工事完了</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	1,381.30 m <sup>2</sup>	延床面積	4,105.24 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1979年3月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:25~16:55	
	職員数	86人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	23人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		120人	114人	120人	118人	111人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	85,547	100.0%	91,832	100.0%	78,657	100.0%
人件費	20,636	24.1%	20,707	22.5%	20,728	26.4%
物件費等	33,339	39.0%	39,616	43.1%	25,976	33.0%
維持修繕費	303	0.4%	0	0.0%	592	0.8%
減価償却費	31,269	36.6%	31,509	34.3%	31,360	39.9%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	85,547	100.0%	91,832	100.0%	78,657	100.0%
経常収益(直接的収入)	11	100.0%	16	100.0%	11	100.0%
使用料・手数料	11	100.0%	12	75.2%	11	100.0%
その他	0	0.0%	4	24.8%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	11	100.0%	16	100.0%	11	100.0%
年間コスト	▲ 85,537		▲ 91,816		▲ 78,646	

年間利用者数	118	人	111	人	109	人
延床面積当たりコスト	10,010	円/m <sup>2</sup>	10,745	円/m <sup>2</sup>	9,204	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	724,886	円/人	827,171	円/人	721,524	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	72	円/人	78	円/人	68	円/人
有形固定資産減価償却率	88.6	%	89.9	%	92.1	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:理療棟				03:体育館				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	1,381.30 m <sup>2</sup>				470.68 m <sup>2</sup>				689.96 m <sup>2</sup>				
延床面積	4,105.24 m <sup>2</sup>				1,335.20 m <sup>2</sup>				689.96 m <sup>2</sup>				
建築年月	1979年3月	耐用年数	50年		1981年3月	耐用年数	50年		1981年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	不要			済	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上				外壁鋼板張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	エアコン				FF暖房機				FF暖房機			
		各種ポンプ類				衛生器具				衛生器具			
		各種タンク類											
		衛生器具											
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
	建築	外階段踊場床の塗膜防水劣化 バルコニー外壁ひび割れ及び塗膜劣化 外部階段の鉄板床錆膨張				外部階段及び樹廻りモルタル剥がれ 外階段の発錆 内壁ひび				外壁見切り幕板の破損 外階段コンクリートの蹴込みモルタル劣化 外部鉄骨部も塗膜剥離及び発錆			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備	R4:煙突改修工事【21】								R3:第一体育館屋根改修工事【14】			
		R1:冷房設備設置(電気設備)工事【14】											
	機械設備	R5:自動火災報知設備更新工事【9】											
		R1:冷房設備設置(機械設備)工事【56】								R3:プールろ過機更新工事【7】			

番号:建物名称	04:寄宿舎													
構造 / 種目	RC造		住宅建											
階数	地上	2階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	1,151.60 m <sup>2</sup>													
延床面積	2,008.40 m <sup>2</sup>													
建築年月	1980年4月	耐用年数	47年		耐用年数				耐用年数					
耐震診断 / 耐震改修	済	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き、シート防水												
		外壁コンクリート塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備												
		自動火災報知設備												
		テレビ共聴設備												
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類												
		各種タンク類、放熱器類												
		衛生器具												
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	外階段モルタル劣化 バルコニー下部塗膜劣化 基礎立ち上がり部の劣化												
		電気設備				指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
		R4:寄宿舎受水槽更新工事【15】												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債			18百万円	32百万円	8百万円		58百万円							
一般財源			3百万円	4百万円	1百万円		8百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	21百万円	36百万円	9百万円	0百万円	66百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	受変電設備更新 自火報設備更新 トイレ改修	自火報設備更新 受変電設備更新 トイレ改修				
概算費用(見込)	0 百万円	5 百万円	134 百万円	0 百万円	0 百万円	139 百万円
国庫						0 百万円
県債		4 百万円	119 百万円			123 百万円
一般財源		1 百万円	15 百万円			16 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡聴覚支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	盛岡市乙部4-78-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	5,624.26 m <sup>2</sup>		建築面積	5,146.71 m <sup>2</sup>	延床面積	8,933.18 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1975年5月		経過年数 (R7.4.1現在)	49年	施設内棟数	12棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	明治44年「私立岩手盲唚学校」として開校、大正14年「岩手県立盲唚学校」として県立移管、昭和23年義務制実施 盲聾分離し「岩手県立聾学校」となり、平成21年に現在の「岩手県立盛岡聴覚支援学校」となった。 昭和52年に盛岡市北山から現在の盛岡市乙部に校舎を新築移転 聴覚に障がいのある児童生徒に対し、幼稚部から高等部・専攻科までの一貫した教育を行う県内唯一の聴覚支援学校として県内全域から児童生徒を受け入れるだけでなく、県内の乳幼児から高校生までを支援する聴覚障がい教育の中核的な役割を担う学校である。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	管理棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	661.61 m <sup>2</sup>	延床面積	1,786.34 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1975年5月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:15~16:45	
	職員数	76人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	38人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		125人	126人	130人	124人	116人 ▲ 8.2%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	109,303	100.0%	97,594	100.0%	78,438	100.0%
人件費	24,782	22.7%	26,012	26.7%	28,003	35.7%
物件費等	47,639	43.6%	47,130	48.3%	35,800	45.6%
維持修繕費	196	0.2%	451	0.5%	475	0.6%
減価償却費	36,686	33.6%	24,001	24.6%	14,161	18.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	109,303	100.0%	97,594	100.0%	78,438	100.0%
経常収益(直接的収入)	96	100.0%	96	100.0%	105	100.0%
使用料・手数料	96	100.0%	96	100.0%	103	98.9%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	96	100.0%	96	100.0%	105	100.0%
年間コスト	▲ 109,207		▲ 97,498		▲ 78,334	

年間利用者数	124	人	116	人	114	人
延床面積当たりコスト	12,225	円/m <sup>2</sup>	10,914	円/m <sup>2</sup>	8,769	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	880,703	円/人	840,504	円/人	687,137	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	91	円/人	83	円/人	67	円/人
有形固定資産減価償却率	92.0	%	93.4	%	94.3	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:管理棟				02:管理サービス棟				03:幼稚部棟							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		住宅建		RC造		事務所建					
階数	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階				
建築面積	661.61 m <sup>2</sup>				878.45 m <sup>2</sup>				297.83 m <sup>2</sup>							
延床面積	1,786.34 m <sup>2</sup>				1,391.85 m <sup>2</sup>				297.83 m <sup>2</sup>							
建築年月	1975年5月	耐用年数	50年		1976年4月	耐用年数	47年		1976年4月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根シート防水			屋根シート防水								
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		電話交換設備														
	機械設備	放熱器類、エアコン			蒸気ボイラー、各種ポンプ類			放熱器類								
		各種ポンプ類			各種タンク類、放熱器類			エアコン								
		各種タンク類						衛生器具								
		衛生器具														
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	軒天裏コンクリートの劣化 屋上防水シート劣化 外部階段塗膜防水劣化			屋上ドレン管詰まり			ドレン管詰まり 渡り廊下屋根裏塗膜剥離、鉄骨部発 錆、柱脚の腐食								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【22】														
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【72】														
		R5:蒸気配管更新工事【10】														

番号:建物名称	04:小学部棟				05:中学部棟				06:高等部棟							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	3階	地下	0階				
建築面積	894.46 m <sup>2</sup>				352.50 m <sup>2</sup>				659.85 m <sup>2</sup>							
延床面積	1,299.72 m <sup>2</sup>				653.00 m <sup>2</sup>				1,676.93 m <sup>2</sup>							
建築年月	1976年4月	耐用年数	50年		1975年2月	耐用年数	50年		1976年4月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根シート防水			屋根シート防水								
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
	機械設備	放熱器類			放熱器類			放熱器類								
		エアコン			エアコン			エアコン								
		衛生器具			衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	屋上笠木発錆 雨漏り跡 屋外階段壁浮き			屋上上り口コンクリート劣化 防水シート水たまり 渡り廊下屋根裏塗膜剥離			屋上梯子の発錆 トイレつまり 雨どい塗膜剥離								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
	機械設備															

番号:建物名称	07:寮棟				08:体育館									
構造 / 種目	RC造		住宅建		S造		事務所建							
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	443.00 m <sup>2</sup>				655.15 m <sup>2</sup>									
延床面積	868.50 m <sup>2</sup>				655.15 m <sup>2</sup>									
建築年月	1976年4月	耐用年数	47年		1977年3月	耐用年数	38年				耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	済								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根鋼板葺									
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁鋼板張									
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備									
		自動火災報知設備			放送設備									
		テレビ共聴設備			自動火災報知設備									
	機械設備	放熱器類			FF暖房機									
		衛生器具			衛生器具									
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して			屋上防水や外壁の老朽化が進行して									
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。									
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行									
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行									
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要									
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	避難口コンクリート劣化			基礎コンクリート爆裂、鉄筋露出 外壁材浮き									
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし									
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし									
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債					9百万円		9百万円							
一般財源					1百万円		1百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	10百万円	0百万円	10百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	トイレ改修 受水槽設備更新	受水槽設備更新				
概算費用(見込)	52 百万円	34 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	86 百万円
国庫						0 百万円
県債	46 百万円	30 百万円				76 百万円
一般財源	6 百万円	4 百万円				10 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡となん支援学校			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	紫波郡矢巾町医大通2-1-5			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	該当			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第二種住居地域			
敷地面積				建築面積	4,728.59 m <sup>2</sup>	延床面積	9,276.62 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	2017年10月			経過年数 (R7.4.1現在)	7 年	施設内棟数	2 棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	<p>昭和37年に県内で最初の県立養護学校として盛岡市手代森に開校。以来、主に身体に不自由のある児童生徒を対象とする県内唯一の特別支援学校としての教育の役割を担ってきた。平成30年に県立療育センターとともに矢巾町に移転し、新校舎での学習を開始。</p> <p>施設訪問教育、在宅訪問教育のほか、医療的ケアを必要とする児童生徒へケアを提供し、また、令和2年4月より岩手医科大学附属病院訪問教育(病虚弱教育)が開始。</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎棟、水泳プール棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	3,360.96 m <sup>2</sup>	延床面積	6,929.66 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2017年10月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	180 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	131 人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		279人	287人	314人	313人	306人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	254,058	100.0%	252,530	100.0%	242,720	100.0%
人件費	43,554	17.1%	41,877	16.6%	42,530	17.5%
物件費等	63,352	24.9%	64,164	25.4%	53,432	22.0%
維持修繕費	1,588	0.6%	925	0.4%	1,194	0.5%
減価償却費	145,564	57.3%	145,564	57.6%	145,564	60.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	254,058	100.0%	252,530	100.0%	242,720	100.0%
経常収益(直接的収入)	11,605	100.0%	11,488	100.0%	12,104	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	11,605	100.0%	11,488	100.0%	12,104	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	11,605	100.0%	11,488	100.0%	12,104	100.0%
年間コスト	▲ 242,453		▲ 241,042		▲ 230,616	

年間利用者数	313	人	306	人	311	人
延床面積当たりコスト	26,136	円/m <sup>2</sup>	25,984	円/m <sup>2</sup>	24,860	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	774,611	円/人	787,720	円/人	741,530	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	203	円/人	204	円/人	198	円/人
有形固定資産減価償却率	15.4	%	19.3	%	23.3	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎棟、水泳プール棟				02:寄宿舎棟									
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		住宅建							
階数	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	3,360.96 m <sup>2</sup>				1,367.63 m <sup>2</sup>									
延床面積	6,929.66 m <sup>2</sup>				2,346.96 m <sup>2</sup>									
建築年月	2017年10月	耐用年数	50年		2017年10月	耐用年数	47年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根シート防水				屋根シート防水								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
		電話交換設備												
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				温水ヒーター、各種ポンプ類								
		各種タンク類、放熱器類				各種タンク類、放熱器類								
		エアコン、衛生器具				エアコン、衛生器具								
劣化度調査	建築	構造躯体は概ね健全。				構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	劣化なし				劣化なし								
定期点検	建築	外壁亀裂、錆汁 外壁塗膜の膨れ				外壁亀裂								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【13】												
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【45】												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債							0百万円							
一般財源							0百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡青松支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	盛岡市上田字松屋敷11-25		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	14,769.81 m <sup>2</sup>		建築面積	4,355.28 m <sup>2</sup>	延床面積	7,545.07 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1978年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	47年	施設内棟数	7棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	平成21年4月青山養護学校と松園養護学校が統合し、盛岡青松支援学校として開校。岩手県における病弱虚弱教育のセンター的役割を担っている。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	管理校舎								
	構造	RC造	種目	事務所建	現況写真					
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	2,691.98 m <sup>2</sup>	延床面積	4,564.20 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1978年3月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	64人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	26人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 191人	令和元年度 156人	令和2年度 139人	令和3年度 116人	令和4年度 105人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 36.4%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	72,294	100.0%	74,031	100.0%	80,292	100.0%
人件費	25,473	35.2%	25,762	34.8%	34,174	42.6%
物件費等	15,883	22.0%	17,092	23.1%	15,266	19.0%
維持修繕費	349	0.5%	587	0.8%	264	0.3%
減価償却費	30,589	42.3%	30,589	41.3%	30,589	38.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	72,294	100.0%	74,031	100.0%	80,292	100.0%
経常収益(直接的収入)	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%
使用料・手数料	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	11	100.0%	11	100.0%	11	100.0%
年間コスト	▲ 72,284		▲ 74,021		▲ 80,282	

年間利用者数	116	人	105	人	90	人
延床面積当たりコスト	9,580	円/m <sup>2</sup>	9,810	円/m <sup>2</sup>	10,640	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	623,137	円/人	704,957	円/人	892,021	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	60	円/人	63	円/人	69	円/人
有形固定資産減価償却率	71.0	%	73.4	%	75.8	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:管理校舎棟				02:高等部校舎				03:校舎(増築分)											
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建									
階数	地上	2階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	2,691.98 m <sup>2</sup>				745.41 m <sup>2</sup>				218.70 m <sup>2</sup>											
延床面積	4,564.20 m <sup>2</sup>				2,062.98 m <sup>2</sup>				218.70 m <sup>2</sup>											
建築年月	1978年3月	耐用年数	50年		2009年3月	耐用年数	50年		1992年11月	耐用年数	38年									
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			不要	不要										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根シート防水、鋼板葺き			屋根シート防水			屋根鋼板葺き												
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備			放送設備			放送設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備												
		電話交換設備																		
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類			放熱器類			放熱器類												
		各種タンク類、放熱器類			エアコン			エアコン												
		エアコン、衛生器具			衛生器具			衛生器具												
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	バルコニー手摺笠木の浮き 屋上EXP.J廻りからの雨漏り 外部庇コンクリートの劣化			床塩ビシートのしわ			指摘事項なし												
	電気設備	防犯カメラ映像記録の不具合 区分開閉器、不可開閉器、継電器更新 新時期経過			指摘事項なし			指摘事項なし												
	機械設備	地震による受水槽の傾き			指摘事項なし			指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【22】																		
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【53】																		

番号:建物名称	04:体育館													
構造 / 種目	S造		事務所建											
階数	地上	1階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	619.32 m <sup>2</sup>													
延床面積	619.32 m <sup>2</sup>													
建築年月	1979年3月	耐用年数	38年			耐用年数				耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	済	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き												
		外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備												
		放送設備												
		自動火災報知設備												
	機械設備	FF暖房機												
		衛生器具												
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	指摘事項なし												
	電気設備	指摘事項なし												
	機械設備	指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債							0百万円							
一般財源							0百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		自火報設備更新	トイレ改修	トイレ改修		
概算費用(見込)	0 百万円	11 百万円	2 百万円	52 百万円	0 百万円	65 百万円
国庫						0 百万円
県債		9 百万円	1 百万円	46 百万円		56 百万円
一般財源		2 百万円	1 百万円	6 百万円		9 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡峰南高等支援学校			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	盛岡市下飯岡11-152			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	該当			
都市計画区域	都市計画区域外			防火地域	指定なし	用途地域	指定なし			
敷地面積	41,473.05 m <sup>2</sup>			建築面積	6,755.48 m <sup>2</sup>	延床面積	9,027.86 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	1997年10月			経過年数 (R7.4.1現在)	27年	施設内棟数	14棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	<p>知的障がいの高等部の生徒を対象として、平成10年に岩手県立盛岡養護学校の校名で開校しました。県内全域から生徒を受け入れており、寄宿舎を併設しています。</p> <p>平成21年4月に岩手県立盛岡峰南高等支援学校へ校名変更及び学科改編を行い、専門学科(1学年)、生活科学科、農産技術科、加工生産科、流通・サービス科で編成されております。</p> <p>県内唯一の専門学科のみの高等支援学校として、キャリア教育を推進し、就労と一人一人の生活や生涯を見通した進路実現を目指しております。</p>									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	普通教室棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,481.14 m <sup>2</sup>	延床面積	2,453.27 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1997年10月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	95人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	91人		定員数	96人	
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 196人	令和元年度 203人	令和2年度 194人	令和3年度 193人	令和4年度 190人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 4.7%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	121,944	100.0%	123,829	100.0%	97,974	100.0%
人件費	12,831	10.5%	14,259	11.5%	14,768	15.1%
物件費等	55,831	45.8%	57,124	46.1%	30,927	31.6%
維持修繕費	1,122	0.9%	384	0.3%	238	0.2%
減価償却費	52,160	42.8%	52,062	42.0%	52,042	53.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	121,944	100.0%	123,829	100.0%	97,974	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		22	100.0%
使用料・手数料	0-		0-		22	100.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0	0.0%
資産売却益	0-		0-		0	0.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0	0.0%
国庫補助金	0-		0-		0	0.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
収入合計	0-		0-		22	100.0%
年間コスト	▲ 121,944		▲ 123,829		▲ 97,952	

年間利用者数	193	人	190	人	186	人
延床面積当たりコスト	13,508	円/m <sup>2</sup>	13,716	円/m <sup>2</sup>	10,850	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	631,835	円/人	651,734	円/人	526,622	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	102	円/人	105	円/人	84	円/人
有形固定資産減価償却率	58.6	%	60.8	%	63.1	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:普通教室棟				02:特別教室棟				03:管理棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	1,481.14 m <sup>2</sup>				1,142.50 m <sup>2</sup>				759.85 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,453.27 m <sup>2</sup>				1,710.44 m <sup>2</sup>				759.85 m <sup>2</sup>				
建築年月	1997年10月	耐用年数	50年		1997年10月	耐用年数	50年		1997年10月	耐用年数	50年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
										電話交換設備			
	機械設備	放熱器類				放熱器類				温水ヒーター、各種ポンプ類			
		エアコン				エアコン				各種タンク類、放熱器類			
		衛生器具				衛生器具				エアコン、衛生器具			
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	避難バルコニー雨水詰まり 床タイルの浮き、剥がれ 廊下手摺破損				屋根瓦棒の劣化 煙突めがね石の破損 屋上ステンレス防水廻りの雨水詰まり				サッシ廻りローキング劣化 外壁ひび割れ 雪によるタラップの曲がり			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				キュービクル高圧ケーブルの更新時期 経過			
										浄化槽原水ポンプの更新時期経過			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R1:多目的ホール吊天井等改修工事【12】											
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【16】				同左				同左			
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【63】				同左				同左			

番号:建物名称	04:屋内運動場				05:寄宿舎棟								
構造 / 種目	S造		事務所建		RC造		住宅建						
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	914.93 m <sup>2</sup>				1,898.60 m <sup>2</sup>								
延床面積	840.51 m <sup>2</sup>				2,694.53 m <sup>2</sup>								
建築年月	1998年3月	耐用年数	38年		1997年9月	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要							
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き							
		外壁パネル張				外壁コンクリート塗膜仕上							
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備							
		放送設備				自動火災報知設備							
		自動火災報知設備				テレビ共聴設備							
	機械設備	FF暖房機				温水ヒーター、各種ポンプ類							
		衛生器具				各種タンク類、放熱器類							
						衛生器具							
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して				屋上防水や外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	外壁目地シール劣化 外壁の割れ 外壁鉄骨プレースの発錆				指摘事項なし							
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし				指摘事項なし							
	電気設備					R1:冷房設備設置(電気設備)工事【16】							
						R1:冷房設備設置(機械設備)工事【63】							
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債		5百万円	4百万円	5百万円	7百万円		21百万円						
一般財源		1百万円	1百万円	1百万円	1百万円		4百万円						
その他							0百万円						
計		6百万円	5百万円	6百万円	8百万円	0百万円	25百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後20年経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 下水道切替	令和8年度 受変電設備更新 下水道切替工事	令和9年度 自火報設備更新	令和10年度 自火報設備更新 暖房設備更新	令和11年度 暖房設備更新 受水槽設備更新	備考/合計
概算費用(見込)	3 百万円	160 百万円	22 百万円	3 百万円	54 百万円	242 百万円
国庫						0 百万円
県債	2 百万円	144 百万円	19 百万円	2 百万円	48 百万円	215 百万円
一般財源	1 百万円	16 百万円	3 百万円	1 百万円	6 百万円	27 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡みたけ支援学校			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	滝沢市穴口218-4			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	準防火地域	用途地域	第二種中高層住居専用地域			
敷地面積	15,122.47 m <sup>2</sup>			建築面積	3,952.23 m <sup>2</sup>	延床面積	6,232.82 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	1980年8月			経過年数 (R7.4.1現在)	44 年	施設内棟数	14 棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和51年4月に岩手県立みたけ養護学校として開校し、平成21年4月に岩手県立盛岡みたけ支援学校と改称、高等部を開設。知的障がいのある児童生徒を対象とした学校。校訓は、「明るく 仲良く たくましく」である。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,128.27 m <sup>2</sup>	延床面積	2,153.79 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1980年8月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	98 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	147 人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		359人	309人	287人	246人	242人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ)

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	106,965	100.0%	112,171	100.0%	90,474	100.0%
人件費	29,866	27.9%	29,141	26.0%	27,338	30.2%
物件費等	51,488	48.1%	56,792	50.6%	36,574	40.4%
維持修繕費	63	0.1%	718	0.6%	1,042	1.2%
減価償却費	25,549	23.9%	25,520	22.8%	25,520	28.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	106,965	100.0%	112,171	100.0%	90,474	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		2	100.0%	0-	
使用料・手数料	0-		2	100.0%	0-	
その他	0-		0	0.0%	0-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0	0.0%	0-	
資産売却益	0-		0	0.0%	0-	
その他	0-		0	0.0%	0-	
補助金等(間接的収入)	0-		0	0.0%	0-	
国庫補助金	0-		0	0.0%	0-	
その他	0-		0	0.0%	0-	
収入合計	0-		2	100.0%	0-	
年間コスト	▲ 106,965		▲ 112,168		▲ 90,474	

年間利用者数	246	人	242	人	245	人
延床面積当たりコスト	17,162	円/m <sup>2</sup>	17,996	円/m <sup>2</sup>	14,516	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	434,817	円/人	463,506	円/人	369,282	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	89	円/人	95	円/人	78	円/人
有形固定資産減価償却率	80.8	%	82.8	%	85.1	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:体育館				03:校舎				
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		RC造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	
建築面積	1,128.27 m <sup>2</sup>				562.44 m <sup>2</sup>				966.37 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,153.79 m <sup>2</sup>				562.44 m <sup>2</sup>				1,784.20 m <sup>2</sup>				
建築年月	1980年8月	耐用年数	50年		1980年3月	耐用年数	38年		1979年3月	耐用年数	50年		
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	済			済	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁鋼板張				外壁コンクリート塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				FF暖房機				放熱器類			
		各種タンク類、放熱器類				衛生器具				エアコン			
		エアコン、衛生器具								衛生器具			
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	屋外非常階段のコンクリートひび割れ、床防水シート剥がれ 外壁モルタルひび割れ				ボイラー煙突、架台の発錆 出口の鉄扉、手摺の発錆				屋根の発錆 トイレタイル破損 軒天劣化			
	電気設備	引込柱高気圧中開閉器の更新時期経過 キュービクルの過電流継電器の更新				指摘事項なし				引込柱からキュービクルまでの高圧 ケーブル更新時期経過			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備	R1:(小中学部、高等部)冷房設備設置(電気設備)工事【13】								R6:自動火災報知設備更新工事【5】			
		R5:自動火災報知設備更新工事【4】											
	機械設備	R1:(小中学部、高等部)冷房設備設置(機械設備)工事【49】											

番号:建物名称	04:校舎				05:体育館									
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建							
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	452.00 m <sup>2</sup>				605.07 m <sup>2</sup>									
延床面積	886.00 m <sup>2</sup>				605.07 m <sup>2</sup>									
建築年月	1986年3月	耐用年数	50年		1979年6月	耐用年数	38年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁鋼板張								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
	機械設備	放熱器類				FF暖房機								
		エアコン				衛生器具								
		衛生器具												
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	外壁見切り鉄板腐食、穴あり 破風鉄板の脱落				屋根の発錆 トイレタイル浮き、ひび								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債					3百万円	4百万円	7百万円							
一般財源					1百万円	1百万円	2百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	4百万円	5百万円	9百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。 なお、二戸分教室の小学部及び中学部を集約し、二戸地区に新たな特別支援学校(小中学部棟)を新築する。					
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
主な維持修繕・改修の内容	二戸地区特別支援学校新築		受変電設備更新	受変電設備更新	受変電設備更新	
概算費用(見込)	1,829 百万円	0 百万円	2 百万円	51 百万円	53 百万円	1,935 百万円
国庫	519 百万円					519 百万円
県債	1,290 百万円		1 百万円	45 百万円	47 百万円	1,383 百万円
一般財源	20 百万円		1 百万円	6 百万円	6 百万円	33 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡みたけ支援学校奥中山校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	二戸郡一戸町奥中山字西田子1054-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	3,247.32 m <sup>2</sup>		建築面積	1,322.80 m <sup>2</sup>	延床面積	1,286.80 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1982年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	43年	施設内棟数	4棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和56年に岩手県立みたけ養護学校奥中山分校として開校し、知的障がいと肢体不自由を教育の対象とした学校。平成21年に岩手県立みたけ支援学校奥中山校となる。校訓は「明るく 仲よく たくましく」である。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	1階	地下						
	建築面積	772.20 m <sup>2</sup>	延床面積	772.20 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1982年3月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	22人		(職員数のうち団体等職員数)		
	学生数(在籍者数)	19人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 40人	令和元年度 41人	令和2年度 40人	令和3年度 39人	令和4年度 34人
						増減率 (R5/過去5年平均) 5.7%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	34,872	100.0%	35,963	100.0%	32,347	100.0%
人件費	16,216	46.5%	16,193	45.0%	15,725	48.6%
物件費等	10,628	30.5%	11,723	32.6%	7,550	23.3%
維持修繕費	13	0.0%	148	0.4%	215	0.7%
減価償却費	8,016	23.0%	7,900	22.0%	8,858	27.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	34,872	100.0%	35,963	100.0%	32,347	100.0%
経常収益(直接的収入)	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
使用料・手数料	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	3	100.0%	3	100.0%	3	100.0%
年間コスト	▲ 34,869		▲ 35,960		▲ 32,344	

年間利用者数	39	人	34	人	41	人
延床面積当たりコスト	27,098	円/m <sup>2</sup>	27,946	円/m <sup>2</sup>	25,135	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	894,087	円/人	1,057,659	円/人	788,883	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	29	円/人	30	円/人	28	円/人
有形固定資産減価償却率	75.7	%	74.7	%	74.3	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:プレイルーム棟									
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建							
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	772.20 m <sup>2</sup>				514.00 m <sup>2</sup>									
延床面積	772.20 m <sup>2</sup>				478.00 m <sup>2</sup>									
建築年月	1982年3月	耐用年数	50年		1997年3月	耐用年数	38年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁パネル張								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
		電話交換設備												
	機械設備	FF暖房機				FF暖房機								
		エアコン				エアコン								
		衛生器具				衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要								
定期点検	建築	玄関ポーチ手摺天板の劣化				小屋裏換気口からの雨漏り								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R5:バリアフリー改修工事【24】												
	電気設備	R4:受変電設備更新工事【18】												
	機械設備	R1:(奥中山校)冷房設備設置工事【13】												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫												0百万円		
県債												0百万円		
一般財源				18百万円	24百万円							42百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	0百万円	18百万円	24百万円	0百万円	42百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
				自火報設備更新	自火報設備更新	
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	2 百万円	11 百万円	13 百万円
国庫						0 百万円
県債				1 百万円	9 百万円	10 百万円
一般財源				1 百万円	2 百万円	3 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡ひがし支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	盛岡市手代森6-10-14		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	12,260.69 m <sup>2</sup>		建築面積	4,192.06 m <sup>2</sup>	延床面積	7,612.50 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1992年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	32 年	施設内棟数	9 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	平成31年4月に知的障がいのある児童生徒を対象とした特別支援学校として開校した。小学部、中学部、高等部を設置しており、児童生徒は、盛岡市や矢巾町、紫波町等から通学している。令和5年度で開校5年目を迎え、「ともに 明るく たくましく」を校訓としている。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	校舎棟、管理棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	3階	地下						
	建築面積	2,512.19 m <sup>2</sup>	延床面積	5,298.17 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1992年11月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	109 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	156 人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			113人	164人	235人	256人
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	137,530	100.0%	141,257	100.0%	133,110	100.0%
人件費	24,917	18.1%	24,236	17.2%	25,666	19.3%
物件費等	76,099	55.3%	80,458	57.0%	70,740	53.1%
維持修繕費	493	0.4%	492	0.3%	656	0.5%
減価償却費	36,020	26.2%	36,072	25.5%	36,047	27.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	137,530	100.0%	141,257	100.0%	133,110	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		6	100.0%
使用料・手数料	0-		0-		6	100.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0	0.0%
資産売却益	0-		0-		0	0.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0	0.0%
国庫補助金	0-		0-		0	0.0%
その他	0-		0-		0	0.0%
収入合計	0-		0-		6	100.0%
年間コスト	▲ 137,530		▲ 141,257		▲ 133,104	

年間利用者数	235	人	256	人	265	人
延床面積当たりコスト	18,066	円/m <sup>2</sup>	18,556	円/m <sup>2</sup>	17,485	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	585,233	円/人	551,785	円/人	502,277	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	115	円/人	120	円/人	114	円/人
有形固定資産減価償却率	64.6	%	66.8	%	67.4	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎棟、管理棟				02:寄宿舎棟				03:体育館							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		住宅建		S造		事務所建					
階数	地上	3階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階				
建築面積	2,512.19 m <sup>2</sup>				971.49 m <sup>2</sup>				596.40 m <sup>2</sup>							
延床面積	5,298.17 m <sup>2</sup>				1,566.95 m <sup>2</sup>				596.40 m <sup>2</sup>							
建築年月	1992年11月	耐用年数	50年		1991年3月	耐用年数	47年		1971年1月	耐用年数	38年					
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			済	済						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根シート防水			屋根シート防水								
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上			外壁鋼板張								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		電話交換設備														
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類			温水ヒーター、各種ポンプ類			FF暖房機								
		各種タンク類、放熱器類			各種タンク類、放熱器類			衛生器具								
		エアコン、衛生器具			エアコン、衛生器具											
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	エキスパンションジョイントのずれ 縦樋の穴			屋上シート防水の亀裂			外部コンクリート階段の劣化 倉庫の雨漏り 屋根下地金物のずれ								
	電気設備	蛍光灯安定器不良による故障の増加			指摘事項なし			水銀灯の入手不能								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R6:小中学部棟ホール改修【11】														
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【11】														
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【39】			R2:厨房改修工事【79】											
		R4:温水ボイラーほか更新工事【27】														
	R5:高等部棟温水ボイラーほか更新工事【62】															
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計									
国庫							0百万円									
県債		71百万円		24百万円	55百万円	10百万円	160百万円									
一般財源		8百万円		3百万円	7百万円	1百万円	19百万円									
その他							0百万円									
計		79百万円	0百万円	27百万円	62百万円	11百万円	179百万円									

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後30年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	施設改修		受水槽設備更新			
概算費用(見込)	81 百万円	0 百万円	2 百万円	0 百万円	0 百万円	83 百万円
国庫						0 百万円
県債	72 百万円		1 百万円			73 百万円
一般財源	9 百万円		1 百万円			10 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	花巻清風支援学校			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	花巻市太田27-207-4			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当			
都市計画区域	都市計画区域外			防火地域	指定なし	用途地域	指定なし			
敷地面積	61,847.00 m <sup>2</sup>			建築面積	7,070.90 m <sup>2</sup>	延床面積	10,223.83 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	1973年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	52 年	施設内棟数	24 棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和48年「岩手県立花巻養護学校」として開校、平成21年「県立花巻清風支援学校」と校名を変更、令和4年に創立50周年を迎えた特別支援学校であり、「明るく 強く たくましく」を校訓とする。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎管理棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	930.34 m <sup>2</sup>	延床面積	1,366.16 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1973年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	済	耐震改修	済						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用 状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50		
	職員数	163 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人		
	学生数(在籍者数)	168 人		定員数	168 人		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減率 (R5/過去5年平均)
		407人	405人	372人	362人	342人	▲ 12.3%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ)	▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			構成比		構成比		構成比
経常費用	127,632	100.0%	125,445	100.0%	100,698	100.0%	100.0%
人件費	20,135	15.8%	20,751	16.5%	21,663	21.5%	
物件費等	76,397	59.9%	74,504	59.4%	48,621	48.3%	
維持修繕費	1,101	0.9%	542	0.4%	828	0.8%	
減価償却費	29,999	23.5%	29,648	23.6%	29,586	29.4%	
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
支出合計	127,632	100.0%	125,445	100.0%	100,698	100.0%	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-	-	0-	-	0-	-	
使用料・手数料	0-	-	0-	-	0-	-	
その他	0-	-	0-	-	0-	-	
臨時利益(直接的収入)	0-	-	0-	-	0-	-	
資産売却益	0-	-	0-	-	0-	-	
その他	0-	-	0-	-	0-	-	
補助金等(間接的収入)	0-	-	0-	-	0-	-	
国庫補助金	0-	-	0-	-	0-	-	
その他	0-	-	0-	-	0-	-	
収入合計	0-	-	0-	-	0-	-	
年間コスト	▲ 127,632		▲ 125,445		▲ 100,698		

年間利用者数	362	人	342	人	331	人
延床面積当たりコスト	12,484	円/m <sup>2</sup>	12,270	円/m <sup>2</sup>	9,849	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	352,575	円/人	366,797	円/人	304,224	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	107	円/人	106	円/人	87	円/人
有形固定資産減価償却率	72.3	%	73.9	%	75.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎管理棟				02:校舎B棟				03:校舎C棟				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	930.34 m <sup>2</sup>				410.00 m <sup>2</sup>				443.31 m <sup>2</sup>				
延床面積	1,366.16 m <sup>2</sup>				410.00 m <sup>2</sup>				443.31 m <sup>2</sup>				
建築年月	1973年3月	耐用年数	50年		1974年5月	耐用年数	50年		1974年5月	耐用年数	50年		
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	不要			済	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	蒸気ボイラー、各種ポンプ類				放熱器類				放熱器類			
		各種タンク類、放熱器類				エアコン				エアコン			
		エアコン、衛生器具				衛生器具				衛生器具			
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【25】											
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【73】											
		R4:自動火災報知設備更新工事【16】											

番号:建物名称	04:校舎D棟				05:高等部校舎				06:高等部特別教室棟											
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		W造		事務所建									
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	664.73 m <sup>2</sup>				646.06 m <sup>2</sup>				252.24 m <sup>2</sup>											
延床面積	1,321.03 m <sup>2</sup>				1,207.81 m <sup>2</sup>				244.24 m <sup>2</sup>											
建築年月	1974年5月	耐用年数	50年		1978年12月	耐用年数	50年		2014年12月	耐用年数	24年									
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	不要			不要	不要										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き			屋根鋼板葺き			屋根鋼板葺き												
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上			外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備			放送設備			放送設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備												
	機械設備	放熱器類			放熱器類			放熱器類												
		エアコン			エアコン			エアコン												
		衛生器具			衛生器具			衛生器具												
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	屋根鉄板破損 避難スロープの鉄骨劣化 内壁ひび割れ			指摘事項なし			指摘事項なし												
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	電気設備																			
	機械設備																			

番号:建物名称	07:校舎(特別教室棟)				08:屋内体育館				09:プレイルーム											
構造 / 種目	RC造		事務所建		S造		事務所建		RC造		事務所建									
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	428.06 m <sup>2</sup>				840.26 m <sup>2</sup>				206.46 m <sup>2</sup>											
延床面積	751.75 m <sup>2</sup>				885.16 m <sup>2</sup>				206.46 m <sup>2</sup>											
建築年月	1992年3月	耐用年数	50年		1975年3月	耐用年数	38年		1975年3月	耐用年数	50年									
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	不要			済	不要										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根鋼板葺き			屋根鋼板葺き												
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁パネル張			外壁コンクリート塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備			放送設備			放送設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備												
	機械設備	放熱器類			FF暖房機			FF暖房機												
		エアコン			衛生器具			衛生器具												
		衛生器具																		
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	防水シート水たまり 渡り廊下屋根破損 外壁のひび割れ、鉄筋爆裂			柱根元コンクリートの劣化 屋根の発錆 天井ジョイント材の落下			雨漏り												
	電気設備	指摘事項なし			水銀灯生産中止			指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	電気設備																			
	機械設備																			

番号:建物名称	10:寄宿舎				11:寄宿舎(給食棟)									
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建							
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	1,012.89 m <sup>2</sup>				365.78 m <sup>2</sup>									
延床面積	2,151.36 m <sup>2</sup>				365.78 m <sup>2</sup>									
建築年月	2006年1月	耐用年数	47年		2006年1月	耐用年数	47年				耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根シート防水				屋根シート防水、鋼板葺き								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				FF暖房機								
		各種タンク類、放熱器類				エアコン								
		衛生器具				衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して				屋上防水や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	浴室からの漏水 外部階段発錆 床下ピット内漏水				指摘事項なし								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債				14百万円			14百万円							
一般財源				2百万円			2百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	16百万円	0百万円	0百万円	16百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	前沢明峰支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	奥州市前沢字田畠18-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種中高層住居専用地域				
敷地面積	47,357.48 m <sup>2</sup>		建築面積	6,406.70 m <sup>2</sup>	延床面積	8,119.87 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1995年1月		経過年数 (R7.4.1現在)	30年	施設内棟数	20棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和44年岩手県南精神薄弱児施設組合立「たばしね学園」開設にともない、前沢町立赤生津小学校、同前沢中学校に「東稻分校」として開校。昭和54年岩手県立前沢養護学校として発足し、平成7年に現在地に校舎新築移転。平成21年岩手県立前沢明峰支援学校と校名を変更し、令和6年で創立46周年を迎える学校である。「明るく、強く、心豊かに」を校訓とする。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	南校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,883.83 m <sup>2</sup>	延床面積	2,980.26 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1995年1月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8時20分～16時50分	
	職員数	109人		(職員数のうち団体等職員数)		
	学生数(在籍者数)	130人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 275人	令和元年度 271人	令和2年度 248人	令和3年度 252人	令和4年度 238人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 6.9%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			構成比		構成比		構成比
経常費用	117,782	100.0%		126,039	100.0%	106,524	100.0%
人件費	9,708	8.2%		10,264	8.1%	11,551	10.8%
物件費等	51,210	43.5%		58,758	46.6%	38,523	36.2%
維持修繕費	710	0.6%		847	0.7%	281	0.3%
減価償却費	56,155	47.7%		56,170	44.6%	56,170	52.7%
支払利息	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%		0	0.0%	0	0.0%
支出合計	117,782	100.0%		126,039	100.0%	106,524	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-			0-		0-	
使用料・手数料	0-			0-		0-	
その他	0-			0-		0-	
臨時利益(直接的収入)	0-			0-		0-	
資産売却益	0-			0-		0-	
その他	0-			0-		0-	
補助金等(間接的収入)	0-			0-		0-	
国庫補助金	0-			0-		0-	
その他	0-			0-		0-	
収入合計	0-			0-		0-	
年間コスト	▲ 117,782			▲ 126,039		▲ 106,524	

年間利用者数	252	人	238	人	239	人
延床面積当たりコスト	14,505	円/m <sup>2</sup>	15,522	円/m <sup>2</sup>	13,119	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	467,389	円/人	529,574	円/人	445,709	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	98	円/人	107	円/人	92	円/人
有形固定資産減価償却率	57.4	%	59.9	%	62.4	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:南校舎				02:北校舎				03:特別教室棟			
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		W造		事務所建	
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階
建築面積	1,883.83 m <sup>2</sup>				988.85 m <sup>2</sup>				269.86 m <sup>2</sup>			
延床面積	2,980.26 m <sup>2</sup>				1,695.22 m <sup>2</sup>				244.22 m <sup>2</sup>			
建築年月	1995年1月	耐用年数	50年		1995年1月	耐用年数	50年		2018年11月	耐用年数	24年	
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	不要			済	不要		
その他特記事項												
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き		
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上				外壁パネル張		
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備		
		放送設備				放送設備				放送設備		
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備		
		電話交換設備										
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				放熱器類				放熱器類		
		各種タンク類、放熱器類				エアコン				エアコン		
		エアコン、衛生器具				衛生器具				衛生器具		
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。		
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				劣化なし		
定期点検	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				劣化なし		
	建築	屋上防水シート亀裂 柱クラック 外壁亀裂、劣化				指摘事項なし				指摘事項なし		
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備	蛍光灯安定器故障及び経年劣化				蛍光灯安定器故障及び経年劣化				指摘事項なし		
	機械設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【33】 R1:職員室等照明器具LED化工事(電気設備)【2】 R1:教室照明器具LED化(電気設備)【2】				R2:漏水修繕工事(機械設備)【1】						
		R2:放送設備交換工事(機械設備)【2】 R5:トイレ洋式化工事(機械設備)【2】										

番号:建物名称	04:渡り廊下(南校舎-北校舎)				05:体育館				06:寄宿舎							
構造 / 種目	RC造		雑屋建		S造		事務所建		RC造		住宅建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階				
建築面積	203.65 m <sup>2</sup>				651.82 m <sup>2</sup>				1,537.66 m <sup>2</sup>							
延床面積	407.30 m <sup>2</sup>				574.61 m <sup>2</sup>				1,379.92 m <sup>2</sup>							
建築年月	1995年1月	耐用年数	38年		1995年3月	耐用年数	38年		1994年3月	耐用年数	47年					
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			済	不要			済	不要						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根シート防水、鋼板葺き			屋根鋼板葺き				屋根シート防水、鋼板葺き							
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁パネル張				外壁コンクリート塗膜仕上							
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備				電灯動力設備							
		自動火災報知設備			放送設備				放送設備							
					自動火災報知設備				自動火災報知設備							
	機械設備	なし			FF暖房機				温水ヒーター、各種ポンプ類							
					衛生器具				各種タンク類、放熱器類							
									衛生器具							
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して			屋上防水や外壁の老朽化が進行して				屋上防水や外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
					機械設備				経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行			機械設備				機械設備							
		しており、総合的な改修が必要														
	電気設備	しており、総合的な改修が必要			機械設備				機械設備							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし			指摘事項なし				指摘事項なし							
	電気設備	R6:自動火災報知設備更新工事【6】														
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計									
国庫							0百万円									
県債			2百万円				7百万円		9百万円							
一般財源			1百万円				2百万円		3百万円							
その他									0百万円							
計		0百万円	3百万円	0百万円	0百万円	9百万円	12百万円									

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後20年経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 自火報更新 バリアフリートイレ設置	令和8年度 暖房設備更新 受水槽設備更新	令和9年度 暖房設備更新 受水槽設備更新	令和10年度 トイレ改修	令和11年度 トイレ改修	備考/合計
概算費用(見込)	66 百万円	5 百万円	104 百万円	2 百万円	52 百万円	229 百万円
国庫						0 百万円
県債	59 百万円	4 百万円	93 百万円	1 百万円	46 百万円	203 百万円
一般財源	7 百万円	1 百万円	11 百万円	1 百万円	6 百万円	26 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関清明支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12					
所在地	一関市赤荻字上台96-5		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産					
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当					
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし					
敷地面積	41,593.12 m <sup>2</sup>		建築面積	6,179.96 m <sup>2</sup>	延床面積	8,846.40 m <sup>2</sup>					
竣工年度 (建築年月)	2012年1月		経過年数 (R7.4.1現在)	13 年	施設内棟数	18 棟					
設置根拠	有	学校教育法									
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。										
施設の概況	平成20年4月に、岩手県立一関聾学校(昭和31年~)と岩手県立一関養護学校(昭和32年~)が統合した特別支援学校で、本校舎と山目校舎、国立病院機構いわて病院に併設しているあすなろ分教室、さらに千厩小学校、千厩中学校内にそれぞれ千厩分教室を設置している「2校舎3分教室」の学校であり、聴覚・病弱・肢体不自由・知的の4障がいに対応する、全国でも数少ない併置校である。 「清く 明るく たくましく」の校訓の下、幼稚部から高等部までの児童生徒がいきいきと学んでいる。										
未利用設備	無			大規模改修	有						
使用許可等の有無	有										
主要棟	名称	教室棟			現況写真						
	構造	RC造	種目	事務所建							
	階数	地上	2階	地下							
	建築面積	1,290.85 m <sup>2</sup>	延床面積	2,082.45 m <sup>2</sup>							
	建築年月日	2012年1月	法定耐用年数	50 年							
	耐震診断	不要	耐震改修	不要							
	その他特記事項										

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:25~16:55	
	職員数	151 人		(職員数のうち団体等職員数)	0 人	
	学生数(在籍者数)	152 人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 増減率 (R5/過去5年平均)
		342人	330人	326人	324人	313人 ▲ 7.3%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時[A] (H22年4月時点)	13,748人	現 在[B] (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	145,007	100.0%	143,645	100.0%	123,595	100.0%
人件費	42,559	29.3%	38,962	27.1%	40,108	32.5%
物件費等	70,020	48.3%	73,211	51.0%	52,363	42.4%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	32,428	22.4%	31,472	21.9%	31,124	25.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	145,007	100.0%	143,645	100.0%	123,595	100.0%
経常収益(直接的収入)	42	100.0%	53	100.0%	35	100.0%
使用料・手数料	42	100.0%	53	100.0%	35	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	42	100.0%	53	100.0%	35	100.0%
年間コスト	▲ 144,966		▲ 143,592		▲ 123,559	

年間利用者数	324	人	313	人	303	人
延床面積当たりコスト	16,387	円/m <sup>2</sup>	16,232	円/m <sup>2</sup>	13,967	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	447,425	円/人	458,762	円/人	407,787	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	121	円/人	122	円/人	106	円/人
有形固定資産減価償却率	67.0	%	69.3	%	71.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:教室棟				02:校舎棟				03:校舎							
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		RC造		事務所建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階				
建築面積	1,290.85 m <sup>2</sup>				858.37 m <sup>2</sup>				273.66 m <sup>2</sup>							
延床面積	2,082.45 m <sup>2</sup>				1,399.43 m <sup>2</sup>				451.74 m <sup>2</sup>							
建築年月	2012年1月	耐用年数	50年		1988年3月	耐用年数	50年		1989年3月	耐用年数	50年					
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要						
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋上シート防水			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備								
		放送設備			放送設備			放送設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		電話交換設備														
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類			放熱器類			放熱器類								
		各種タンク類、放熱器類			エアコン			エアコン								
		エアコン、衛生器具			衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、25年経過を目安に総 合的な改修が必要			経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要								
定期点検	建築	指摘事項なし			指摘事項なし			柱の劣化								
	電気設備	構内引込柱区分開閉器の更新推奨時 期経過			指摘事項なし			指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
	機械設備															

番号:建物名称	04:体育館				05:第二体育館				06:柔剣道場				
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	535.49 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>				382.70 m <sup>2</sup>				
延床面積	535.49 m <sup>2</sup>				613.90 m <sup>2</sup>				369.70 m <sup>2</sup>				
建築年月	1979年3月	耐用年数	38年		1981年3月	耐用年数	38年		1990年1月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	済			済	済			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁鋼板				外壁鋼板				外壁パネル張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
	機械設備	FF暖房機				FF暖房機				なし			
		衛生器具				衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して			
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行							
		しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要							
定期点検	建築	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
	機械設備												

番号:建物名称	07:部室				08:校舎				09:プール棟					
構造 / 種目	S造		雑屋建		RC造		事務所建		RC造		雑屋建			
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階		
建築面積	191.36 m <sup>2</sup>				968.83 m <sup>2</sup>				566.65 m <sup>2</sup>					
延床面積	256.00 m <sup>2</sup>				1,794.24 m <sup>2</sup>				566.65 m <sup>2</sup>					
建築年月	1990年12月	耐用年数	31年		1978年3月	耐用年数	50年		1989年2月	耐用年数	38年			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			済	済			不要	不要				
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				幕構造				
		外壁鋼板				コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備				
		放送設備				放送設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
						電話交換設備								
	機械設備	衛生器具				温水ヒーター、各種ポンプ類				ろ過装置				
						各種タンク類、放熱器類				衛生器具				
						エアコン、衛生器具								
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して				屋根や外壁の老朽化が進行して				構造躯体は概ね健全。				
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				
	定期点検	建築	しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要				しており、総合的な改修が必要			
			鉄骨部の発錆				EXP.Jカバーのずれ 外壁塗膜浮き 屋上防水シートの浮き				指摘事項なし			
		電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	機械設備				指摘事項なし				指摘事項なし				
	電気設備	R1:(本校、山目校)冷房設備設置(電気設備)工事【16】												
		機械設備				R1:(本校、山目校)冷房設備設置(機械設備)工事【51】								

番号:建物名称	10:教室棟													
構造 / 種目	S造		事務所建											
階数	地上	2階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	220.00 m <sup>2</sup>													
延床面積	440.00 m <sup>2</sup>													
建築年月	1987年3月	耐用年数	38年		耐用年数				耐用年数					
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺												
		外壁パネル張												
	電気設備	電灯動力設備												
		放送設備												
		自動火災報知設備												
	機械設備	放熱器類												
		エアコン												
		衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	天井と壁の間に隙間 天井・内壁材のひび割れ												
	電気設備	指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫												0百万円		
県債												0百万円		
一般財源												0百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円					0百万円		

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 下水道切替	令和8年度 施設改修 下水道切替	令和9年度 施設改修	令和10年度 自火報設備更新	令和11年度 自火報設備更新	備考/合計
概算費用(見込)	3 百万円	64 百万円	81 百万円	2 百万円	11 百万円	161 百万円
国庫						0 百万円
県債	2 百万円	57 百万円	72 百万円	1 百万円	9 百万円	141 百万円
一般財源	1 百万円	7 百万円	9 百万円	1 百万円	2 百万円	20 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	気仙光陵支援学校			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12			
所在地	大船渡市立根町字宮田33-3			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産			
所管課	学校教育室			運営形態	直営	防災施設等指定	該当			
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域			
敷地面積	33,142.90 m <sup>2</sup>			建築面積	5,549.95 m <sup>2</sup>	延床面積	7,114.64 m <sup>2</sup>			
竣工年度 (建築年月)	1987年10月			経過年数 (R7.4.1現在)	37年	施設内棟数	10棟			
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和63年に気仙養護学校として開校し、平成21年に現在の校名に変更し、知的障がいと肢体不自由の児童生徒たちが学ぶ学校として、地域の皆様とともに歩んでいる。「明るく 楽しく 元気よく」の校訓のもと、元気に学習に取り組んでいる。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎棟			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,837.04 m <sup>2</sup>	延床面積	2,700.95 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1987年10月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:30~17:00	
	職員数	86人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	54人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 161人	令和元年度 155人	令和2年度 153人	令和3年度 152人	令和4年度 141人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 8.1%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			構成比		構成比		構成比
経常費用	131,371	100.0%	126,951	100.0%	101,722	100.0%	100.0%
人件費	47,145	35.9%	45,954	36.2%	33,445	32.9%	
物件費等	43,390	33.0%	41,027	32.3%	31,745	31.2%	
維持修繕費	1,166	0.9%	2,959	2.3%	851	0.8%	
減価償却費	39,671	30.2%	37,011	29.2%	35,682	35.1%	
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
支出合計	131,371	100.0%	126,951	100.0%	101,722	100.0%	
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-		
使用料・手数料	0-		0-		0-		
その他	0-		0-		0-		
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-		
資産売却益	0-		0-		0-		
その他	0-		0-		0-		
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-		
国庫補助金	0-		0-		0-		
その他	0-		0-		0-		
収入合計	0-		0-		0-		
年間コスト	▲ 131,371		▲ 126,951		▲ 101,722		

年間利用者数	152	人	141	人	140	人
延床面積当たりコスト	18,465	円/m <sup>2</sup>	17,844	円/m <sup>2</sup>	14,298	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	864,285	円/人	900,362	円/人	726,589	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	110	円/人	108	円/人	87	円/人
有形固定資産減価償却率	72.0	%	74.3	%	76.5	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎棟				02:高等部校舎				03:体育館				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	1,837.04 m <sup>2</sup>				955.54 m <sup>2</sup>				707.59 m <sup>2</sup>				
延床面積	2,700.95 m <sup>2</sup>				1,309.00 m <sup>2</sup>				653.03 m <sup>2</sup>				
建築年月	1987年10月	耐用年数	50年		1991年3月	耐用年数	50年		1988年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		屋上シート防水				屋上シート防水				外壁鋼板			
		コンクリート外壁塗膜仕上				コンクリート外壁塗膜仕上							
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備											
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				放熱器類				FF暖房機			
		各種タンク類、放熱器類				エアコン				衛生器具			
		エアコン、衛生器具				衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
	機械設備	外壁の白華現象、塗膜剥離、欠け 外壁水切りの腐食				屋上シート防水の剥がれ 天井エキスパンションジョイントの外れ 軒天ボードの外れ、ねじ浮き				渡り廊下屋根横樋の傾き			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R6:小中学部校舎棟屋上防水改修工事【18】											
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【21】											
		R2:非常用発電機更新工事【11】											
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【53】											
		R3:校舎ボイラー更新工事【30】											

番号:建物名称	04:プール棟				05:寄宿舎棟											
構造 / 種目	S造		雑屋建		RC造		住宅建									
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下					
建築面積	420.00 m <sup>2</sup>				1,313.32 m <sup>2</sup>											
延床面積	420.00 m <sup>2</sup>				1,719.22 m <sup>2</sup>											
建築年月	1988年3月	耐用年数	31年		1987年10月	耐用年数	47年			耐用年数						
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要										
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	幕構造				屋根鋼板葺										
						屋上シート防水										
						コンクリート外壁塗膜仕上										
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備										
						自動火災報知設備										
						テレビ共聴設備										
	機械設備	プールろ過装置				温水ヒーター、各種ポンプ類										
		衛生器具				各種タンク類、放熱器類										
						エアコン、衛生器具										
劣化度調査	建築	構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して										
						いるが、構造躯体は概ね健全。										
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行										
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行										
定期点検	建築	指摘事項なし				外部鉄骨階段腐食										
	電気設備	指摘事項なし				照明器具老朽化										
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし										
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
		機械設備				R2:寄宿舎ボイラー更新工事【27】										
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計									
国庫							0百万円									
県債		34百万円	27百万円				16百万円		77百万円							
一般財源		4百万円	3百万円				2百万円		9百万円							
その他							0百万円									
計		38百万円	30百万円	0百万円	0百万円	18百万円	86百万円									

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止(抜本的見直し)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後35年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度 下水道切替	令和8年度	令和9年度	令和10年度 煙突内断熱材撤去	令和11年度 煙突内断熱材撤去	備考/合計
概算費用(見込)	37 百万円	0 百万円	0 百万円	3 百万円	32 百万円	72 百万円
国庫						0 百万円
県債	33 百万円			2 百万円	28 百万円	63 百万円
一般財源	4 百万円			1 百万円	4 百万円	9 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	釜石祥雲支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	釜石市平田町3-1700		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	該当				
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域				
敷地面積	27,992.33m <sup>2</sup>		建築面積	4,169.47 m <sup>2</sup>	延床面積	5,769.74 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	2022年7月		経過年数 (R7.4.1現在)	2年	施設内棟数	11棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	釜石市定内町の校舎で小・中学部が学び、高等部は甲子町の釜石高校に併設されていたが、校舎の老朽化などの課題解決のため令和4年8月に旧釜石商業高校跡地に新校舎が建設され移転した。これにより、小中高一貫指導が可能となった。木材を基調とした新校舎は車いすの往来がしやすい広い造りで、体育館やプール、広いグラウンドも整備されたことでよりよい教育環境が整った。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	有									
主要棟	名称	北校舎棟			現況写真					
	構造	W造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,066.86 m <sup>2</sup>	延床面積	1,525.59 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	2022年7月	法定耐用年数	24年						
	耐震診断	不要	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:15~16:45	
	職員数	68人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	59人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 127人	令和元年度 135人	令和2年度 139人	令和3年度 147人	令和4年度 136人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 7.2%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	61,897	100.0%	89,594	100.0%	148,561	100.0%
人件費	30,001	48.5%	32,552	36.3%	27,698	18.6%
物件費等	24,298	39.3%	43,587	48.7%	30,376	20.4%
維持修繕費	221	0.4%	2,503	2.8%	346	0.2%
減価償却費	7,377	11.9%	10,951	12.2%	90,142	60.7%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	61,897	100.0%	89,594	100.0%	148,561	100.0%
経常収益(直接的収入)	2	100.0%	2	100.0%	14	100.0%
使用料・手数料	2	100.0%	2	100.0%	14	100.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2	100.0%	2	100.0%	14	100.0%
年間コスト	▲ 61,896		▲ 89,592		▲ 148,548	

年間利用者数	147	人	136	人	127	人
延床面積当たりコスト	10,728	円/m <sup>2</sup>	15,528	円/m <sup>2</sup>	25,746	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	421,060	円/人	658,765	円/人	1,169,669	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	52	円/人	76	円/人	128	円/人
有形固定資産減価償却率	78.6	%	16.6	%	20.7	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:北校舎棟				02:南校舎棟				03:プール						
構造 / 種目	W造		事務所建		W造		事務所建		S造		雑屋建				
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階			
建築面積	1,066.86 m <sup>2</sup>				1,320.97 m <sup>2</sup>				580.18 m <sup>2</sup>						
延床面積	1,525.59 m <sup>2</sup>				2,369.86 m <sup>2</sup>				580.18 m <sup>2</sup>						
建築年月	2022年7月	耐用年数	24年		2022年7月	耐用年数	24年		2022年7月	耐用年数	31年				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要			不要	不要					
その他特記事項															
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺					
		外壁窓業系サイディング張				外壁窓業系サイディング張				外壁鋼板					
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備					
		放送設備				放送設備				放送設備					
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備					
		電話交換設備													
	機械設備	エアコン				エアコン				ろ過機					
		各種ポンプ類				衛生器具				衛生器具					
		各種タンク類													
		衛生器具													
劣化度調査	建築	なし		なし		なし		なし							
	電気設備	劣化なし				劣化なし				劣化なし					
定期点検	建築	新築後未実施				新築後未実施				新築後未実施					
		指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし					
		指摘事項なし				指摘事項なし				指摘事項なし					
	電気設備	R2～4:校舎新築(建築)工事【1,496】													
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R2～4:校舎新築(電気設備)工事【259】													
	機械設備	R2～4:校舎新築(機械設備)工事【419】													

番号:建物名称	04:第二体育館				05:部室									
構造 / 種目	S造		事務所建		S造		雑屋建							
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	701.79 m <sup>2</sup>				188.96 m <sup>2</sup>									
延床面積	613.90 m <sup>2</sup>				377.92 m <sup>2</sup>									
建築年月	1990年3月	耐用年数	38年		1993年3月	耐用年数	31年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要			不要	不要								
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺								
		外壁鋼板張				外壁鋼板張								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		放送設備				自動火災報知設備								
		自動火災報知設備												
	機械設備	衛生器具				衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して				屋上防水や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。				いるが、構造躯体は概ね健全。								
		長寿命化対策でさらに長期間使用可。				長寿命化対策でさらに長期間使用可。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	機械設備	劣化なし				劣化なし								
	建築	新築後未実施				新築後未実施								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債							0百万円							
一般財源							0百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古惠風支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	宮古市崎山5-88		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	10,000.00 m <sup>2</sup>		建築面積	3,657.60 m <sup>2</sup>	延床面積	4,284.79 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1980年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	45 年	施設内棟数	7 棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和46年に宮古市立崎山小学校並びに同崎山中学校はまゆり分校として開校、昭和54年に宮古市立はまゆり養護学校(小学部、中学部)、平成12年に岩手県立宮古養護学校、平成13年に高等部を開設、平成21年に岩手県立宮古惠風支援学校に校名変更、知的障がい・肢体不自由を併設。									
未利用設備	無			大規模改修	有					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎(小中学部)			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	1階	地下						
	建築面積	1,289.99 m <sup>2</sup>	延床面積	1,289.99 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1980年3月	法定耐用年数	50 年						
	耐震診断	済	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:15~16:45	
	職員数	71 人		(職員数のうち団体等職員数)		
	学生数(在籍者数)	64 人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 155人	令和元年度 152人	令和2年度 155人	令和3年度 151人	令和4年度 145人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 10.9%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	70,707	100.0%	72,984	100.0%	62,098	100.0%
人件費	27,440	38.8%	29,332	40.2%	25,709	41.4%
物件費等	26,772	37.9%	27,157	37.2%	19,894	32.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	16,496	23.3%	16,496	22.6%	16,496	26.6%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	70,707	100.0%	72,984	100.0%	62,098	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 70,707		▲ 72,984		▲ 62,098	

年間利用者数	151	人	145	人	135	人
延床面積当たりコスト	16,502	円/m <sup>2</sup>	17,033	円/m <sup>2</sup>	14,493	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	468,262	円/人	503,341	円/人	459,987	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	59	円/人	62	円/人	53	円/人
有形固定資産減価償却率	64.5	%	66.5	%	68.6	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎(小中学部)				02:校舎(高等部棟)				03:屋内運動場				
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建		
階数	地上	1階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階	
建築面積	1,289.99 m <sup>2</sup>				1,177.06 m <sup>2</sup>				680.53 m <sup>2</sup>				
延床面積	1,289.99 m <sup>2</sup>				1,804.25 m <sup>2</sup>				680.53 m <sup>2</sup>				
建築年月	1980年3月	耐用年数	50年		2001年3月	耐用年数	50年		1980年3月	耐用年数	38年		
耐震診断 / 耐震改修	済	済			不要	不要			済	済			
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺				屋根鋼板葺				屋根鋼板葺			
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上				外壁鋼板張			
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備				電灯動力設備			
		放送設備				放送設備				放送設備			
		自動火災報知設備				自動火災報知設備				自動火災報知設備			
		電話交換設備				電話交換設備							
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類				放熱器類				FF暖房機			
		各種タンク類、放熱器類				エアコン				衛生器具			
		エアコン、衛生器具				衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋根や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行			
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要			
定期点検	建築	外壁の破損				指摘事項なし				天井材の剥離			
	電気設備	照明設備製造中止				照明設備製造中止				指摘事項なし			
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	R2:吊天井改修工事(ブレイルーム・サーモンホール)【11】											
		R6:昇降口等風雨対策工事【22】											
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【10】											
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【23】											

番号:建物名称	04:プール上屋												
構造 / 種目	S造		倉庫建										
階数	地上	1階	地下	0階	地上		地下		地上		地下		
建築面積	427.00 m <sup>2</sup>												
延床面積	427.00 m <sup>2</sup>												
建築年月	2009年3月	耐用年数	31年			耐用年数				耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修	不要	不要											
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根ポリカーボネート											
		外壁ポリカーボネート											
		電灯動力設備											
	電気設備												
		ろ過装置											
		衛生器具											
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して											
		いるが、構造躯体は概ね健全。											
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行											
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行							
定期点検	建築	しており、25年経過を目安に総合的な改修が必要											
	電気設備	指摘事項なし											
	機械設備	指摘事項なし											
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債		10百万円					20百万円		30百万円				
一般財源		1百万円					2百万円		3百万円				
その他							0百万円						
計		11百万円	0百万円	0百万円	0百万円	22百万円	33百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
					煙突内断熱材撤去	
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	3 百万円	3 百万円
国庫						0 百万円
県債					2 百万円	2 百万円
一般財源					1 百万円	1 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈拓陽支援学校		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12				
所在地	久慈市侍浜町堀切10-56-46		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産				
所管課	学校教育室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当				
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし				
敷地面積	34,859.04 m <sup>2</sup>		建築面積	3,795.31 m <sup>2</sup>	延床面積	6,145.35 m <sup>2</sup>				
竣工年度 (建築年月)	1979年6月		経過年数 (R7.4.1現在)	45年	施設内棟数	13棟				
設置根拠	有	学校教育法								
設置目的	視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者(身体虚弱者を含む。以下同じ。)に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。									
施設の概況	昭和54年に岩手県立久慈養護学校(知的障がい)として開校(小学部、中学部)、昭和55年に訪問教育部を設置、平成元年に高等部を設置、平成21年に岩手県立久慈拓陽支援学校に校名変更。 知的障がいと肢体不自由を教育の対象とした特別支援学校。									
未利用設備	無			大規模改修	無					
使用許可等の有無	無									
主要棟	名称	校舎			現況写真					
	構造	RC造	種目	事務所建						
	階数	地上	2階	地下						
	建築面積	1,007.37 m <sup>2</sup>	延床面積	2,007.99 m <sup>2</sup>						
	建築年月日	1979年6月	法定耐用年数	50年						
	耐震診断	済	耐震改修	不要						
	その他特記事項									

## 2 利用状況

R5 利用状況	運営日	平日(年末年始を除く)		運営時間	8:20~16:50	
	職員数	85人		(職員数のうち団体等職員数)	0人	
	学生数(在籍者数)	74人		定員数		
	職員数+学生数 の推移 (直近5年間)	平成30年度 173人	令和元年度 167人	令和2年度 162人	令和3年度 166人	令和4年度 155人
						増減率 (R5/過去5年平均) ▲ 3.4%
	施設利用対象者 マクロデータ ※中学校卒業生数	当 時【A】 (H22年4月時点)	13,748人	現 在【B】 (R7年4月時点)	9,670人	増減率 (マクロデータ) ▲ 29.7%

### 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	110,708	100.0%	110,027	100.0%	94,009	100.0%
人件費	44,069	39.8%	42,298	38.4%	39,814	42.4%
物件費等	40,800	36.9%	41,671	37.9%	29,112	31.0%
維持修繕費	853	0.8%	1,225	1.1%	485	0.5%
減価償却費	24,987	22.6%	24,833	22.6%	24,598	26.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	110,708	100.0%	110,027	100.0%	94,009	100.0%
経常収益(直接的収入)	0-		0-		0-	
使用料・手数料	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
臨時利益(直接的収入)	0-		0-		0-	
資産売却益	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
補助金等(間接的収入)	0-		0-		0-	
国庫補助金	0-		0-		0-	
その他	0-		0-		0-	
収入合計	0-		0-		0-	
年間コスト	▲ 110,708		▲ 110,027		▲ 94,009	

年間利用者数	166	人	155	人	159	人
延床面積当たりコスト	18,015	円/m <sup>2</sup>	17,904	円/m <sup>2</sup>	15,298	円/m <sup>2</sup>
学生等1人当たりコスト	666,915	円/人	709,854	円/人	591,251	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	93	円/人	93	円/人	81	円/人
有形固定資産減価償却率	83.3	%	85.5	%	87.7	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:校舎				02:高等部校舎				03:体育館											
構造 / 種目	RC造		事務所建		RC造		事務所建		S造		事務所建									
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上	1階	地下	0階								
建築面積	1,007.37 m <sup>2</sup>				851.08 m <sup>2</sup>				548.50 m <sup>2</sup>											
延床面積	2,007.99 m <sup>2</sup>				1,481.78 m <sup>2</sup>				548.50 m <sup>2</sup>											
建築年月	1979年6月	耐用年数	50年		1989年3月	耐用年数	50年		1979年6月	耐用年数	38年									
耐震診断 / 耐震改修	済	不要			不要	不要			済	済										
その他特記事項																				
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺			屋根鋼板葺												
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上			外壁鋼板張												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備			電灯動力設備												
		放送設備			放送設備			放送設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備			自動火災報知設備												
		電話交換設備																		
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類			放熱器類			FF暖房機												
		各種タンク類、放熱器類			エアコン			衛生器具												
		エアコン、衛生器具			衛生器具															
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要												
定期点検	建築	指摘事項なし			破風(妻壁上部)部分劣化 雨漏り跡(廊下・音楽室・1A)			外部鉄骨柱の発錆 雨漏り跡												
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし			指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																			
	電気設備	R1:冷房設備設置(電気設備)工事【20】																		
	機械設備	R1:冷房設備設置(機械設備)工事【37】																		
		R4:ボイラー更新工事【27】、消火栓ポンプ更新【22】																		

番号:建物名称	04:寄宿舎													
構造 / 種目	RC造		住宅建											
階数	地上	2階	地下	0階	地上		地下		地上		地下			
建築面積	1,113.37 m <sup>2</sup>													
延床面積	1,832.09 m <sup>2</sup>													
建築年月	1979年6月	耐用年数	47年			耐用年数				耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修	済	不要												
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺												
		外壁コンクリート塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備												
		自動火災報知設備												
		テレビ共聴設備												
	機械設備	温水ヒーター、各種ポンプ類												
		各種タンク類、放熱器類												
		エアコン、衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行												
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	雨漏り跡 給排水管カバー劣化 外壁塗膜の剥離												
	電気設備	指摘事項なし												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
	機械設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫												0百万円		
県債												0百万円		
一般財源					22百万円							22百万円		
その他												0百万円		
計		0百万円	0百万円	22百万円	0百万円	0百万円	22百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	高

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	県立学校として、機能は現状維持とし、計画的な修繕を行い、将来に渡って継続的に維持。なお、相当程度の維持管理コストを要するため、毎年度の予算編成過程においてその必要性を吟味し、計画的な施設維持を図っていくことが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	建築後40年以上経過していることから、計画的な維持管理と長寿命化の推進により、施設の維持管理や修繕、更新等に係る中長期的なコストの縮減・財政負担の平準化に取り組む。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
					自火報設備更新	
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	2 百万円	2 百万円
国庫						0 百万円
県債					1 百万円	1 百万円
一般財源					1 百万円	1 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡第三高等学校 職員住宅1		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	盛岡市黒石野2-44-11		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地	
敷地面積	2,722.02 m <sup>2</sup>		建築面積	394.02 m <sup>2</sup>	延床面積	995.90 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1972年9月		経過年数 (R7.4.1現在)	52 年	施設内棟数	3 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	3階	地下			
	建築面積	297.52 m <sup>2</sup>	延床面積	899.40 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1972年9月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	0 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	0.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 10戸	令和元年度 7戸	令和2年度 7戸	令和3年度 1戸	令和4年度 0戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S47年4月時点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	0戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 100.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,012	100.0%	6,003	100.0%	6,003	100.0%
人件費	6,000	99.8%	6,000	99.9%	6,000	99.9%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	12	0.2%	3	0.1%	3	0.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,012	100.0%	6,003	100.0%	6,003	100.0%
経常収益(直接的収入)	99	100.0%	0	-	0	-
使用料・手数料	0	0.0%	0	-	0	-
その他	99	100.0%	0	-	0	-
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	-	0	-
資産売却益	0	0.0%	0	-	0	-
その他	0	0.0%	0	-	0	-
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	-	0	-
国庫補助金	0	0.0%	0	-	0	-
その他	0	0.0%	0	-	0	-
収入合計	99	100.0%	0	-	0	-
年間コスト	▲ 5,913		▲ 6,003		▲ 6,003	

入居戸数	1 人	0 人	0 人
延床面積当たりコスト	5,938 円/m <sup>2</sup>	6,028 円/m <sup>2</sup>	6,028 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	5,913,339 円/人	#DIV/0! 円/人	#DIV/0! 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	56.6 %	58.6 %	60.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

#### 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根シート防水	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
			しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外部コンクリート柱の欠損	指摘事項なし	指摘事項なし			
	外壁剥離					
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

#### 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	低
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

#### 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	廃止	建物の方針	売却・移管
	売却を含め、廃止を検討。			

#### 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	廃止予定のため、最低限の維持管理を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡第三高等学校 職員住宅2		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市西松園1-16-4		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	4,121.43 m <sup>2</sup>		建築面積	925.00 m <sup>2</sup>	延床面積	2,364.04 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1977年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	48年	施設内棟数	6棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	359.76 m <sup>2</sup>	延床面積	1,079.28 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1977年3月	法定耐用年数	47年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	14 戸		入居可能戸数	36 戸	
	稼働率	38.9%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		20戸	18戸	18戸	15戸	14戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※職員数	開設当時【A】 S52年4月時点)	36戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	14戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 61.1%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	13,361	100.0%	13,361	100.0%	13,361	100.0%
人件費	6,000	44.9%	6,000	44.9%	6,000	44.9%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	7,361	55.1%	7,361	55.1%	7,361	55.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	13,361	100.0%	13,361	100.0%	13,361	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,140	100.0%	1,998	100.0%	1,998	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,140	100.0%	1,998	100.0%	1,998	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,140	100.0%	1,998	100.0%	1,998	100.0%
年間コスト	▲ 11,220		▲ 11,363		▲ 11,363	

入居戸数	15 人	14 人	14 人
延床面積当たりコスト	4,746 円/m <sup>2</sup>	4,807 円/m <sup>2</sup>	4,807 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	748,033 円/人	811,655 円/人	811,655 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	9 円/人	10 円/人	10 円/人
有形固定資産減価償却率	56.6 %	58.6 %	60.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅				02:職員住宅											
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建									
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上		地下					
建築面積	359.76 m <sup>2</sup>				359.76 m <sup>2</sup>											
延床面積	1,079.28 m <sup>2</sup>				1,079.28 m <sup>2</sup>											
建築年月	1977年3月	耐用年数	47年		1978年3月	耐用年数	47年			耐用年数						
耐震診断 / 耐震改修																
その他特記事項																
主な建築・設備	建築	屋根シート防水				屋根シート防水										
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上										
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備										
		自動火災報知設備				自動火災報知設備										
		テレビ共聴設備				テレビ共聴設備										
	機械設備	給湯機				給湯機										
		衛生器具				衛生器具										
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。										
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行										
定期点検	機械設備	経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要										
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築															
	電気設備															
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計									
国庫																
県債																
一般財源																
その他																
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円										

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、建築後48年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	南浦みらい高等学校 (旧不来方高等学校) 教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	紫波郡矢巾町又兵衛新田7-160-2,159-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第二種低層住居専用地域
敷地面積	1,030.00 m <sup>2</sup>		建築面積	335.77 m <sup>2</sup>	延床面積	506.23 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1990年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	35 年	施設内棟数	2 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無	
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	教職員公舎			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	291.06 m <sup>2</sup>	延床面積	461.52 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1990年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R 5 利 用 状 況	入居戸数	1 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	16.7%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		4戸	3戸	3戸	3戸	2戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H2年4月時点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	1戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 83.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,117	100.0%	8,089	100.0%	8,089	100.0%
人件費	6,000	73.9%	6,000	74.2%	6,000	74.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,117	26.1%	2,089	25.8%	2,089	25.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,117	100.0%	8,089	100.0%	8,089	100.0%
経常収益(直接的収入)	704	100.0%	469	100.0%	235	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	704	100.0%	469	100.0%	235	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	704	100.0%	469	100.0%	235	100.0%
年間コスト	▲ 7,413		▲ 7,620		▲ 7,855	

入居戸数	3人	2人	1人
延床面積当たりコスト	14,643 円/m <sup>2</sup>	15,052 円/m <sup>2</sup>	15,516 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	2,470,946 円/人	3,809,982 円/人	7,854,564 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	72.3 %	74.6 %	76.6 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	受変電設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	電灯動力設備	衛生器具			
		放送設備				
		自動火災報知設備				
		電話交換設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、建築後35年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡農業高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市厨川3-97		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	416.58 m <sup>2</sup>		建築面積	130.80 m <sup>2</sup>	延床面積	241.76 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1975年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	49年	施設内棟数	2棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	110.96 m <sup>2</sup>	延床面積	221.92 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1975年10月	法定耐用年数	38年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	1 戸		入居可能戸数	4 戸	
	稼働率	25.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 0戸	令和元年度 1戸	令和2年度 1戸	令和3年度 0戸	令和4年度 0戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S50年10月時 点)	4戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	1戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 75.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	0 -		0 -		147	100.0%
使用料・手数料	0 -		0 -		0	0.0%
その他	0 -		0 -		147	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0 -		0 -		0	0.0%
資産売却益	0 -		0 -		0	0.0%
その他	0 -		0 -		0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0 -		0 -		0	0.0%
国庫補助金	0 -		0 -		0	0.0%
その他	0 -		0 -		0	0.0%
収入合計	0 -		0 -		147	100.0%
年間コスト	▲ 6,000		▲ 6,000		▲ 5,853	

入居戸数	0 人	0 人	1 人
延床面積当たりコスト	24,818 円/m <sup>2</sup>	24,818 円/m <sup>2</sup>	24,210 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	#DIV/0! 円/人	#DIV/0! 円/人	5,853,000 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	64.7 %	65.8 %	68.7 %

(参考)岩手県の人口 (単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁モルタル仕上	自動火災報知設備	衛生設備			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は維持するが、入居者数が少ないとから、最低限の維持管理を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡農業高等学校 砂込公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	滝沢市砂込1463-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積			建築面積	217.37 m <sup>2</sup>	延床面積	346.46 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	2000年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	25 年	施設内棟数	2 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	砂込公舎			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	188.04 m <sup>2</sup>	延床面積	317.13 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	2000年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	4 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	66.7%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 4戸	令和元年度 2戸	令和2年度 2戸	令和3年度 5戸	令和4年度 3戸 増減率 (R5/過去5年平均) 25.0%
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H12年10月時 点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	4戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 33.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	7,884	100.0%	7,950	100.0%	7,950	100.0%
人件費	6,000	76.1%	6,000	75.5%	6,000	75.5%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	1,884	23.9%	1,950	24.5%	1,950	24.5%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	7,884	100.0%	7,950	100.0%	7,950	100.0%
経常収益(直接的収入)	596	100.0%	357	100.0%	477	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	596	100.0%	357	100.0%	477	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	596	100.0%	357	100.0%	477	100.0%
年間コスト	▲ 7,288		▲ 7,593		▲ 7,474	

入居戸数	5 人	3 人	4 人
延床面積当たりコスト	21,036 円/m <sup>2</sup>	21,916 円/m <sup>2</sup>	21,572 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,457,616 円/人	2,530,977 円/人	1,868,443 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	64.7 %	65.8 %	68.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根折版葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗装仕上げ	自動火災報知設備	衛生設備			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、建築後49年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡工業高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市北飯岡1-5-12		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	1,245.94 m <sup>2</sup>		建築面積	415.25 m <sup>2</sup>	延床面積	1,118.33 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1970年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	54 年	施設内棟数	11 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無	
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅				
	構造	RC造	種目	住宅建	現況写真	
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	73.76 m <sup>2</sup>	延床面積	221.30 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1970年11月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					



## 2 利用状況

R 5 利 用 状 況	入居戸数	7 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	38.9%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 14戸	令和元年度 15戸	令和2年度 11戸	令和3年度 13戸	令和4年度 11戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S45年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	7戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 61.1%
						▲ 45.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,556	100.0%	6,226	100.0%	6,226	100.0%
人件費	6,000	91.5%	6,000	96.4%	6,000	96.4%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	556	8.5%	226	3.6%	226	3.6%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,556	100.0%	6,226	100.0%	6,226	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,129	100.0%	956	100.0%	608	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,129	100.0%	956	100.0%	608	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,129	100.0%	956	100.0%	608	100.0%
年間コスト	▲ 5,426		▲ 5,270		▲ 5,618	

入居戸数	13 人	11 人	7 人
延床面積当たりコスト	4,852 円/m <sup>2</sup>	4,713 円/m <sup>2</sup>	5,023 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	417,422 円/人	479,114 円/人	802,539 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	4 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	85.0 %	85.9 %	86.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅(一部)				02:職員住宅								
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建						
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	0.00 m <sup>2</sup>				73.76 m <sup>2</sup>								
延床面積	398.34 m <sup>2</sup>				221.30 m <sup>2</sup>								
建築年月	1970年11月	耐用年数	47年		1970年11月	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修													
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋上シート防水			屋上シート防水								
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機			給湯機								
		衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して			屋上防水や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
		機械設備			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	外壁、軒先の塗膜剥離、ひび割れ、劣化			外壁、軒先の塗膜剥離、ひび割れ、劣化								
		電気設備			指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債							0百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、54年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡商業高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市北飯岡1-4-9、北飯岡1-4-8		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	10,640.33 m <sup>2</sup>		建築面積	1,123.16 m <sup>2</sup>	延床面積	2,816.60 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1985年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	40年	施設内棟数	7棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	425.88 m <sup>2</sup>	延床面積	1,272.60 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1985年3月	法定耐用年数	47年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	16 戸		入居可能戸数	36 戸	
	稼働率	44.4%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 19戸	令和元年度 18戸	令和2年度 18戸	令和3年度 18戸	令和4年度 16戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S60年10月時 点)	36戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	16戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 55.6%
						▲ 10.1%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	15,374	100.0%	14,641	100.0%	14,641	100.0%
人件費	6,000	39.0%	6,000	41.0%	6,000	41.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	9,374	61.0%	8,641	59.0%	8,641	59.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	15,374	100.0%	14,641	100.0%	14,641	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,918	100.0%	2,594	100.0%	2,594	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,918	100.0%	2,594	100.0%	2,594	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,918	100.0%	2,594	100.0%	2,594	100.0%
年間コスト	▲ 12,455		▲ 12,047		▲ 12,047	

入居戸数	18 人	16 人	16 人
延床面積当たりコスト	4,422 円/m <sup>2</sup>	4,277 円/m <sup>2</sup>	4,277 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	691,967 円/人	752,967 円/人	752,967 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	10 円/人	10 円/人	10 円/人
有形固定資産減価償却率	46.9 %	48.8 %	51.1 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員公舎				02:盛岡地区教職員公舎									
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建							
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上		地下			
建築面積	425.88 m <sup>2</sup>				425.88 m <sup>2</sup>									
延床面積	1,272.60 m <sup>2</sup>				1,272.60 m <sup>2</sup>									
建築年月	1985年3月	耐用年数	47年		1986年2月	耐用年数	47年			耐用年数				
耐震診断 / 耐震改修														
その他特記事項														
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き				屋根鋼板葺き								
		外壁コンクリート塗膜仕上				外壁コンクリート塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備				電灯動力設備								
		自動火災報知設備				自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備				テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機				給湯機								
		衛生器具				衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。				屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行				経年劣化による機能低下が進行								
		機械設備				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				経年劣化による機能低下が進行 しており、総合的な改修が必要				
定期点検	建築	内壁のひび割れ、雨漏り 屋根の発錆 玄関のタイル破損				出入口の床タイル破損 屋根の発錆 鉄筋爆裂								
	電気設備	指摘事項なし				指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築													
	電気設備													
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計							
国庫							0百万円							
県債							0百万円							
一般財源							0百万円							
その他							0百万円							
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円							

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、建築後40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	黒沢尻北高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12		
所在地	北上市常盤台1-39-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産		
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当		
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域		
敷地面積	4,096.73 m <sup>2</sup>		建築面積	488.68 m <sup>2</sup>	延床面積	1,119.56 m <sup>2</sup>		
竣工年度 (建築年月)	1977年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	48年	施設内棟数	8棟		
設置根拠	無							
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。							
施設の概況								
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修		無			
使用許可等の有無	無							
主要棟	名称	職員住宅			現況写真			
	構造	RC造	種目	住宅建				
	階数	地上	3階	地下				
	建築面積	243.44 m <sup>2</sup>	延床面積	723.12 m <sup>2</sup>				
	建築年月日	1977年3月	法定耐用年数	47年				
	耐震診断		耐震改修					
	その他特記事項							

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	66.7%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 11戸	令和元年度 12戸	令和2年度 9戸	令和3年度 8戸	令和4年度 10戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S52年10月時 点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 33.3%
						▲ 20.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,466	100.0%	8,466	100.0%	7,121	100.0%
人件費	6,000	70.9%	6,000	70.9%	6,000	84.3%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,466	29.1%	2,466	29.1%	1,121	15.7%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,466	100.0%	8,466	100.0%	7,121	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,141	100.0%	1,427	100.0%	1,141	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,141	100.0%	1,427	100.0%	1,141	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,141	100.0%	1,427	100.0%	1,141	100.0%
年間コスト	▲ 7,324		▲ 7,039		▲ 5,979	

入居戸数	8 人	10 人	8 人
延床面積当たりコスト	6,542 円/m <sup>2</sup>	6,287 円/m <sup>2</sup>	5,341 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	915,550 円/人	703,904 円/人	747,426 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	88.4 %	90.0 %	91.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	衛生器具			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	電気設備更新推奨時期経過	トイレ老朽化			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、建築後48年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
長寿命化等対策の方針	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	北上翔南高等学校 大堤公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	北上市大堤西1-57		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	1,872.73 m <sup>2</sup>		建築面積	403.97 m <sup>2</sup>	延床面積	883.65 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1980年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	45 年	施設内棟数	6 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	大堤公舎			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	239.84 m <sup>2</sup>	延床面積	719.52 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1980年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	6 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 9戸	令和元年度 7戸	令和2年度 5戸	令和3年度 3戸	令和4年度 6戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S55年10月時 点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	6戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,454	100.0%	8,454	100.0%	8,454	100.0%
人件費	6,000	71.0%	6,000	71.0%	6,000	71.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,454	29.0%	2,454	29.0%	2,454	29.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,454	100.0%	8,454	100.0%	8,454	100.0%
経常収益(直接的収入)	428	100.0%	856	100.0%	856	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	428	100.0%	856	100.0%	856	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	428	100.0%	856	100.0%	856	100.0%
年間コスト	▲ 8,026		▲ 7,597		▲ 7,597	

入居戸数	3 人	6 人	6 人
延床面積当たりコスト	9,082 円/m <sup>2</sup>	8,598 円/m <sup>2</sup>	8,598 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	2,675,174 円/人	1,266,247 円/人	1,266,247 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	69.0 %	70.9 %	72.8 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行し、総			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		改修が必要。一部の給湯機が故障した			
			理不能。同一機種のため今後発生見込			
定期点検	屋上防水シートの劣化					
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設の方向性	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、45年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	西和賀高等学校 教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	和賀郡西和賀町湯田19-12-16		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	1,717.71 m <sup>2</sup>		建築面積	352.55 m <sup>2</sup>	延床面積	864.52 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1995年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	30 年	施設内棟数	2 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	教職員公舎			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	339.30 m <sup>2</sup>	延床面積	851.27 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1995年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	5 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	62.5%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		6戸	7戸	7戸	7戸	7戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H7年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	5戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 37.5%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	10,079	100.0%	10,079	100.0%	10,079	100.0%
人件費	6,000	59.5%	6,000	59.5%	6,000	59.5%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	4,079	40.5%	4,079	40.5%	4,079	40.5%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	10,079	100.0%	10,079	100.0%	10,079	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,105	100.0%	1,105	100.0%	790	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,105	100.0%	1,105	100.0%	790	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,105	100.0%	1,105	100.0%	790	100.0%
年間コスト	▲ 8,974		▲ 8,974		▲ 9,289	

入居戸数	7 人	7 人	5 人
延床面積当たりコスト	10,380 円/m <sup>2</sup>	10,380 円/m <sup>2</sup>	10,745 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,281,949 円/人	1,281,949 円/人	1,857,897 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	8 円/人	8 円/人	8 円/人
有形固定資産減価償却率	84.4 %	86.1 %	87.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	衛生器具			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	屋根の破損	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、30年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	水沢高等学校 教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	奥州市水沢字福原21-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	2,010.87 m <sup>2</sup>		建築面積	547.45 m <sup>2</sup>	延床面積	939.13 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	2001年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	24 年	施設内棟数	6 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	教職員公舎(4戸)			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	168.44 m <sup>2</sup>	延床面積	310.52 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	2001年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断	不要	耐震改修	不要		
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	15 戸		入居可能戸数	16 戸	
	稼働率	93.8%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 16戸	令和元年度 13戸	令和2年度 13戸	令和3年度 16戸	令和4年度 14戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H13年10月時 点)	16戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	15戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 6.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	10,632	100.0%	10,492	100.0%	10,492	100.0%
人件費	6,000	56.4%	6,000	57.2%	6,000	57.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	4,632	43.6%	4,492	42.8%	4,492	42.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	10,632	100.0%	10,492	100.0%	10,492	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,652	100.0%	2,320	100.0%	2,486	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,652	100.0%	2,320	100.0%	2,486	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,652	100.0%	2,320	100.0%	2,486	100.0%
年間コスト	▲ 7,981		▲ 8,172		▲ 8,007	

入居戸数	16 人	14 人	15 人
延床面積当たりコスト	8,498 円/m <sup>2</sup>	8,702 円/m <sup>2</sup>	8,526 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	498,807 円/人	583,736 円/人	533,772 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	85.3 %	86.6 %	82.6 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:教職員公舎(4戸)				02:教職員公舎(12戸)								
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建						
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	168.44 m <sup>2</sup>				305.00 m <sup>2</sup>								
延床面積	310.52 m <sup>2</sup>				554.60 m <sup>2</sup>								
建築年月	2001年3月	耐用年数	47年		2001年3月	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修													
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺き			屋根鋼板葺き								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機			給湯機								
		衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	構造躯体は概ね健全			構造躯体は概ね健全								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
		しており、25年経過を目標に総			しており、25年経過を目標に総								
		合的な改修が必要			合的な改修が必要								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
		指摘事項なし			指摘事項なし								
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債							0百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、20年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関第一高等学校 職員住宅1		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	一関市関が丘40-4		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	1,788.68 m <sup>2</sup>		建築面積	162.84 m <sup>2</sup>	延床面積	325.68 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1973年4月		経過年数 (R7.4.1現在)	51 年	施設内棟数	1 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	162.84 m <sup>2</sup>	延床面積	325.68 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1973年4月	法定耐用年数	38 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	1 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	16.7%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 1戸	令和元年度 1戸	令和2年度 1戸	令和3年度 1戸	令和4年度 1戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S48年10月時 点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	1戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 83.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	7,713	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	77.8%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	1,713	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	7,713	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	134	100.0%	134	100.0%	134	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	134	100.0%	134	100.0%	134	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	134	100.0%	134	100.0%	134	100.0%
年間コスト	▲ 7,579		▲ 5,866		▲ 5,866	

入居戸数	1人	1人	1人
延床面積当たりコスト	23,273 円/m <sup>2</sup>	18,011 円/m <sup>2</sup>	18,011 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	7,579,449 円/人	5,865,960 円/人	5,865,960 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	56.2 %	58.5 %	60.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いる。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	非常用照明不点灯	指摘事項なし	指摘事項なし			
	外壁ひび割れ					
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、50年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関第一高等学校 職員住宅2		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12		
所在地	一関市赤萩字萩野442		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産		
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当		
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし		
敷地面積	1,340.58 m <sup>2</sup>		建築面積	323.66 m <sup>2</sup>	延床面積	803.34 m <sup>2</sup>		
竣工年度 (建築年月)	1980年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	45 年	施設内棟数	4 棟		
設置根拠	無							
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。							
施設の概況								
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修					
使用許可等の有無	無							
主要棟	名称	職員住宅			現況写真			
	構造	RC造	種目	住宅建				
	階数	地上	3階	地下				
	建築面積	239.84 m <sup>2</sup>	延床面積	719.52 m <sup>2</sup>				
	建築年月日	1980年3月	法定耐用年数	47 年				
	耐震診断		耐震改修					
	その他特記事項							

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	4 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	33.3%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 11戸	令和元年度 8戸	令和2年度 7戸	令和3年度 7戸	令和4年度 7戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S55年10月時 点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	4戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 66.7%
						▲ 50.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,477	100.0%	8,477	100.0%	8,477	100.0%
人件費	6,000	70.8%	6,000	70.8%	6,000	70.8%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,477	29.2%	2,477	29.2%	2,477	29.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,477	100.0%	8,477	100.0%	8,477	100.0%
経常収益(直接的収入)	999	100.0%	999	100.0%	571	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	999	100.0%	999	100.0%	571	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	999	100.0%	999	100.0%	571	100.0%
年間コスト	▲ 7,478		▲ 7,478		▲ 7,907	

入居戸数	7 人	7 人	4 人
延床面積当たりコスト	9,309 円/m <sup>2</sup>	9,309 円/m <sup>2</sup>	9,842 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,068,355 円/人	1,068,355 円/人	1,976,631 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	56.2 %	58.5 %	60.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根シート防水	電灯動力設備	給湯機			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	プロパン庫の傾き	指摘事項なし	指摘事項なし			
	外階段の破損					
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、45年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関第一高等学校 職員住宅3		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	一関市関が丘92		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	1,995.18 m <sup>2</sup>		建築面積	457.76 m <sup>2</sup>	延床面積	1,194.74 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1975年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	50 年	施設内棟数	2 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	368.48 m <sup>2</sup>	延床面積	1,105.46 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1975年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	4 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	22.2%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 12戸	令和元年度 12戸	令和2年度 10戸	令和3年度 9戸	令和4年度 8戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S50年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	4戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 77.8%
						▲ 60.8%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	7,713	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	77.8%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	1,713	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	7,713	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,304	100.0%	1,159	100.0%	579	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,304	100.0%	1,159	100.0%	579	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,304	100.0%	1,159	100.0%	579	100.0%
年間コスト	▲ 6,410		▲ 4,841		▲ 5,421	

入居戸数	9 人	8 人	4 人
延床面積当たりコスト	5,365 円/m <sup>2</sup>	4,052 円/m <sup>2</sup>	4,537 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	712,214 円/人	605,160 円/人	1,355,160 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	4 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	56.2 %	58.5 %	60.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、50年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関第二高等学校 清水職員住宅			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	一関市赤荻字清水33番4			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外			防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	1,122.57 m <sup>2</sup>			建築面積	233.12 m <sup>2</sup>	延床面積	441.44 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1969年5月			経過年数 (R7.4.1現在)	55 年	施設内棟数	5 棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	CB造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	108.00 m <sup>2</sup>	延床面積	216.00 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1969年5月	法定耐用年数	38 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	0 戸		入居可能戸数	9 戸	
	稼働率	0.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 0戸	令和元年度 0戸	令和2年度 0戸	令和3年度 0戸	令和4年度 0戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S44年10月時 点)	9戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	0戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 100.0%
						増減率 (R5/過去5年平均) —

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	0 -		0 -		0 -	
使用料・手数料	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
臨時利益(直接的収入)	0 -		0 -		0 -	
資産売却益	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
補助金等(間接的収入)	0 -		0 -		0 -	
国庫補助金	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
収入合計	0 -		0 -		0 -	
年間コスト	▲ 6,000		▲ 6,000		▲ 6,000	

入居戸数	0 人	0 人	0 人
延床面積当たりコスト	13,592 円/m <sup>2</sup>	13,592 円/m <sup>2</sup>	13,592 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	6,000,000 円/人	6,000,000 円/人	6,000,000 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	55.3 %	51.3 %	53.4 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	亜鉛メッキ鋼板葺屋根	電灯動力設備	衛生器具			
	外壁塗膜仕上		給湯機			
劣化度調査	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	しており、総合的な改修が必要	しており、総合的な改修が必要	しており、総合的な改修が必要			
定期点検						
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	低
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	廃止	建物の方針	売却・移管
	売却を含め、廃止を検討。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	廃止を検討していくため、最低限の維持管理を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	一関工業高等学校 職員住宅			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	一関市萩荘字釜ヶ渕85			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積	769.48 m <sup>2</sup>			建築面積	133.20 m <sup>2</sup>	延床面積	241.76 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1975年10月			経過年数 (R7.4.1現在)	49年	施設内棟数	2棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	CB造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	113.36 m <sup>2</sup>	延床面積	221.92 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1975年10月	法定耐用年数	38年			
	耐震診断	不要	耐震改修	不要			
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	1 戸		入居可能戸数	4 戸	
	稼働率	25.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		4戸	1戸	0戸	1戸	1戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S50年10月時 点)	4戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	1戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 75.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,907	100.0%	6,907	100.0%	6,907	100.0%
人件費	6,000	86.9%	6,000	86.9%	6,000	86.9%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	907	13.1%	907	13.1%	907	13.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,907	100.0%	6,907	100.0%	6,907	100.0%
経常収益(直接的収入)	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	161	100.0%	161	100.0%	161	100.0%
年間コスト	▲ 6,746		▲ 6,746		▲ 6,746	

入居戸数	1 人	1 人	1 人
延床面積当たりコスト	27,902 円/m <sup>2</sup>	27,902 円/m <sup>2</sup>	27,902 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	6,745,583 円/人	6,745,583 円/人	6,745,583 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	79.8 %	81.8 %	83.8 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、45年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	千厩高等学校 千厩地区職員住宅			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	一関市千厩町千厩字石堂37-3			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	1,278.90 m <sup>2</sup>			建築面積	259.79 m <sup>2</sup>	延床面積	449.17 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1997年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	28年	施設内棟数	2棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	千厩地区職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	229.98 m <sup>2</sup>	延床面積	419.36 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1997年3月	法定耐用年数	47年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	6 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	75.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		8戸	8戸	7戸	6戸	7戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※職員数	開設当時【A】 (H9年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	6戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 25.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,544	100.0%	8,544	100.0%	8,544	100.0%
人件費	6,000	70.2%	6,000	70.2%	6,000	70.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,544	29.8%	2,544	29.8%	2,544	29.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,544	100.0%	8,544	100.0%	8,544	100.0%
経常収益(直接的収入)	680	100.0%	794	100.0%	680	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	680	100.0%	794	100.0%	680	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	680	100.0%	794	100.0%	680	100.0%
年間コスト	▲ 7,864		▲ 7,750		▲ 7,864	

入居戸数	6 人	7 人	6 人
延床面積当たりコスト	17,507 円/m <sup>2</sup>	17,255 円/m <sup>2</sup>	17,507 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,310,621 円/人	1,107,189 円/人	1,310,621 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	67.7 %	69.7 %	72.2 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	廃止	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、25年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
		下水道切替	下水道切替			
概算費用(見込)	0 百万円	2 百万円	37 百万円	0 百万円	0 百万円	39 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源		2 百万円	37 百万円			39 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	高田高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	陸前高田市高田町字太田509-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	3,000.00 m <sup>2</sup>		建築面積	953.38 m <sup>2</sup>	延床面積	1,163.52 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	2019年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	6 年	施設内棟数	7 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無	
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅A棟			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	533.43 m <sup>2</sup>	延床面積	705.20 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	2019年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	20 戸		入居可能戸数	22 戸	
	稼働率	90.9%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			20戸	22戸	21戸	22戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (R1年10月時点)	22戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	20戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 9.1%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	23,086	100.0%	23,086	100.0%	23,086	100.0%
人件費	6,000	26.0%	6,000	26.0%	6,000	26.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	17,086	74.0%	17,086	74.0%	17,086	74.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	23,086	100.0%	23,086	100.0%	23,086	100.0%
経常収益(直接的収入)	5,179	100.0%	5,425	100.0%	4,932	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	5,179	100.0%	5,425	100.0%	4,932	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	5,179	100.0%	5,425	100.0%	4,932	100.0%
年間コスト	▲ 17,907		▲ 17,661		▲ 18,154	

入居戸数	21	人	22	人	20	人
延床面積当たりコスト	15,391	円/m <sup>2</sup>	15,179	円/m <sup>2</sup>	15,603	円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	852,738	円/人	802,768	円/人	907,704	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	15	円/人	15	円/人	16	円/人
有形固定資産減価償却率	15.4	%	18.3	%	21.2	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅A棟				02:職員住宅B棟								
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建						
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	533.43 m <sup>2</sup>				364.83 m <sup>2</sup>								
延床面積	705.20 m <sup>2</sup>				403.20 m <sup>2</sup>								
建築年月	2019年3月	耐用年数	47年		2019年3月	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修													
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋上シート防水			屋上シート防水								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機			給湯機								
		衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。			屋上防水や外壁の老朽化が進行して いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	劣化なし			劣化なし								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築												
	電気設備												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債							0百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
	概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	大船渡高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	大船渡市立根町字関谷69-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	3,008.00 m <sup>2</sup>		建築面積	473.12 m <sup>2</sup>	延床面積	1,192.10 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1982年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	43 年	施設内棟数	4 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	359.49 m <sup>2</sup>	延床面積	1,078.47 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1982年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	10 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	55.6%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		17戸	16戸	15戸	11戸	13戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S57年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	10戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 44.4%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,678	100.0%	9,678	100.0%	9,678	100.0%
人件費	6,000	62.0%	6,000	62.0%	6,000	62.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,678	38.0%	3,678	38.0%	3,678	38.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,678	100.0%	9,678	100.0%	9,678	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,569	100.0%	1,855	100.0%	1,427	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,569	100.0%	1,855	100.0%	1,427	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,569	100.0%	1,855	100.0%	1,427	100.0%
年間コスト	▲ 8,108		▲ 7,823		▲ 8,251	

入居戸数	11 人	13 人	10 人
延床面積当たりコスト	6,802 円/m <sup>2</sup>	6,562 円/m <sup>2</sup>	6,921 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	737,100 円/人	601,749 円/人	825,078 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	56.2 %	58.2 %	60.3 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外壁劣化、鉄筋爆裂	指摘事項なし	給水水圧不足			
	笠木劣化		給排水管腐食による水漏れや排水困難			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	大船渡東高等学校 教職員公舎			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	大船渡市立根町字川原11-2			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	2,761.16 m <sup>2</sup>			建築面積	559.88 m <sup>2</sup>	延床面積	910.35 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1996年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	29年	施設内棟数	6棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	大船渡地区教職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	228.79 m <sup>2</sup>	延床面積	419.36 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1996年3月	法定耐用年数	47年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						



## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	13 戸		入居可能戸数	14 戸	
	稼働率	92.9%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 13戸	令和元年度 13戸	令和2年度 12戸	令和3年度 13戸	令和4年度 14戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H8年10月時点)	14戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	13戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 7.1%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,879	100.0%	9,879	100.0%	9,879	100.0%
人件費	6,000	60.7%	6,000	60.7%	6,000	60.7%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,879	39.3%	3,879	39.3%	3,879	39.3%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,879	100.0%	9,879	100.0%	9,879	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,962	100.0%	2,113	100.0%	1,962	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,962	100.0%	2,113	100.0%	1,962	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,962	100.0%	2,113	100.0%	1,962	100.0%
年間コスト	▲ 7,916		▲ 7,765		▲ 7,916	

入居戸数	13 人	14 人	13 人
延床面積当たりコスト	8,696 円/m <sup>2</sup>	8,530 円/m <sup>2</sup>	8,696 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	608,944 円/人	554,665 円/人	608,944 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	46.2 %	57.0 %	58.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:大船渡地区教職員公舎				02:教職員公舎(6戸)								
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建						
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	228.79 m <sup>2</sup>				195.82 m <sup>2</sup>								
延床面積	419.36 m <sup>2</sup>				359.92 m <sup>2</sup>								
建築年月	1996年3月	耐用年数	47年		2002/	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修													
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機			給湯機								
		衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	非常用照明不点灯			非常用照明不点灯								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	井戸に雨水等の湧き水が流入			井戸に雨水等の湧き水が流入								
	電気設備												
	機械設備												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債							0百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、25年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	釜石高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	釜石市甲子町10-85-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積	949.21 m <sup>2</sup>		建築面積	212.44 m <sup>2</sup>	延床面積	385.23 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1964年9月		経過年数 (R7.4.1現在)	60 年	施設内棟数	6 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	釜石高等学校 松倉公舎			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	129.58 m <sup>2</sup>	延床面積	259.17 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1964年9月	法定耐用年数	38 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	4 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		8戸	8戸	4戸	3戸	3戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S39年10月時 点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	4戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	296	100.0%	296	100.0%	395	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	296	100.0%	296	100.0%	395	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	296	100.0%	296	100.0%	395	100.0%
年間コスト	▲ 5,704		▲ 5,704		▲ 5,605	

入居戸数	3 人	3 人	4 人
延床面積当たりコスト	14,807 円/m <sup>2</sup>	14,807 円/m <sup>2</sup>	14,551 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,901,360 円/人	1,901,360 円/人	1,401,360 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	55.1 %	57.5 %	59.6 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリートブロック塗膜仕上	テレビ共聴設備	給湯機			
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いる。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、60年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	釜石高等学校 教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	釜石市甲子町10-570-43		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域	
敷地面積	1,494.23 m <sup>2</sup>		建築面積	376.92 m <sup>2</sup>	延床面積	657.11 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1991年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	34 年	施設内棟数	3 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	釜石高等学校 甲子公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	332.21 m <sup>2</sup>	延床面積	612.40 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1991年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 8戸	令和2年度 8戸	令和3年度 8戸	令和4年度 8戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H3年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,793	100.0%	8,793	100.0%	8,793	100.0%
人件費	6,000	68.2%	6,000	68.2%	6,000	68.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,793	31.8%	2,793	31.8%	2,793	31.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,793	100.0%	8,793	100.0%	8,793	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,741	100.0%	1,741	100.0%	1,741	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,741	100.0%	1,741	100.0%	1,741	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,741	100.0%	1,741	100.0%	1,741	100.0%
年間コスト	▲ 7,051		▲ 7,051		▲ 7,051	

入居戸数	8 人	8 人	8 人
延床面積当たりコスト	10,731 円/m <sup>2</sup>	10,731 円/m <sup>2</sup>	10,731 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	881,403 円/人	881,403 円/人	881,403 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	55.1 %	57.5 %	59.6 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	テレビ共聴設備	給湯機			
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、30年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	釜石商工高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	釜石市大字平田2-25-295		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域	
敷地面積	2,030.83 m <sup>2</sup>		建築面積	465.39 m <sup>2</sup>	延床面積	1,184.91 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1981年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	44 年	施設内棟数	3 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	3階	地下			
	建築面積	359.76 m <sup>2</sup>	延床面積	1,079.28 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1981年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	18 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 18戸	令和元年度 18戸	令和2年度 15戸	令和3年度 13戸	令和4年度 15戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S56年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	18戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,680	100.0%	9,680	100.0%	9,680	100.0%
人件費	6,000	62.0%	6,000	62.0%	6,000	62.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,680	38.0%	3,680	38.0%	3,680	38.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,680	100.0%	9,680	100.0%	9,680	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,855	100.0%	2,140	100.0%	2,568	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,855	100.0%	2,140	100.0%	2,568	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,855	100.0%	2,140	100.0%	2,568	100.0%
年間コスト	▲ 7,826		▲ 7,540		▲ 7,112	

入居戸数	13 人	15 人	18 人
延床面積当たりコスト	6,604 円/m <sup>2</sup>	6,363 円/m <sup>2</sup>	6,002 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	601,962 円/人	502,676 円/人	395,117 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	54.8 %	60.5 %	62.2 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根シート防水	電灯動力設備	給湯機			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	遠野高等学校 遠野地区教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	遠野市下組町5-6		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域	
敷地面積	733.88 m <sup>2</sup>		建築面積	321.90 m <sup>2</sup>	延床面積	524.84 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1999年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	26 年	施設内棟数	2 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	遠野地区教職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	272.40 m <sup>2</sup>	延床面積	487.49 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1999年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断	不要	耐震改修	不要			
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	6 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 10戸	令和元年度 11戸	令和2年度 10戸	令和3年度 10戸	令和4年度 9戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H11年10月時点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	6戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%
						▲ 40.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,464	100.0%	8,464	100.0%	8,464	100.0%
人件費	6,000	70.9%	6,000	70.9%	6,000	70.9%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,464	29.1%	2,464	29.1%	2,464	29.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,464	100.0%	8,464	100.0%	8,464	100.0%
経常収益(直接的収入)	846	100.0%	761	100.0%	508	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	846	100.0%	761	100.0%	508	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	846	100.0%	761	100.0%	508	100.0%
年間コスト	▲ 7,618		▲ 7,703		▲ 7,956	

入居戸数	10 人	9 人	6 人
延床面積当たりコスト	14,515 円/m <sup>2</sup>	14,676 円/m <sup>2</sup>	15,160 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	761,797 円/人	855,841 円/人	1,326,062 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	63.9 %	65.7 %	67.6 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根瓦葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	隣地境界ブロック塀、フェンスの破損	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、25年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	大槌高等学校 教職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	釜石市鵜住居町3-304		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	1,465.39 m <sup>2</sup>		建築面積	347.01 m <sup>2</sup>	延床面積	839.70 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	2019年5月		経過年数 (R7.4.1現在)	5 年	施設内棟数	4 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有			大規模改修	無	
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	教職員住宅				
	構造	RC造	種目	住宅建	現況写真	
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	301.91 m <sup>2</sup>	延床面積	794.60 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	2019年5月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					



## 2 利用状況

R 5 利 用 状 況	入居戸数	14 戸		入居可能戸数	16 戸	
	稼働率	87.5%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			9戸	9戸	11戸	9戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (R1年10月時点)	9戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	14戸	増減率 (マクロデータ)

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるもののは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度	令和4年度		令和5年度		
		構成比	構成比	構成比	構成比	
経常費用	14,388	100.0%	25,894	100.0%	25,894	100.0%
人件費	6,000	41.7%	6,000	23.2%	6,000	23.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	8,388	58.3%	19,894	76.8%	19,894	76.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	14,388	100.0%	25,894	100.0%	25,894	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,579	100.0%	2,110	100.0%	3,282	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,579	100.0%	2,110	100.0%	3,282	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,579	100.0%	2,110	100.0%	3,282	100.0%
年間コスト	▲ 11,809		▲ 23,784		▲ 22,612	

入居戸数	11	人	9	人	14	人
延床面積当たりコスト	14,063	円/m <sup>2</sup>	28,325	円/m <sup>2</sup>	26,929	円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,073,542	円/人	2,642,681	円/人	1,615,145	円/人
(参考)県民1人当たりコスト	10	円/人	20	円/人	19	円/人
有形固定資産減価償却率	68.5	%	55.1	%	57.1	%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリートブロック塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	山田高等学校 職員住宅		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
所在地	下閉伊郡山田町船越6-159-46		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積	1,530.47 m <sup>2</sup>		建築面積	285.16 m <sup>2</sup>	延床面積	533.59 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1987年4月		経過年数 (R7.4.1現在)	38年	施設内棟数	4棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	103.70 m <sup>2</sup>	延床面積	207.40 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1987年4月	法定耐用年数	47年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	4 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		8戸	8戸	7戸	7戸	4戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S62年10月時 点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	4戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,082	100.0%	9,094	100.0%	9,094	100.0%
人件費	6,000	74.2%	6,000	66.0%	6,000	66.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,082	25.8%	3,094	34.0%	3,094	34.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,082	100.0%	9,094	100.0%	9,094	100.0%
経常収益(直接的収入)	860	100.0%	492	100.0%	492	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	860	100.0%	492	100.0%	492	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	860	100.0%	492	100.0%	492	100.0%
年間コスト	▲ 7,222		▲ 8,602		▲ 8,602	

入居戸数	7 人	4 人	4 人
延床面積当たりコスト	13,535 円/m <sup>2</sup>	16,121 円/m <sup>2</sup>	16,121 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,031,713 円/人	2,150,463 円/人	2,150,463 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	85.4 %	87.3 %	89.3 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅				02:職員住宅							
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下	
建築面積	103.70 m <sup>2</sup>				143.38 m <sup>2</sup>							
延床面積	207.40 m <sup>2</sup>				288.11 m <sup>2</sup>							
建築年月	1987年4月	耐用年数	47年		1987年4月	耐用年数	47年			耐用年数		
耐震診断 / 耐震改修												
その他特記事項												
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺							
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上							
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備							
		自動火災報知設備			自動火災報知設備							
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備							
	機械設備	給湯機			給湯機							
		衛生器具			衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行							
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行							
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要							
定期点検	建築	非常用照明不点灯 鼻隠し外れ			指摘事項なし							
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築											
	電気設備											
直近5年の維持修繕・改修費	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		合計	
	国庫										0百万円	
	県債										0百万円	
	一般財源		24百万円								24百万円	
	その他										0百万円	
計		0百万円		24百万円		0百万円		0百万円		24百万円		

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、35年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古高等学校 職員住宅1		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	宮古市高浜2-116-4		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積			建築面積	472.40 m <sup>2</sup>	延床面積	1,200.82 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1976年11月		経過年数 (R7.4.1現在)	48 年	施設内棟数	4 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	364.21 m <sup>2</sup>	延床面積	1,092.63 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1976年11月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	17 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	94.4%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		18戸	18戸	17戸	18戸	17戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S51年10月時点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	17戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 5.6%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,726	100.0%	7,694	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	61.7%	6,000	78.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,726	38.3%	1,694	22.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,726	100.0%	7,694	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,607	100.0%	2,462	100.0%	2,462	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,607	100.0%	2,462	100.0%	2,462	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,607	100.0%	2,462	100.0%	2,462	100.0%
年間コスト	▲ 7,119		▲ 5,231		▲ 3,538	

入居戸数	18 人	17 人	17 人
延床面積当たりコスト	5,928 円/m <sup>2</sup>	4,356 円/m <sup>2</sup>	2,946 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	395,486 円/人	307,724 円/人	208,101 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	4 円/人	3 円/人
有形固定資産減価償却率	89.5 %	90.4 %	91.2 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	手摺の固定部劣化	照明器具のLED化未実施	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、45年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古高等学校 職員住宅2			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	宮古市西ヶ丘2-15-3			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積				建築面積	531.51 m <sup>2</sup>	延床面積	1,378.23 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1983年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	42 年	施設内棟数	3 棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	3階	地下			
	建築面積	425.88 m <sup>2</sup>	延床面積	1,272.60 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1983年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	17 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	94.4%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 18戸	令和元年度 18戸	令和2年度 18戸	令和3年度 18戸	令和4年度 18戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S58年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	17戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 5.6%
						▲ 5.6%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	10,340	100.0%	10,340	100.0%	10,340	100.0%
人件費	6,000	58.0%	6,000	58.0%	6,000	58.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	4,340	42.0%	4,340	42.0%	4,340	42.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	10,340	100.0%	10,340	100.0%	10,340	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,918	100.0%	2,918	100.0%	2,756	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,918	100.0%	2,918	100.0%	2,756	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,918	100.0%	2,918	100.0%	2,756	100.0%
年間コスト	▲ 7,421		▲ 7,421		▲ 7,584	

入居戸数	18 人	18 人	17 人
延床面積当たりコスト	5,385 円/m <sup>2</sup>	5,385 円/m <sup>2</sup>	5,502 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	412,300 円/人	412,300 円/人	446,090 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	89.5 %	90.4 %	91.2 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外壁鉄筋爆裂	照明器具のLED化未実施	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古商工高等学校 職員住宅1		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	宮古市大字津軽石4-82-13		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積	1,360.69 m <sup>2</sup>		建築面積	192.60 m <sup>2</sup>	延床面積	355.44 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1973年7月		経過年数 (R7.4.1現在)	51 年	施設内棟数	2 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	162.84 m <sup>2</sup>	延床面積	325.68 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1973年7月	法定耐用年数	38 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	3 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 4戸	令和元年度 5戸	令和2年度 6戸	令和3年度 5戸	令和4年度 3戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S48年10月時 点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	3戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%
						▲ 34.8%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	724	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	724	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	724	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
年間コスト	▲ 5,276		▲ 5,565		▲ 5,565	

入居戸数	5 人	3 人	3 人
延床面積当たりコスト	14,843 円/m <sup>2</sup>	15,658 円/m <sup>2</sup>	15,658 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,055,160 円/人	1,855,160 円/人	1,855,160 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	4 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	90.0 %	90.9 %	91.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁モルタル仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いる。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、50年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古商工高等学校 職員住宅2		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	宮古市大字津軽石6-9-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積			建築面積	197.40 m <sup>2</sup>	延床面積	362.64 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1975年5月		経過年数 (R7.4.1現在)	49年	施設内棟数	4棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	110.96 m <sup>2</sup>	延床面積	221.92 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1975年5月	法定耐用年数	38年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	3 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	50.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 6戸	令和元年度 6戸	令和2年度 6戸	令和3年度 6戸	令和4年度 5戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S50年10月時 点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	3戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 50.0%
						▲ 48.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	882	100.0%	735	100.0%	441	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	882	100.0%	735	100.0%	441	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	882	100.0%	735	100.0%	441	100.0%
年間コスト	▲ 5,118		▲ 5,265		▲ 5,559	

入居戸数	6 人	5 人	3 人
延床面積当たりコスト	14,113 円/m <sup>2</sup>	14,519 円/m <sup>2</sup>	15,329 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	853,000 円/人	1,053,000 円/人	1,853,000 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	4 円/人	4 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	90.0 %	90.9 %	91.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁モルタル仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いる。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、45年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	宮古水産高等学校 職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	宮古市山口3-10-3		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域
敷地面積	959.92 m <sup>2</sup>		建築面積	232.24 m <sup>2</sup>	延床面積	679.50 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1994年4月		経過年数 (R7.4.1現在)	30 年	施設内棟数	1 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備				大規模改修		
使用許可等の有無						
主要棟	名称	職員公舎			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	232.24 m <sup>2</sup>	延床面積	679.50 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1994年4月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		8戸	8戸	8戸	7戸	6戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H6年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,988	100.0%	8,988	100.0%	8,988	100.0%
人件費	6,000	66.8%	6,000	66.8%	6,000	66.8%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,988	33.2%	2,988	33.2%	2,988	33.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,988	100.0%	8,988	100.0%	8,988	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,523	100.0%	1,306	100.0%	1,741	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,523	100.0%	1,306	100.0%	1,741	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,523	100.0%	1,306	100.0%	1,741	100.0%
年間コスト	▲ 7,464		▲ 7,682		▲ 7,247	

入居戸数	7 人	6 人	8 人
延床面積当たりコスト	10,985 円/m <sup>2</sup>	11,305 円/m <sup>2</sup>	10,665 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,066,319 円/人	1,280,312 円/人	905,824 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	7 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	90.5 %	91.5 %	92.4 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根シート防水	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が著しく	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	進行している。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	共用階段室の非常用照明不点灯	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、30年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	岩泉高等学校 職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	下閉伊郡岩泉町岩泉字中家47-4		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域	
敷地面積	1,169.77 m <sup>2</sup>		建築面積	259.38 m <sup>2</sup>	延床面積	370.06 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	2003年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	22 年	施設内棟数	2 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	229.76 m <sup>2</sup>	延床面積	340.44 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	2003年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	6 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 6戸	令和元年度 6戸	令和2年度 6戸	令和3年度 6戸	令和4年度 6戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H15年10月時 点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	6戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	7,425	100.0%	7,427	100.0%	7,427	100.0%
人件費	6,000	80.8%	6,000	80.8%	6,000	80.8%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	1,425	19.2%	1,427	19.2%	1,427	19.2%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	7,425	100.0%	7,427	100.0%	7,427	100.0%
経常収益(直接的収入)	797	100.0%	797	100.0%	797	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	797	100.0%	797	100.0%	797	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	797	100.0%	797	100.0%	797	100.0%
年間コスト	▲ 6,628		▲ 6,630		▲ 6,630	

入居戸数	6 人	6 人	6 人
延床面積当たりコスト	17,909 円/m <sup>2</sup>	17,917 円/m <sup>2</sup>	17,917 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,104,598 円/人	1,105,060 円/人	1,105,060 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	85.3 %	86.6 %	87.8 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、25年経過を目安に総			
			合的な改修が必要			
定期点検	外壁塗膜劣化	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、20年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※長寿命化対策の内容については、作成時点での予定であり、今後変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈高等学校 久慈地区教職員住宅1		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	久慈市天神堂37-191-1		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域	
敷地面積	949.58 m <sup>2</sup>		建築面積	264.18 m <sup>2</sup>	延床面積	453.56 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1998年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	27年	施設内棟数	4棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	久慈地区教職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	117.19 m <sup>2</sup>	延床面積	211.88 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1998年3月	法定耐用年数	47年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 8戸	令和2年度 7戸	令和3年度 8戸	令和4年度 8戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H10年10月時 点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,638	100.0%	8,638	100.0%	8,638	100.0%
人件費	6,000	69.5%	6,000	69.5%	6,000	69.5%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,638	30.5%	2,638	30.5%	2,638	30.5%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,638	100.0%	8,638	100.0%	8,638	100.0%
経常収益(直接的収入)	907	100.0%	907	100.0%	907	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	907	100.0%	907	100.0%	907	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	907	100.0%	907	100.0%	907	100.0%
年間コスト	▲ 7,731		▲ 7,731		▲ 7,731	

入居戸数	8 人	8 人	8 人
延床面積当たりコスト	17,045 円/m <sup>2</sup>	17,045 円/m <sup>2</sup>	17,045 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	966,342 円/人	966,342 円/人	966,342 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	44.6 %	46.8 %	49.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:久慈地区教職員住宅				02:久慈地区教職員住宅							
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建					
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下	
建築面積	117.19 m <sup>2</sup>				117.19 m <sup>2</sup>							
延床面積	211.88 m <sup>2</sup>				211.88 m <sup>2</sup>							
建築年月	1998年3月	耐用年数	47年		1998年3月	耐用年数	47年			耐用年数		
耐震診断 / 耐震改修												
その他特記事項												
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺							
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上							
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備							
		自動火災報知設備			自動火災報知設備							
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備							
	機械設備	給湯機			給湯機							
		衛生器具			衛生器具							
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して							
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。							
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行							
	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行							
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要							
定期点検	建築	指摘事項なし			指摘事項なし							
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし							
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし							
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築											
	電気設備											
	機械設備											
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計					
国庫							0百万円					
県債							0百万円					
一般財源							0百万円					
その他							0百万円					
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円					

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、20年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈高等学校 久慈地区職員住宅2		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	久慈市寺里30-71-8		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域	
敷地面積	2,997.51 m <sup>2</sup>		建築面積	665.86 m <sup>2</sup>	延床面積	1,254.58 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1987年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	38年	施設内棟数	4棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	久慈地区職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	207.40 m <sup>2</sup>	延床面積	414.80 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1987年3月	法定耐用年数	47年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	18 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 18戸	令和元年度 17戸	令和2年度 17戸	令和3年度 17戸	令和4年度 18戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S62年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	18戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	10,633	100.0%	10,633	100.0%	10,633	100.0%
人件費	6,000	56.4%	6,000	56.4%	6,000	56.4%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	4,633	43.6%	4,633	43.6%	4,633	43.6%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	10,633	100.0%	10,633	100.0%	10,633	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,282	100.0%	2,416	100.0%	2,416	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,282	100.0%	2,416	100.0%	2,416	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,282	100.0%	2,416	100.0%	2,416	100.0%
年間コスト	▲ 8,352		▲ 8,217		▲ 8,217	

入居戸数	17 人	18 人	18 人
延床面積当たりコスト	6,657 円/m <sup>2</sup>	6,550 円/m <sup>2</sup>	6,550 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	491,266 円/人	456,517 円/人	456,517 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	44.6 %	46.8 %	49.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:久慈地区職員住宅				02:久慈地区職員住宅												
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建										
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下						
建築面積	207.40 m <sup>2</sup>				377.32 m <sup>2</sup>												
延床面積	414.80 m <sup>2</sup>				758.64 m <sup>2</sup>												
建築年月	1987年4月	耐用年数	47年		1987年4月	耐用年数	47年			耐用年数							
耐震診断 / 耐震改修																	
その他特記事項																	
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺												
		外壁コンクリート塗膜仕上			外壁コンクリート塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備												
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備												
	機械設備	給湯機			給湯機												
		衛生器具			衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	機械設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	ガスボンベ庫の発錆			ガスボンベ庫の発錆												
	電気設備	共用外灯不点灯			共用外灯不点灯												
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし												
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計										
国庫							0百万円										
県債							0百万円										
一般財源							0百万円										
その他							0百万円										
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円										

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、35年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈高等学校 職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	久慈市寺里30-45-12		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域	
敷地面積	1,110.50 m <sup>2</sup>		建築面積	269.31 m <sup>2</sup>	延床面積	448.51 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1994年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	31 年	施設内棟数	2 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	239.50 m <sup>2</sup>	延床面積	418.70 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1994年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 8戸	令和2年度 8戸	令和3年度 8戸	令和4年度 8戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H6年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,549	100.0%	8,549	100.0%	8,549	100.0%
人件費	6,000	70.2%	6,000	70.2%	6,000	70.2%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,549	29.8%	2,549	29.8%	2,549	29.8%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,549	100.0%	8,549	100.0%	8,549	100.0%
経常収益(直接的収入)	816	100.0%	816	100.0%	816	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	816	100.0%	816	100.0%	816	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	816	100.0%	816	100.0%	816	100.0%
年間コスト	▲ 7,733		▲ 7,733		▲ 7,733	

入居戸数	8 人	8 人	8 人
延床面積当たりコスト	17,242 円/m <sup>2</sup>	17,242 円/m <sup>2</sup>	17,242 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	966,673 円/人	966,673 円/人	966,673 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	44.6 %	46.8 %	49.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯器			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
	排水溝が劣化し詰まりが頻発している。					
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、30年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈翔北高等学校門前校舎 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	久慈市門前37-5-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積	3,068.15 m <sup>2</sup>		建築面積	457.19 m <sup>2</sup>	延床面積	1,176.71 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1981年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	44 年	施設内棟数	3 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	無		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	359.76 m <sup>2</sup>	延床面積	1,079.28 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1981年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	18 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 18戸	令和元年度 18戸	令和2年度 18戸	令和3年度 18戸	令和4年度 18戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S56年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	18戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,680	100.0%	9,680	100.0%	9,680	100.0%
人件費	6,000	62.0%	6,000	62.0%	6,000	62.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,680	38.0%	3,680	38.0%	3,680	38.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,680	100.0%	9,680	100.0%	9,680	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,568	100.0%	2,568	100.0%	2,568	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,568	100.0%	2,568	100.0%	2,568	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,568	100.0%	2,568	100.0%	2,568	100.0%
年間コスト	▲ 7,112		▲ 7,112		▲ 7,112	

入居戸数	18 人	18 人	18 人
延床面積当たりコスト	6,044 円/m <sup>2</sup>	6,044 円/m <sup>2</sup>	6,044 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	395,117 円/人	395,117 円/人	395,117 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	59.3 %	61.3 %	63.3 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外壁鉄筋の発錆	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、44年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈翔北高等学校野田校舎 職員公舎			策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
所在地	九戸郡野田村大字野田21-134-1			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外			防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	2,922.15 m <sup>2</sup>			建築面積	495.43 m <sup>2</sup>	延床面積	1,257.35 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1980年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	45 年	施設内棟数	6 棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、教職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	職員住宅			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	3階	地下			
	建築面積	239.84 m <sup>2</sup>	延床面積	719.52 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1980年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	9 戸		入居可能戸数	19 戸	
	稼働率	47.4%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 14戸	令和元年度 15戸	令和2年度 12戸	令和3年度 14戸	令和4年度 17戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S55年10月時 点)	19戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	9戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 52.6%
						▲ 37.5%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	9,956	100.0%	9,900	100.0%	9,900	100.0%
人件費	6,000	60.3%	6,000	60.6%	6,000	60.6%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	3,956	39.7%	3,900	39.4%	3,900	39.4%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	9,956	100.0%	9,900	100.0%	9,900	100.0%
経常収益(直接的収入)	2,134	100.0%	2,591	100.0%	1,372	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	2,134	100.0%	2,591	100.0%	1,372	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	2,134	100.0%	2,591	100.0%	1,372	100.0%
年間コスト	▲ 7,822		▲ 7,309		▲ 8,528	

入居戸数	14 人	17 人	9 人
延床面積当たりコスト	6,221 円/m <sup>2</sup>	5,813 円/m <sup>2</sup>	6,783 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	558,742 円/人	429,958 円/人	947,609 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	85.7 %	87.8 %	89.2 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅				02:職員住宅								
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建						
階数	地上	3階	地下	0階	地上	3階	地下	0階	地上		地下		
建築面積	239.84 m <sup>2</sup>				141.96 m <sup>2</sup>								
延床面積	719.52 m <sup>2</sup>				424.20 m <sup>2</sup>								
建築年月	1980年3月	耐用年数	47年		1983年3月	耐用年数	47年			耐用年数			
耐震診断 / 耐震改修													
その他特記事項													
主な建築・設備	建築	屋根シート防水			屋根鋼板葺								
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上								
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備								
		自動火災報知設備			自動火災報知設備								
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備								
	機械設備	給湯機			給湯機								
		衛生器具			衛生器具								
劣化度調査	建築	防水や外壁の老朽化が進行して			防水や外壁の老朽化が進行して								
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。								
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
定期点検	建築	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行								
		しており、総合的な改修が必要			しており、総合的な改修が必要								
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築	指摘事項なし			高架水槽オーバーフロー管の腐食 外壁塗膜剥離								
	電気設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
	機械設備	指摘事項なし			指摘事項なし								
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計						
国庫							0百万円						
県債							0百万円						
一般財源							0百万円						
その他							0百万円						
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円						

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	軽米高等学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	九戸郡軽米町大字軽米7-1-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積			建築面積	323.48 m <sup>2</sup>	延床面積	802.80 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1982年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	43 年	施設内棟数	4 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、教職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	3階	地下		
	建築面積	239.66 m <sup>2</sup>	延床面積	718.98 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1982年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	10戸		入居可能戸数	12戸	
	稼働率	83.3%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 10戸	令和2年度 9戸	令和3年度 9戸	令和4年度 10戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S57年10月時 点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	10戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 16.7%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,466	100.0%	8,466	100.0%	8,466	100.0%
人件費	6,000	70.9%	6,000	70.9%	6,000	70.9%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,466	29.1%	2,466	29.1%	2,466	29.1%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,466	100.0%	8,466	100.0%	8,466	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,284	100.0%	1,427	100.0%	1,427	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,284	100.0%	1,427	100.0%	1,427	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,284	100.0%	1,427	100.0%	1,427	100.0%
年間コスト	▲ 7,182		▲ 7,039		▲ 7,039	

入居戸数	9人	10人	10人
延床面積当たりコスト	8,946円/m <sup>2</sup>	8,769円/m <sup>2</sup>	8,769円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	798,014円/人	703,945円/人	703,945円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6円/人	6円/人	6円/人
有形固定資産減価償却率	92.6%	93.6%	94.5%

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	外壁の老朽化が進行して	テレビ共聴設備	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外壁塗膜剥離	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
		入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。		

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	福岡高等学校 福岡地区教職員公舎			策定年月	R3.3	最終更新	R7.12
所在地	二戸市福岡字長嶺107-3			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内			防火地域	指定なし	用途地域	第一種住居地域
敷地面積	1,300.77 m <sup>2</sup>			建築面積	368.09 m <sup>2</sup>	延床面積	952.73 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1989年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	36 年	施設内棟数	3 棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、教職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり(2室以上)		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	福岡地区教職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	3階	地下			
	建築面積	292.32 m <sup>2</sup>	延床面積	876.96 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1989年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	9 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	75.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 5戸	令和元年度 5戸	令和2年度 9戸	令和3年度 3戸	令和4年度 7戸 増減率 (R5/過去5年平均) 55.2%
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H1年10月時点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	9戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 25.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,998	100.0%	8,998	100.0%	8,998	100.0%
人件費	6,000	66.7%	6,000	66.7%	6,000	66.7%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,998	33.3%	2,998	33.3%	2,998	33.3%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,998	100.0%	8,998	100.0%	8,998	100.0%
経常収益(直接的収入)	499	100.0%	1,165	100.0%	1,498	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	499	100.0%	1,165	100.0%	1,498	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	499	100.0%	1,165	100.0%	1,498	100.0%
年間コスト	▲ 8,498		▲ 7,832		▲ 7,500	

入居戸数	3 人	7 人	9 人
延床面積当たりコスト	8,920 円/m <sup>2</sup>	8,221 円/m <sup>2</sup>	7,872 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	2,832,749 円/人	1,118,927 円/人	833,290 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	87.6 %	89.0 %	90.4 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	衛生器具			
	コンクリート外壁塗膜仕上	自動火災報知設備	給湯機			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	外壁の老朽化が進行しているが、構造躯体は概ね健全。	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
			しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、36年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡聴覚支援学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	盛岡市乙部4-101-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	2,085.55 m <sup>2</sup>		建築面積	401.93 m <sup>2</sup>	延床面積	900.37 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1976年5月		経過年数 (R7.4.1現在)	48年	施設内棟数	5棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	4階	地下		
	建築面積	242.81 m <sup>2</sup>	延床面積	741.25 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1976年5月	法定耐用年数	47年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	3 戸		入居可能戸数	12 戸	
	稼働率	25.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 7戸	令和2年度 6戸	令和3年度 4戸	令和4年度 3戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S51年10月時点)	12戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	3戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 75.0%
						▲ 46.4%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,528	100.0%	7,149	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	70.4%	6,000	83.9%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,528	29.6%	1,149	16.1%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,528	100.0%	7,149	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	579	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	579	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	579	100.0%	435	100.0%	435	100.0%
年間コスト	▲ 7,948		▲ 6,714		▲ 5,565	

入居戸数	4 人	3 人	3 人
延床面積当たりコスト	8,828 円/m <sup>2</sup>	7,457 円/m <sup>2</sup>	6,181 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,987,076 円/人	2,238,146 円/人	1,855,160 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	6 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	92.0 %	93.4 %	94.3 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	外壁コンクリートのひび割れ	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(利用状況)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居者数が減少しており、廃止を視野に入れた見直しが必要。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、40年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	盛岡みたけ支援学校奥中山校 公舎		策定年月	R3.3	最終更新	R7.12	
所在地	二戸郡一戸町奥中山字西田子1196		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし	
敷地面積	1,388.02 m <sup>2</sup>		建築面積	209.76 m <sup>2</sup>	延床面積	384.03 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1992年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	33 年	施設内棟数	3 棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	143.15 m <sup>2</sup>	延床面積	263.14 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1992年3月	法定耐用年数	47 年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	1 戸		入居可能戸数	6 戸	
	稼働率	16.7%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		3戸	2戸	2戸	3戸	2戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※職員数	開設当時【A】 (H4年10月時点)	6戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	1戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 83.3%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	7,080	100.0%	7,038	100.0%	7,038	100.0%
人件費	6,000	84.7%	6,000	85.3%	6,000	85.3%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	1,080	15.3%	1,038	14.7%	1,038	14.7%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	7,080	100.0%	7,038	100.0%	7,038	100.0%
経常収益(直接的収入)	461	100.0%	307	100.0%	154	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	461	100.0%	307	100.0%	154	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	461	100.0%	307	100.0%	154	100.0%
年間コスト	▲ 6,619		▲ 6,730		▲ 6,884	

入居戸数	3 人	2 人	1 人
延床面積当たりコスト	17,236 円/m <sup>2</sup>	17,526 円/m <sup>2</sup>	17,926 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	2,206,438 円/人	3,365,211 円/人	6,884,101 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	6 円/人
有形固定資産減価償却率	75.7 %	74.7 %	74.3 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	サッシ周りの外壁クラック	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居者数が減少しており、廃止を視野に入れた見直しが必要だが、立地場所の特性も考慮した検討が必要。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、33年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	花巻清風支援学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	花巻市太田27-58-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外		防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	61,847.00 m <sup>2</sup>		建築面積	608.17 m <sup>2</sup>	延床面積	1,041.85 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1973年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	51 年	施設内棟数	16 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	108.56 m <sup>2</sup>	延床面積	217.12 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1973年10月	法定耐用年数	38 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	0 戸		入居可能戸数	16 戸	
	稼働率	0.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 2戸	令和元年度 2戸	令和2年度 2戸	令和3年度 2戸	令和4年度 1戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S48年10月時 点)	16戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	0戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 100.0%
						▲ 100.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	294	100.0%	147	100.0%	0	-
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	294	100.0%	147	100.0%	0	-
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	-
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	-
収入合計	294	100.0%	147	100.0%	0	-
年間コスト	▲ 5,706		▲ 5,853		▲ 6,000	

入居戸数	2 人	1 人	0 人
延床面積当たりコスト	5,477 円/m <sup>2</sup>	5,618 円/m <sup>2</sup>	5,759 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	2,853,000 円/人	5,853,000 円/人	6,000,000 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	72.3 %	73.9 %	75.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁モルタル仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	低
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	廃止	建物の方針	売却・移管
	施設の老朽化及び入居者がいないことなどから、廃止を視野に入れた検討が必要。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	廃止を検討していくため、最低限の維持管理を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	前沢明峰支援学校 前沢地区教職員公舎		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12	
所在地	奥州市前沢平前40-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産	
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当	
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種低層住居専用地域	
敷地面積	1,729.06 m <sup>2</sup>		建築面積	271.03 m <sup>2</sup>	延床面積	463.67 m <sup>2</sup>	
竣工年度 (建築年月)	1996年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	29年	施設内棟数	2棟	
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	無			大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	前沢地区教職員公舎			現況写真		
	構造	RC造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	226.32 m <sup>2</sup>	延床面積	418.96 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1996年3月	法定耐用年数	47年			
	耐震診断		耐震改修				
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	8 戸		入居可能戸数	8 戸	
	稼働率	100.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 8戸	令和元年度 8戸	令和2年度 8戸	令和3年度 8戸	令和4年度 8戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H8年10月時点)	8戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	8戸	増減率 (マクロデータ) 0.0

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	8,412	100.0%	8,352	100.0%	8,532	100.0%
人件費	6,000	71.3%	6,000	71.8%	6,000	70.3%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	2,412	28.7%	2,352	28.2%	2,532	29.7%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	8,412	100.0%	8,352	100.0%	8,532	100.0%
経常収益(直接的収入)	938	100.0%	938	100.0%	938	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	938	100.0%	938	100.0%	938	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	938	100.0%	938	100.0%	938	100.0%
年間コスト	▲ 7,474		▲ 7,415		▲ 7,595	

入居戸数	8 人	8 人	8 人
延床面積当たりコスト	16,119 円/m <sup>2</sup>	15,991 円/m <sup>2</sup>	16,379 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	934,251 円/人	926,818 円/人	949,318 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	6 円/人	6 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	57.4 %	59.9 %	62.4 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺き	電灯動力設備	給湯機			
	外壁コンクリート塗膜仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	ベランダ手摺、笠木のカバー外れ	指摘事項なし	指摘事項なし			
	外壁ひび割れ					
	共用階段室非常用照明不点灯					
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	改善・見直し(経費効率)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、20年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	気仙光陵支援学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	大船渡市立根町字田ノ上3-2		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	第一種中高層住居専用地域
敷地面積			建築面積	815.98 m <sup>2</sup>	延床面積	1,377.49 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1988年3月		経過年数 (R7.4.1現在)	37 年	施設内棟数	7 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有	空室あり(2室以上)	大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅1号棟			現況写真	
	構造	RC造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	459.25 m <sup>2</sup>	延床面積	879.46 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1988年3月	法定耐用年数	47 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	16 戸		入居可能戸数	18 戸	
	稼働率	88.9%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 17戸	令和元年度 14戸	令和2年度 10戸	令和3年度 12戸	令和4年度 13戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S63年10月時 点)	18戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	16戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 11.1%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	10,320	100.0%	10,320	100.0%	10,320	100.0%
人件費	6,000	58.1%	6,000	58.1%	6,000	58.1%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	4,320	41.9%	4,320	41.9%	4,320	41.9%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	10,320	100.0%	10,320	100.0%	10,320	100.0%
経常収益(直接的収入)	1,402	100.0%	1,519	100.0%	1,869	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1,402	100.0%	1,519	100.0%	1,869	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	1,402	100.0%	1,519	100.0%	1,869	100.0%
年間コスト	▲ 8,918		▲ 8,801		▲ 8,451	

入居戸数	12 人	13 人	16 人
延床面積当たりコスト	6,474 円/m <sup>2</sup>	6,389 円/m <sup>2</sup>	6,135 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	743,170 円/人	677,017 円/人	528,172 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	7 円/人	7 円/人	7 円/人
有形固定資産減価償却率	72.0 %	74.3 %	76.5 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

番号:建物名称	01:職員住宅1号棟				02:職員住宅2号棟												
構造 / 種目	RC造		住宅建		RC造		住宅建										
階数	地上	2階	地下	0階	地上	2階	地下	0階	地上		地下						
建築面積	459.25 m <sup>2</sup>				176.66 m <sup>2</sup>												
延床面積	879.46 m <sup>2</sup>				322.22 m <sup>2</sup>												
建築年月	1988年3月	耐用年数	47年		1988年3月	耐用年数	47年			耐用年数							
耐震診断 / 耐震改修																	
その他特記事項																	
主な建築・設備	建築	屋根鋼板葺			屋根鋼板葺												
		コンクリート外壁塗膜仕上			コンクリート外壁塗膜仕上												
	電気設備	電灯動力設備			電灯動力設備												
		自動火災報知設備			自動火災報知設備												
		テレビ共聴設備			テレビ共聴設備												
	機械設備	給湯機			給湯機												
		衛生器具			衛生器具												
劣化度調査	建築	屋根や外壁の老朽化が進行して			屋根や外壁の老朽化が進行して												
		いるが、構造躯体は概ね健全。			いるが、構造躯体は概ね健全。												
	電気設備	経年劣化による機能低下が進行			経年劣化による機能低下が進行												
定期点検	建築	屋根塗膜劣化 外壁コンクリート剥離、塗膜剥離 内壁ひび割れ			屋根塗膜劣化 外壁塗膜剥離												
		電気設備			照明器具老朽化												
		機械設備			浄化槽制御盤内部の錆 浄化槽放流ポンプの劣化												
改修・ 大規模修繕等 工事履歴 【百万円】	建築																
	電気設備																
直近5年の維持修繕・改修費		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計										
国庫							0百万円										
県債							0百万円										
一般財源							0百万円										
その他							0百万円										
計		0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円										

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	現状維持	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	現状維持	代替の可能性	低

## 6 今後の方向性(たたき台)

施設全体の方針	機能の方向性	現状維持	建物の方向性	現状維持
	入居率が高いこともあり、当面は維持するが、将来的には、廃止も含めあり方を検討していく必要がある。			

## 7 長寿命化等対策の方向性等

長寿命化等対策の方向性	当面は現状維持とするが、37年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	4 百万円	37 百万円	0 百万円	41 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源			4 百万円	37 百万円		41 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	釜石祥雲支援学校 職員住宅		策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	釜石市大字平田5-39-4,40-6		施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室		運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域内		防火地域	指定なし	用途地域	一種低層住居専用地
敷地面積	1,970.37 m <sup>2</sup>		建築面積	416.16 m <sup>2</sup>	延床面積	762.88 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1973年10月		経過年数 (R7.4.1現在)	51 年	施設内棟数	6 棟
設置根拠	無					
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。					
施設の概況						
未利用設備	有		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無					
主要棟	名称	職員住宅			現況写真	
	構造	CB造	種目	住宅建		
	階数	地上	2階	地下		
	建築面積	217.12 m <sup>2</sup>	延床面積	434.24 m <sup>2</sup>		
	建築年月日	1973年10月	法定耐用年数	38 年		
	耐震診断		耐震改修			
	その他特記事項					

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	0 戸		入居可能戸数	14 戸	
	稼働率	0.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度 3戸	令和元年度 0戸	令和2年度 0戸	令和3年度 0戸	令和4年度 0戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (S48年10月時 点)	14戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	0戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 100.0%
						▲ 100.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	0 -		0 -		0 -	
使用料・手数料	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
臨時利益(直接的収入)	0 -		0 -		0 -	
資産売却益	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
補助金等(間接的収入)	0 -		0 -		0 -	
国庫補助金	0 -		0 -		0 -	
その他	0 -		0 -		0 -	
収入合計	0 -		0 -		0 -	
年間コスト	▲ 6,000		▲ 6,000		▲ 6,000	

入居戸数	0 人	0 人	0 人
延床面積当たりコスト	7,865 円/m <sup>2</sup>	7,865 円/m <sup>2</sup>	7,865 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	6,000,000 円/人	6,000,000 円/人	6,000,000 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	78.6 %	16.6 %	20.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯機			
	外壁モルタル仕上	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋上防水や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】						
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源						0百万円
その他						0百万円
計	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	低
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	廃止	建物の方針	売却・移管
	施設の老朽化及び入居者がいないことなどから、廃止を視野に入れた検討が必要。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	廃止を検討していくため、最低限の維持管理を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。

## 1 施設概要

施設名称	久慈拓陽支援学校 教職員公舎			策定年月	R2.3	最終更新	R7.12
所在地	久慈市湊町21-32-2,32-1			施設類型	学校施設	財産区分	行政財産
所管課	教育企画室			運営形態	直営	防災施設等指定	非該当
都市計画区域	都市計画区域外			防火地域	指定なし	用途地域	指定なし
敷地面積	929.62 m <sup>2</sup>			建築面積	452.14 m <sup>2</sup>	延床面積	487.74 m <sup>2</sup>
竣工年度 (建築年月)	1990年3月			経過年数 (R7.4.1現在)	35 年	施設内棟数	4 棟
設置根拠	無						
設置目的	人事異動に伴う職員の負担軽減等、県の事務や事業を円滑に運営するとともに、職員の厚生福利に資するため、県職員及びその家族を居住する宿舎を設置。						
施設の概況							
未利用設備	有	空室あり		大規模改修	無		
使用許可等の有無	無						
主要棟	名称	教職員公舎			現況写真		
	構造	W造	種目	住宅建			
	階数	地上	2階	地下			
	建築面積	215.30 m <sup>2</sup>	延床面積	261.66 m <sup>2</sup>			
	建築年月日	1990年3月	法定耐用年数	22 年			
	耐震診断	不要	耐震改修	不要			
	その他特記事項						

## 2 利用状況

R5 利用状況	入居戸数	3 戸		入居可能戸数	4 戸	
	稼働率	75.0%				
	入居戸数の推移 (直近5年間)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		2戸	4戸	4戸	4戸	4戸
	施設利用対象者 マクロデータ ※入居戸数	開設当時【A】 (H2年10月時点)	4戸	現 在【B】 (R7年4月時点)	3戸	増減率 (マクロデータ) ▲ 25.0%

## 3 維持・管理費の状況(改修、大規模修繕などに含まれるものは除く)

(単位:千円)

行政コスト計算書	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		構成比		構成比		構成比
経常費用	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
人件費	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
物件費等	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
維持修繕費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払利息	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
臨時損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支出合計	6,000	100.0%	6,000	100.0%	6,000	100.0%
経常収益(直接的収入)	462	100.0%	462	100.0%	347	100.0%
使用料・手数料	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	462	100.0%	462	100.0%	347	100.0%
臨時利益(直接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
資産売却益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
補助金等(間接的収入)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
国庫補助金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
収入合計	462	100.0%	462	100.0%	347	100.0%
年間コスト	▲ 5,538		▲ 5,538		▲ 5,653	

入居戸数	4 人	4 人	3 人
延床面積当たりコスト	11,354 円/m <sup>2</sup>	11,354 円/m <sup>2</sup>	11,591 円/m <sup>2</sup>
1戸当たりコスト	1,384,440 円/人	1,384,440 円/人	1,884,440 円/人
(参考)県民1人当たりコスト	5 円/人	5 円/人	5 円/人
有形固定資産減価償却率	83.3 %	85.5 %	87.7 %

(参考)岩手県の人口

(単位:人)

R3	R4	R5
1,196,277	1,180,512	1,163,024

## 4 施設内建物の概要

	① 建 築	② 電気設備	③ 機械設備			
主な建築・設備	屋根鋼板葺	電灯動力設備	給湯設備			
	外壁パネル張	自動火災報知設備	衛生器具			
		テレビ共聴設備				
劣化度調査	屋根や外壁の老朽化が進行して	経年劣化による機能低下が進行	経年劣化による機能低下が進行			
	いるが、構造躯体は概ね健全。		しており、総合的な改修が必要			
定期点検	指摘事項なし	指摘事項なし	指摘事項なし			
改修・大規模修繕等 工事履歴 【百万円】			R2:下水道切替工事【5】			
直近5年改修・大規模修繕費	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
国庫						0百万円
県債						0百万円
一般財源	5百万円					5百万円
その他						0百万円
計	5百万円	0百万円	0百万円	0百万円	0百万円	5百万円

## 5 施設評価

1次評価(定量評価)	評価・分析結果	2次評価(定性評価)	評価結果
ソフト(利用状況×経費効率)	廃止(抜本的見直し)	施策上の必要性	高
ソフト×ハード(建物性能)	改善・見直し(複合化等)	代替の可能性	低

## 6 今後の方針(たたき台)

施設の方針	機能の方針	現状維持	建物の方針	現状維持
	廃止を視野に入れた見直しが必要だが、立地場所の特性も考慮した検討が必要。			

## 7 長寿命化等対策の方針等

長寿命化等対策の方針	当面は現状維持とするが、35年経過していることから、必要に応じて修繕等を行う。					
主な維持修繕・改修の内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考/合計
概算費用(見込)	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円	0 百万円
国庫						0 百万円
県債						0 百万円
一般財源						0 百万円
その他						0 百万円

※「主な維持修繕・改修の内容」は現在の機能を維持すると仮定した場合の見込みであり、改修等の時期・内容については変更の可能性があるもの。